

1. 景気の現状に対する判断理由等

景気の現状に対する判断の理由及びそれに対する追加説明等について、その主だったもの及び特徴的と考えられるものを取りまとめると以下のとおりであった。

1. 北海道（地域別調査機関：株式会社北海道二十一世紀総合研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
家計 動向 関連 (北海道)		スーパー（店長）	単価の動き	・スーパーにおいては新型コロナウイルスの影響で菓籠り需要が生じている。	
		-	-	-	
		一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言は外出禁止令と同じようなものであり、店の前を誰も通っていない。売上は前年比3.3%となっている。	
		百貨店（役員）	来客数の動き	・3～4月と比べると回復の兆しがみられるものの、先行きが不透明なことから、景気は余り変わらない。	
		スーパー（役員）	単価の動き	・4月と同様に、新型コロナウイルスの影響で家庭内食によるとみられる購入が増えている。買上点数の増加により、客単価は2けたアップしており、売上は前年実績及び予算を上回る状況で推移している。ただ、飲食業など、他業態の状況を見ると、現状は一時的なパブルとしか考えられない。	
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・今の状況がいつまで続くのか、まだまだ不安である。	
		その他専門店〔医薬品〕（経営者）	来客数の動き	・ここ数か月の来客数の増加は特記するものがある。客は間違いなく新型コロナウイルス対策として、少しでも自衛できるものを求めている。マスクや消毒アイテムはまだ不足している。ただ、間違った知識や過剰な期待も相当みられる。1人ずつ丁寧に正しい防御方法を教えることを使命と思い、徹底して接客していくのみである。	
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経営者）	販売量の動き	・自粛が長期間続いてきたため、自動車用燃料の販売量が激減している。	
		美容室（経営者）	来客数の動き	・来客数の動きは前年及び3か月前と比べてほとんど変わらない。	
		商店街（代表者）	お客様の様子	・客の反応は決して良いものではない。新型コロナウイルスの影響がもるに響いている。	
		スーパー（店長）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの発生以降、ファッション衣料や化粧品などの不要不急の商材については、低迷から脱することができていない。	
		スーパー（企画担当）	来客数の動き	・当店は食品スーパーのため、新型コロナウイルスによる特需で、売上は前年を数%上回っているが、他業種の状況が良くないため、景気はやや悪い。	
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・前月と比べて変化がない。各地でのイベント行事が中止となり、観光客の減少が続いている。	
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響により、客の買上点数は増えているが、来客数は1割以上減少している。	
		家電量販店（店員）	それ以外	・自粛ムードにより、人の動きに回復の兆しがみられない。	
		乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・緊急事態宣言以降、客足が伸びていない。解除後も、そうした状況は変わらない雰囲気であり、例年よりも厳しい状況にある。	
		自動車備品販売店（店長）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響による自粛に伴い、来客数や売上が減少しており、経済が回っていないと感じる。緊急事態宣言解除後の動向に期待している。	
		×	商店街（代表者）	それ以外	・自粛要請により、入出が今までにないくらい減っている。集客ができていない店舗でも2～3割の減少となっており、集客がしっかりとできていない店舗は7～8割の売上減となっている。また、休業している店も増えており、これまでに経験したことがないほど、街が閑散としている。
		×	商店街（代表者）	来客数の動き	・前月に引き続き、5月も来街者数が激減している。既に廃業を決めた夜型飲食店もあり、状況はますます厳しいものとなっている。昼間においても、区域内の駐車場、駅、バス停などの利用者が少なく、商店街内の店舗にとって深刻な状態が続いている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除され、一部の業種以外はほぼ営業を再開したことで、日中は少し人出がみられるようになってきているが、まだ通常の状態には程遠い。夜は全くといっていいほど、人出がなく、回復を待ち望んでいた飲食店は途方に暮れている。客と話をしても、まだ怖いといった感想がほとんどである。恐怖心を植え付けられた消費者の動きが回復するには時間が掛かるとみられ、巣籠り状態が続くことになる。また、消費者が外出しないと、特別定額給付金の効果も薄れ、生活消費材だけに恩恵が偏ることになる。野外でのイベント開催については、民間事業者だとパッシングにさらされるおそれがあるため、行政が率先して実験的に開催するなどして、感染状況を見極めながら、広げていくべきである。
	×	商店街（代表者）	販売量の動き	・青果物の輸入が不調なことから、国内産のりんごにまで影響が出ている。当社の商材も例年と比べて1か月も早く、出荷が止まっている。
	×	一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言が全国に発令されてから、旅行客の減少が顕著になっている。前年比で9割以上の減少となっていることから、当店の売上も当然ながら厳しく、前年比は1けた台の数字となっている。緊急事態宣言が解除されても、しばらくの間は人の移動が制限されるため、この状況は当分続くことになる。
	×	一般小売店〔酒〕（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響は当初の想定をはるかに超えている。ホテルや居酒屋、バー、スナックなどの取引先のほぼ全てが営業を自粛しており、売上を全く見込めない日が続いている。
	×	百貨店（売場主任）	来客数の動き	・この1か月間、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、営業を自粛していたため、売上は非常に厳しい状況となっている。
	×	百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスによる営業自粛の影響で、一部フロアのみでの営業となっており、売上への影響が計り知れない状況にある。
	×	百貨店（営業販売担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で来客数が減少している。緊急事態宣言が解除された後も、年配の客を中心に客足が戻っていない。
	×	スーパー（店長）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で、来客数が大幅に減少している。広域からの集客が完全に止まっている。
	×	スーパー（役員）	お客様の様子	・特別定額給付金10万円の支給が開始されたことで、ATMの前に人が並んでいるが、店内での食品購入にはつながっていない。家賃など、緊急性の高い支払が必要なお客が多いとみられる。
	×	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で観光客が減少しているほか、夜間の客の動きが非常に悪くなっている。
	×	コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響が拡大している。飲食店への酒類の納品がますます減少している。
	×	乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスが流行する中、緊急事態宣言に伴い、客が必要以外の外出を控えている。また、積極的なイベント告知をできないため、土日のイベントへの来客数も少なく、新型車が出てにもぎわいがみられない。
	×	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・車両受注が3か月前と比べて8割以上減少している。前年との比較でも8割減となっている。
	×	高級レストラン（経営者）	販売量の動き	・とにかく客が来ない。
	×	高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で臨時休業しており、従業員は最低人数を残して一時帰休を実施している。緊急事態宣言の解除を受けて、ランチのみ営業を再開したが、開店休業状態である。売上は前年から96%の減少となっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	高級レストラン (スタッフ)	販売量の動き	・売上は前年比25%前後となっている。当店は持ち帰り料理を提供しなかったため、特に厳しかった。一時開店していた日も一般客は少なく、団体客はゼロであった。今後、自粛は緩和されるが、飲食店はまだ心配という客の声が根強いことから、予断を許さない状況にある。一方、特定の業種では売上アップの動きもみられる。路面の洋菓子店では母の日を中心に順調だったほか、食品の定期宅配便は従業員が足りないほどの注文があったと聞いている。また、小麦粉やコロッケなど、一部の家庭用食品が売れていることで、特定の工場が忙しいとの業者情報もあった。現実的には休ませたアルバイト従業員の休業補償や営業形態の見直しなど、対処すべきことは多いが、世間の様子をみながらの営業再開となりそうだ。
	×	高級レストラン (スタッフ)	販売量の動き	・新型コロナウイルスによる自粛要請が響き、収入が落ち込んでいる。
	×	スナック(経営者)	来客数の動き	・景気が良いかどうかという以前に、営業をできないため、何かをすることも無理な状況となっている。
	×	観光型ホテル (経営者)	来客数の動き	・緊急事態宣言の影響により、6月以降もほとんど予約が入っていない。解除されてもすぐに戻る状況にはなく、しばらく景気は悪化し続けることになる。
	×	観光型ホテル (スタッフ)	それ以外	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、6月30日まで休業している。
	×	旅行代理店(従業員)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大を受けた緊急事態宣言に伴い、首都圏や北海道などが特別警戒都道府県とされたことで、観光需要及びビジネス需要が激減している。当地への航空便や鉄道などは運休、減便が相次ぐこととなったほか、春から夏にかけての各地のイベントなども全てキャンセルとなった。ホテル、土産店、観光バスなどは大きな打撃を受けており、行政の助成金や支払猶予策などで事業継続を図る状況となっている。
	×	旅行代理店(従業員)	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で3か月前と比べて急激な落ち込みがみられる。取扱の全くない状況が3～5月と続いている。
	×	旅行代理店(従業員)	来客数の動き	・ショッピングモール内の店舗であり、ショッピングモール自体が新型コロナウイルスの影響で5月15日まで休業していたため、その間、営業できなかった。また、5月16日の営業再開後も新規予約はなく、取消しや払戻しのみに対応となっている。
	×	タクシー運転手	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で2月28日に北海道知事による緊急事態宣言が発出されてから3か月たつが、売上の前年比は、3月がマイナス40%、4月がマイナス50%、5月がマイナス60%となっており、毎月、1000～1500万円の赤字となっている。5月25日に緊急事態宣言が解除されたが、今のところタクシーは回復しておらず、このままでは資金力のないタクシー会社の倒産が続出することになる。
	×	タクシー運転手	販売量の動き	・月を追うごとに売上が減少しており、企業存続が危ういレベルにまで達している。救済策の実行も遅過ぎる。
	×	タクシー運転手	来客数の動き	・ここ3か月、新型コロナウイルスの影響で、外国人観光客や国内観光客の利用、イベント関係の実績がほぼゼロだった。普通タクシーの利用実績も通常の6～7割減である。
	×	タクシー運転手	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴う外出制限により、多大な影響を受けており、営業収入は前年比35%まで落ち込んでいる。
	×	タクシー運転手	お客様の様子	・タクシー業界では、今回の新型コロナウイルスの影響もあり、地元客及び観光客の動きについて、全く先のみえない状況となっている。この影響がいつまで続くかも予測できない。
	×	タクシー運転手	来客数の動き	・緊急事態宣言が発令されたことで、タクシーの稼働状況は前年の50%となっている。今後、経営を持続できるかどうか、危機的などころまできている。
	×	通信会社(企画担当)	販売量の動き	・営業時間の短縮や来店目的による入店制限を行わざるを得ないため、来客数が前年比30%程度にまで落ち込んだ。
	×	観光名所(従業員)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、5月は丸々1か月、休業しており、営業活動をできなかった。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	x	美容室（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスに対する自粛として、営業時間を午前中のみに短縮したほか、客同士の間隔を確保することを目的とした予約制限を実施している。そのため、来客数及び売上は前年から60%程度の減少となっている。
	x	美容室（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、5月は自主的に営業時間を短縮した。また、従業員の健康管理を行うために臨時休業を増やしたり、入場制限を行うなど、新しい営業スタイルを取り込んでおり、結果的に来客数が落ち込んだ。
	x	美容室（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスに係る補償問題など、全ての対応が遅いため、景気は悪くなっている。
	x	その他サービスの動向を把握できる者〔フェリー〕（従業員）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染拡大の影響から、特に旅客の輸送量が激減しており、前年から約90%の減少となっている。
	x	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・客の外出が制限されているため、住宅関連では、モデルハウスの訪問営業などをほとんどできず、新規受注を期待できない状況にある。
	x	住宅販売会社（経営者）	それ以外	・自粛が続いているため、分譲マンションの営業活動も活発にできない状態にある。
企業 動向 関連 (北海道)		食料品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・2020年5月の販売量は前年比プラス4%だったが、3か月前の販売量は同マイナス1%だったため、景気は良くなっている。
		その他サービス業〔建設機械リース〕（営業担当）	受注量や販売量の動き	・建設現場の動きが想定していたほど止まっていないため、景気はやや良くなっている。
		家具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・世界的な新型コロナウイルスのまん延により、経済活動が停滞している。北海道においては第2波の影響もあり、家具インテリア産業も大きな影響を受けている。
		建設業（従業員）	受注量や販売量の動き	・年度末にしゅん工した建設工事が減少していたものの、新年度発注の工事が多く、不足分を穴埋めできている。
		金属製品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・4～5月の受注が前年比で20%程度落ち込んでいる。今後は、一層深刻になると見込まれる。
		建設業（役員）	受注量や販売量の動き	・公共土木工事については、新年度受注分の着工期を予定どおり迎えつつある。一方、民間建築工事については、新型コロナウイルスの影響により発注企業の活動が停滞しており、着工遅れや新規商談の先送りの一部が発生している。
		輸送業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・北海道と本州間の輸送における新型コロナウイルスの影響は、当初、飲料や生乳関連に限定されていたが、経済活動の停滞に伴い、紙パルプ関連や一般雑貨にも影響が出始めている。
		司法書士	取引先の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴う経済状況の悪化により、不動産業者や建設業者の活動が停滞しており、景気は悪化している。
		司法書士	取引先の様子	・例年と比較して不動産の売買が少ない。また、新型コロナウイルスの影響により新築工事の受注も少なくなっている。
		コピーサービス業（従業員）	取引先の様子	・業種にもよるが、外部に金を出さない方針を固めた客が増えてきている。特に保守などの役務について、継続契約が厳しい状況となっている。
		その他サービス業〔ソフトウェア開発〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・派遣事業での自宅待機が増えてきている。
		その他サービス業〔建設機械レンタル〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・5月に入り、売上が前年をやや下回るようになってきている。公共工事関連における新型コロナウイルスの影響は少ないとみられるが、民間設備投資は景気後退により、今後、悪化傾向をたどることになる。
		その他サービス業〔建設機械リース〕（支店長）	取引先の様子	・先行きが不透明なことから、設備投資を控える動きがみられる。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他非製造業 [鋼材卸売] (従業員)	受注量や販売量 の動き	・3か月前の目標受注量は維持しているが、毎月少しずつ受注量が落ち込み始めている。
	×	食料品製造業 (従業員)	受注量や販売量 の動き	・5月の売上は前月比で2割減、前年比で3割減となっている。
	×	通信業(営業担 当)	受注量や販売量 の動き	・社会的な自粛の影響により、受注量、案件数が明らかに減少している。
	×	金融業(従業員)	取引先の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大により緊急事態宣言が発動されていることで、経済活動が停滞している。また、新型コロナウイルスを要因とする倒産が増加するとともに、非正規雇用の雇止めが発生しており、雇用動向にも厳しさが増している。このため、道内景気は3か月前と比べて悪くなっている。
	×	司法書士	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響で経済活動の自粛が続き、自宅待機などが増えている結果、不動産取引の成約が減少している。
雇用 関連		-	-	-
(北海道)		-	-	-
		求人情報誌製作 会社(編集者)	求人数の動き	・緊急事態宣言に伴う自粛により、飲食業やサービス業の求人数が半減している。今後もしばらく厳しい状況が続くことになる。
		職業安定所(職 員)	求人数の動き	・4月の有効求人倍率は0.98倍であり、前年を0.07ポイント下回っている。
	×	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・これまで堅調に推移していた求人数が減少に転じている。特に景気回復の流れを受けて、業容拡大に向かってきた増員の求人が採用取りやめとなるなど、およそ2割の求人が減少している。一方、採用に苦戦していたコールセンターなどは、採用に当たってハローワークや求人Webサイトを活用するようになってきている。派遣については、休業などで派遣の受入れがストップするなど、急激な変化を受けて、企業の人材ニーズが足踏みとなっている。
	×	求人情報誌製作 会社(編集者)	求人数の動き	・新型コロナウイルスの影響で観光客がゼロの状態となっていること、感染者の増加傾向が続いていることなどから、求人件数は激減している。インバウンドや観光と関係のない業界も求人を探る状況になっている。一方、介護やスーパー、運輸などの求人は反響が良く、堅調に推移している。
	×	求人情報誌製作 会社(編集者)	周辺企業の様子	・新型コロナウイルス感染拡大防止のための緊急事態宣言の発令に伴い、休業している店舗が多く、消費者の自粛行動も進んでいる。経済が正常に動いていないため、景気は悪くなっている。
	×	求人情報誌製作 会社(編集者)	求人数の動き	・例年同時期と比べて、50%程度の出稿量にとどまっている。特に出稿量の落ち込みのひどい業界として、宿泊業の95%減、娯楽業の90%減、飲食業の80%減、ナイトワークの75%減などがある。これらの業界においては、倒産、廃業、閉店が多数みられる。
	×	職業安定所(職 員)	求人数の動き	・4月の有効求人倍率は0.93倍であり、前年を0.14ポイント下回っている。今年1月以降、落ち込み幅が拡大している傾向にある。
	×	職業安定所(職 員)	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスの影響で休業要請が行われていることに加えて、客が来ないことから自主的に休業している会社が業種にかかわらず幅広く発生している。緊急事態宣言が解除されても、まだ一定期間は景気の悪い状態が続く。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	学校〔大学〕 (就職担当)	それ以外	・求人数も新卒求職者の動向も最悪の状況にある。政府が明確な対策と行動を示さなければ、秋頃まで事態は悪化し続ける。

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (東北)		一般小売店〔書籍〕(経営者)	単価の動き	・東日本大震災後の販売状況に酷似している。子供たちのために家族が本を買う、あるいは巣籠り状態のために趣味や教養を高めるための簡単な本を買う傾向が強いため、客単価が異常に上昇している。
		家電量販店(店長)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で前半は客の買物も慎重であったが、10万円の給付金が入ることによって客の購買意欲が増しバブルが起きており、前年比で140%になっている。高額なエアコンや、今まで客が買い控えていたような大型テレビなどがよく売れている。ただし、これは一過性のものだとみている。
		一般小売店〔医薬品〕(経営者)	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で消毒液、マスク、その他もろもろの売上が伸びている。そういったものが売上を押し上げている。
		スーパー(店長)	販売量の動き	・来客数は緊急事態宣言解除以降、徐々に落ち着いて前年並みになってきたが、客単価は依然として1割増しの状態が続いている。
		スーパー(経営者)	単価の動き	・5月は新型コロナウイルス感染拡大防止対策で、チラシ等販促を中止したため平均1品単価が上昇したが、来客数は減少し、買上点数も前年割れをしている。しかし、売上高は前年をクリアしている。内食化消費が続いている。政府や自治体からの特別定額給付金や補助金が消費の維持につながっているものとみられる。
		スーパー(店長)	販売量の動き	・売上は前年比108.3%、4月についても全店で前年比108%ということで、余り変わらない状況にある。
		スーパー(営業担当)	単価の動き	・来客数は前年をやや下回るが買上点数が増加しており、まとめ買い需要の傾向は依然として継続されている。来店頻度が下がっても、売上高は伸長している。内食需要の高まりは続いているとみえる。
		コンビニ(店長)	来客数の動き	・さんざん言われている不要不急の外出自粛は身に付いているようである。まだまだ不安感は払拭されていない。
		家電量販店(従業員)	来客数の動き	・時間を短縮して営業活動をしている。巣籠り的な家電品の需要と、出掛けられずに浮いた部分の資金が一時的に家電店に回ってきていることはあるが、この上向きの状況は一時的なものだと想定している。10万円の給付も含めて今後の経済対策がどういう時期にされるのかにより、客の使い道も変わってくると思うので、そういったときの反動減的なものも予想され、一瞬良かったとしても良いとはいえない。
		住関連専門店(経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、中旬まで開店休業の状態であったが、今月の後半になってやっと来客数が増えてきて、売上も少しずつ伸びてきている。
		その他専門店〔靴〕(従業員)	販売量の動き	・ゴールデンウィークは休業のため、売上がなかった。営業再開後も行楽や旅行需要がないため、全ての靴が売れていない。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕(営業担当)	販売量の動き	・前年度からの販売量が減少している。収益は回復しているが減少幅が大きい。
		観光型旅館(スタッフ)	販売量の動き	・現状は変わらない。県独自の宿泊施設支援も打ち出しており、6月中旬以降から宿泊の予約件数が上がってくるのではと推測している。
		一般小売店〔医薬品〕(経営者)	単価の動き	・4月は新型コロナウイルス禍による緊張の高まりで特需的な売上があったが、今月はその反動が出ている。さらに、買いだめのなかった客層でも、単価が落ちてきている。特に月末に向けてその傾向が大きくなってきている。
		百貨店(営業担当)	来客数の動き	・緊急事態宣言解除後の来街、来店の動きはみられるが、県をまたぐ移動や観光客は少なく、戻ってきたとまではいえない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		スーパー（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルス禍により、通常の販売量とはいえない。
		スーパー（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響でまとめ買いなどが見られたが、最近は緊急事態宣言の解除もあり、来客数は新型コロナウイルスの影響を受ける前の前期比マイナスに戻っている。
		スーパー（営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルス関連で外出自粛が発動され、客の行動に変化がある。買物の回数が減り、他の行動も控えた結果、スーパーの客単価は上がっているが来客数は減少している。今後、客単価が下がれば、即売上減少に転ずる。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数が前年比80%と厳しい状況である。特に週末の低下が著しく、ソフトドリンクやカウンターフーズの販売減の原因となっている。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルス禍により行楽需要はなく、立地にもよるが来客数減を招いている。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・学校が動いておらず、会社も在宅勤務のところの一部あるため、まだ3か月前の状況には戻っていない。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大のなか、緊急事態宣言でゴールデンウィークも人出が全然なく、買物客も皆無の状態であった。商品の動きも、マスクの売上が多少増加した程度で他は動きがなく、悲惨な状況である。
		衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・リモートワークや自宅待機の客が急増している。また、世帯収入の減少により、来客数が大幅に減少している。
		衣料品専門店（総務担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響による営業自粛と来客数の減少により、前年比50%の実績となっている。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・個人客の受注がかなり減っている。法人客はほとんど減ることはなく、変わらず推移している。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・市場環境が悪く前年比60%の実績で推移している。新規の来客数は今月に入り少し例年並みに戻りつつあるが、実績につながっていない。買い渋り傾向にある。
		乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・自粛の影響もあり来客数の戻りがまだ見られない。既存客に関しては、滞在時間が短く、じっくりと代替提案ができない。
		タクシー運転手	来客数の動き	・最近の客は直行直帰のタクシー利用になっている。例えば、新型コロナウイルス発生前は病院の帰り際、タクシーを待たせた状態で墓参りをする客、買物を済ませ友人宅へ遊びに行く客が多く見られたが、前月からは見受けられない。どうしても必要な区間のみタクシー利用となっている。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響が長引き、飲食店関係者や高齢者ら加入者からの支払にも影響が出始めている。また、工事関連事業も、県外からの関係者が移動を自粛しているため、前月以上に新規客の対応が滞っている。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・訪問ができないため、商談ができない。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・客の来店頻度が2～3か月に1回など、これまでよりも1か月くらい延びている。
		その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染拡大防止の経済封鎖の影響で、出歩く人、買物をする人などが極端に減少している。自動車サービス業は直接の影響が少ない業種であるが、客のマインドが低下している。
		住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・直接接客ができなくなり、受注及び契約締結の進捗がなく受注が伸びない。
		その他住宅〔リフォーム〕（従業員）	販売量の動き	・リフォームでは塗装工事が減っている。住宅設備機器の販売では給湯器の交換が減っているが、エアコンを新設、増設する問合せが増えている。
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・3月より景気の悪化が続いており、特に4～5月は非常に悪い状況になっている。
	×	商店街（代表者）	お客様の様子	・当県は新型コロナウイルス感染者ゼロの状態が続いているが、感染予防のため人混みや外食、買物を極力控える自粛ムードが続いており、景気は一段と悪くなっている。
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・自粛要請は解除されたが、学校も再開されていないので景気は下向きのままである。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	来客数の動き	・5月の繁華街の状況は毎日が日曜日の静けさと同じである。夕方になると呼び込みの人が僅かに現れるが、客は店の中には入ってっていない。50年、店に立っているが、今回のような状況は初めてである。来客数も新型コロナウイルス発生前の10%しかない。
	×	一般小売店〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・今月の売上は約8割減となっている。緊急事態宣言が解除にはなったものの、客の観光施設、旅館などはいまだに再開のめどが立たない所がほとんどで、飲食店も短縮営業に加え、予約のみの営業など厳しい状況は何も変わっていない。ほとんどそういった客からの注文はなく、ゴールデンウィーク明けからは少しでも支払額を抑えようと商品の返品依頼が絶えない。本当に厳しい状況である。
	×	一般小売店〔カメラ〕（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で休業したこともあり、来客数が減少し売上も落ち込んでいる。
	×	百貨店（売場主任）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染防止のため、今月6日まで食品フロアを除き休業し、その後は時間短縮を行って営業しているものの、来客数はまだ例年の水準には戻っていない。衣料品や高額品等、優先順位が高くないと思われる商品群は依然として動きが鈍い。
	×	百貨店（買付担当）	それ以外	・緊急事態宣言による休業や営業時間の短縮によるマイナスのほか、不要不急の外出自粛による来客数の減少、消費マインドの低下等、新型コロナウイルス禍によるマイナスは計り知れない。
	×	百貨店（経営者）	販売量の動き	・中旬から営業自粛要請は解除になり、少しずつ営業時間を戻し、売上は半減から7掛けまで回復してきているがそこまでである。回復にはまだ時間が掛かる。食品は堅調である。
	×	スーパー（経営者）	お客様の様子	・5月14日に39県の緊急事態宣言が解除されたが、いまだ不安定で不安な状況が続いているため、客は外出を控え、なおかつ買物も控えているという状況である。
	×	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言により外出自粛が徹底され、より一層の客足の減少につながり、売上も50%を割り込んでいる。
	×	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で家にいる人が多くなっている。家族連れでコンビニに行く人はおらず、休日、平日共に来客数がかなり減っている。また、会社関係もほとんどが休みになっている。そういったことから収入がないので、景気はかなり落ち込んでいる。
	×	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言解除後も来客数が戻らず、売上が厳しい。
	×	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で今月は大きく売上が下がっている。複数経営しているが30%以上売上が落ちている。自粛解除後も余り来客数は戻っておらず、店の利益も大幅に下がるとみている。
	×	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で来客数が減少している。
	×	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響により、来客数の減少が顕著に出ている。特に週末の繁華街は影響が大きく、通常期の8割減の店舗も出てきている。また、飲食店街は昼、夜共にほとんど客が来ない状態である。
	×	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で来客数が非常に減っている状況に加え、給料が減っている方が多いので、景気は悪化している。
	×	衣料品専門店（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスによる自粛のため、来客数が少ない。
	×	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・自粛が続くなか、洋服や小物を見たいというところまで、気持ちがいいいない方が多いようである。
	×	衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルス騒動により、スーツを着て出張する機会がかなり削減されたため、景気が上向きになってくる気がしない。
	×	衣料品専門店（店長）	それ以外	・緊急事態宣言が発出されてからは、外出を控える方が増え、買物される方も少なく、3か月前と比較した場合は非常に厳しい状態である。
	×	乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・土日の客の動きが全くない。新型コロナウイルスの影響がかなり大きいようである。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	乗用車販売店 (本部)	お客様の様子	・車両販売においては前年比70%と落ち込みが激しい。辛うじてサービス部門の売上が前年並みだが、先行き不透明が大きい。客から店舗の混雑状況や新型コロナウイルス対策の有無の問合せがとにかく頻繁で、来場を見合わせるという声も多い。
	×	自動車備品販売店 (経営者)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で車両が動かないことによって、消耗品、修理関係の落ち込みが著しい。
	×	住関連専門店 (経営者)	販売量の動き	・販売量の動きは、訪問受注量の減による製作物の減ということである。
	×	住関連専門店 (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で来客数、売上共に激減している。
	×	その他専門店 [酒](経営者)	来客数の動き	・3月以来、新型コロナウイルスの影響でかなり悪い。取引先も営業をやめたり、更に廃業したりという状況になっている。店頭も販売がかなり落ちてきている。また、国や県、地元自治体の救済策も条件や金額の問題、又は対応が遅すぎて現実的ではない。無条件での支払の減免や事業に応じた金額の支援が早急に必要と考える。
	×	その他専門店 [食品](経営者)	来客数の動き	・当店は食品の専門店、県外からの来店者が多いのが特徴である。そんななか、県を越えての往来自粛要請がなされ、来客数は3分の1に激減している。
	×	その他専門店 [白衣・ユニフォーム](営業担当)	販売量の動き	・観光業、飲食店の営業自粛等により注文がほぼない状態である。また、それ以外の業種でも予定していた衣替えが延期になったりしている。マスク、手袋、消毒アルコール等は品不足により注文を受けられない状態が続いている。
	×	その他専門店 [ガソリンスタンド](営業担当)	販売量の動き	・緊急事態宣言による外出自粛の影響で出荷が激減している。特にゴールデンウィーク中の出荷が悪い。下旬は上旬と比べて回復しているものの、前年比3割減である。
	×	その他小売 [ショッピングセンター](統括)	来客数の動き	・新型コロナウイルスによる営業自粛により営業日数も17日間で、非常に厳しい状況が続いている。
	×	高級レストラン (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で1か月ばかり休んでいた。再開したものの、客は全く戻ってこないため、ほとんど収入がない。
	×	高級レストラン (スタッフ)	お客様の様子	・新型コロナウイルスに対して恐れをなしているため、外出、外食しようとはなかなか思わない。特に年配の方や軽度でも病気を持っている方は特にそう考えていると思う。
	×	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除され、店の営業も何とかしているが、実際には客がほとんど来ないという状況である。店舗をどこまで維持できるのか、かなり切迫した状況が続いている。
	×	一般レストラン (経営者)	それ以外	・3～5月は新型コロナウイルスの影響がみられる。
	×	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・今月中旬から営業を再開したが、客の組数を限定し完全予約制にしているため、元のような状況には戻っていない。
	×	一般レストラン (経営者)	それ以外	・県の休業要請は5月10日で一旦は解除となったが、メイン客層の法人関係の接待などは全く予約が入らず、辛うじて地元の常連が少し来店してくれた程度で、売上が全然駄目である。
	×	観光型旅館 (経営者)	来客数の動き	・前半は休業しており、再開後も外出の自粛などにより細々とした営業状態である。
	×	旅行代理店 (経営者)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの関係で、5月は個人旅行店舗の全てを臨時休業としている。そのため売上が全くなく、前年比5%ほどの販売しか見込めないという状況である。
	×	旅行代理店 (従業員)	販売量の動き	・店舗をクローズさせるとともに社員を休業させ、新型コロナウイルスの終息に向けた取組を行っている。Webでの申込みもほとんどない状況である。
	×	タクシー運転手	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で客がいらない。
	×	タクシー運転手	競争相手の様子	・自社のタクシーも悪いが、他社のタクシーはもっと状況が悪く、出勤しているドライバー数が激減している。
	×	通信会社 (営業担当)	お客様の様子	・新型コロナウイルスによる経済不況が続いている。倒産件数と失業者が日々増えている。消費動向が完全低迷している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で各小売業始め企業の売上が激減している。
	×	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・業種にもよるが、客の設備投資意欲が思わしくない。
	×	観光名所（職員）	それ以外	・様々な自粛要請により、舟下り等は5月1日から現在まで休んでいる。今後運行するかの判断もできないような状況であり、景気うんぬんの前に会社としてどう生き残っていくかの瀬戸際にいる。
	×	遊園地（経営者）	来客数の動き	・22日まで臨時休園をして、23日からようやく新型コロナウイルスの感染対策を講じて再開している。山場のゴールデンウィークを営業できなかったのは開園以来初めてで、売上への影響は甚大である。
	×	競艇場（職員）	それ以外	・完全休館中である。
	×	美容室（経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除されたので、売行きがある程度戻るとみていたが、前年比70%程度の回復にとどまっている。前月が52%くらいであったのでそれよりは大きく、後半から新型コロナウイルスの影響が多少出てきた3月の水準にはまだ戻っていない。警戒しながら徐々に戻ってくるのかというところである。
	×	美容室（経営者）	来客数の動き	・来客数も減少しているが、時間を短くしたいのでカットだけでいいという客が多く、単価も下がっている。
	×	設計事務所（経営者）	競争相手の様子	・新型コロナウイルスの影響で工事が遅延しているものはまだ被害が少ないかもしれないが、中止や見直しを求められている案件を多数聞いている。現在の落札金額も競争の激化と最低制限価格がないために予定価格の30%となるような案件もある。市場の縮小と激化がみられる。
	企業 動向 関連 (東北)	-	-	-
-		-	-	-
		農林水産業（従業者）	それ以外	・稲作等の春作業は特に新型コロナウイルスの影響もなく順調に進んでいる。
		通信業（営業担当）	取引先の様子	・年度替わり後の客との対面接触ができにくくなっており、これまでのきめ細かな対応の継続が困難である。
		電気機械器具製造業（企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・新型コロナウイルスの影響で半導体市場が全体的に縮小傾向であり、半導体メーカーの業績に直接影響しつつある。
		建設業（従業員）	受注量や販売量の動き	・今月は内定案件もあったものの、未契約等の理由により見掛けの受注量が減少している。
		金融業（営業担当）	取引先の様子	・多くの業種で売上が減少し、先が見通せない状況になっている。融資の申込みも多くの業種で増加している。
		コピーサービス業（従業員）	受注量や販売量の動き	・主要取扱メーカーの商品の生産が追い付かず、発注を出しても配分されて商品が潤沢には届かない状況が続いている。また、客の状況も設備投資をするには余りにも先行きが不透明で商談が前に進まないケースが増えている。
×		農林水産業（従業者）	それ以外	・地元温泉旅館のパート従業員は今月は全く仕事がなく困っているようである。非常に大変な状況である。
×		食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響でゴールデンウィークが全く駄目であった。テナント店や直営店のほとんどが休業しており、連休以降営業再開するも売上はひどい状況である。駅など土産中心の店が特にひどい。
×		食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・観光客、出張者がなく、他県者による土産の購入は前年比90%マイナスである。唯一プラスなのがインターネットによる土産品の販売で、売上額は少ないが前年比300%である。
×		食料品製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・販売量が前年同期比で約3割減少している。
×		出版・印刷・同関連産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・イベントの中止による印刷物の減、飲食店等の売上不振による広告減、求人広告の減により、3月以降、売上が前年比20%弱減少している。
×	出版・印刷・同関連産業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・売上高は3か月前の約50%弱となっている。緊急事態宣言が発令されてから、イベント関係のチラシ、パンフレットが軒並みキャンセルになっている。	
×	窯業・土石製品製造業（役員）	受注量や販売量の動き	・東北全体で出荷が減少しており、今後も厳しい状況が続く見込みである。公共工事、民間工事も低調になっている。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・過去に例を見ないほど減産し、取引先までもが休日を増やしている。
	×	電気機械器具製造業（営業担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響による緊急事態宣言の発令で経済が悪化している。
	×	建設業（企画担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルス禍の影響で、客先の設備投資計画が遅延や延期に至る状況が出始めている。
	×	輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響が段々と広がってきている。現在の見通しだと、前月と比較しても10%以上売上が減っている。
	×	金融業（広報担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルス禍に係る外出自粛やインバウンド需要消滅の影響が顕在化している。飲食業や宿泊業を中心に、従来規模の営業ができずにこれまで手元資金でやりくりしてきたものの、今になって資金繰りにも苦慮するケースが頻発している。
	×	広告業協会（役員）	受注量や販売量の動き	・緊急事態宣言は解除され、イベントや観光の基本的対処方針が示されているが、各企業手探り状態で、積極的行動になるにはもう少し時間が掛かる。広告業界の売上は壊滅的状態である。
	×	広告代理店（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルス禍の影響で仕事自体が激減しており、売上は前年比50%である。客に対して訪問活動もできず、受注のチャンスも皆無の状況である。
	×	経営コンサルタント	それ以外	・新型コロナウイルスの悪影響がピークに来ている印象を受ける。生き残りを賭けて、時間との戦いが進行中である。
	×	公認会計士	取引先の様子	・客の月次、決算状況から判断している。小売、飲食店、塾経営等の客の落ち込みが極端である。新型コロナウイルス関係の営業自粛要請により、閉店する客も出てきた。建設関係はまだ影響が出てきていないが、3か月前よりは確実に悪い。
	×	その他非製造業 [飲食料品卸売業]（経営者）	受注量や販売量の動き	・以前から景気は低調であった。そこに新型コロナウイルスが発生したことから大変な状況である。商品がありさえすればその商品は動くが、小麦粉から作られている粉製品がほとんど入らず、調味料も品薄で非常に困っている。非常に良くない状況である。
	×	その他非製造業 [飲食料品卸売業]（経営者）	受注量や販売量の動き	・緊急事態宣言は解除されたが、まだまだ繁華街の出入は少ない。当地は支店経済でもあり、大手企業の営業マンが5月中は在宅勤務を継続していることが、平日夜の繁華街の集客に苦勞する要因となっている。
	×	その他企業 [企画業]（経営者）	受注量や販売量の動き	・広告宣伝に関するチラシ、ポスター、パンフレットなどの印刷物はもちろんのこと、セミナーにおいても密防止の観点からここ数か月、受注数ゼロが続いている。
雇用関連	-	-	-	-
	*	*	*	*
	-	-	-	-
(東北)		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・求人数は前月に引き続き減少傾向である。特に業績の先行きが不透明という理由での求人終了が増えている。また、新型コロナウイルスによる外出自粛に伴い、採用活動、面接対応自体が動かないという企業も増えており、採用決定数が下がっている。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの影響で派遣採用に慎重になっている企業が増えている。
		アウトソーシング企業（社員）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で会議が減っている。
		新聞社 [求人広告]（担当者）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大防止対策に重点が置かれ、消費者向けの積極的な広告や広報の動きはみられない。営業自粛が解除されてはいるが、客足の戻りが感じられないという声が多い。
		学校 [専門学校]	それ以外	・新型コロナウイルスの影響による自粛が尾を引いている。
	×	人材派遣会社（社員）	雇用形態の様子	・在宅勤務の派遣社員の6月以降の処遇と、6月にくる第1四半期末の契約期限について、本来は7月の延長を見込んでいた契約の見通しが現状では不透明である。
	×	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・来年の4月入社の新卒、大卒の採用をしていた飲食業、旅館ホテル業、商社、特に婦人服や靴の流通の商社が業績悪化により新卒採用をストップしている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・求人数は激減し、派遣の終了も多数出ている状況である。特にブルーカラー系や飲食、観光、旅行系は非常に厳しい状況となっている。
	×	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・地方都市求人主要業種である流通、飲食、サービス等で経済活動がストップした状態で、その業種はほとんどの求人がない。求人全体でも半分以下である。
	×	新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・新型コロナウイルス感染拡大の影響が大きい。
	×	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新型コロナウイルス感染症により、企業からの求人数が前年比40%の大幅な減少となっている。
	×	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は前年比で4割減少している。求人の取消しもある。

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (北関東)		家電量販店（店長）	それ以外	・特別定額給付金と猛暑予報のため、良くなっている。
		衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染者数が減ってきたため、来街者は増えてきたようである。
		自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・緊急事態宣言も解除されて、ややらの動きも多くなっている。それと同時に、10万円の定額給付金支給もあるからか、車を買いに来る人が少しずつ増えてきている感じがする。
		住関連専門店（店長）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染予防のため、マスク、アルコール、除菌シート、ビニール手袋、ハンドソープ等が伸長している。また、外出自粛に伴う自宅DIYや家庭菜園関連商材も伸長している。
		通信会社（局長）	販売量の動き	・新型コロナウイルスに対する緊急事態宣言を受け、営業を自粛していた。また、訪問サポートについても、客の依頼件数が大幅に減少している。営業面では、一部でテレワークや在宅学習用として、高速インターネット環境の希望をもらつが、受注件数は通常の3分の1以下の見通しである。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・皆が出かけることを自粛している状態で、生活必需品のみの買物をしている。地域の人との付き合いもできず、皆、ストレスがたまって苦しんでいる。
		スーパー（商品部担当）	単価の動き	・新型コロナウイルスの影響がまだ続いているため、客単価の伸びが15～20%増のままで維持している。
		住関連専門店（仕入担当）	来客数の動き	・生活用品、食品に関しては巣籠りの影響で、来客数は伸びているが、それ以外の休業要請が出ている事業については、緊急事態宣言が解除され、ようやく戻りつつあるものの、前年実績までは届かない。良い部分と悪い部分が相殺されている。
		都市型ホテル（副支配人）	販売量の動き	・レストランは休業している。宿泊も大幅に売上を落としている。もはや売上といえる数字でもない。競合ホテルでは、驚くような低価格で販売しているところもあるが、それでも予約が入らないらしい。
		通信会社（経営者）	販売量の動き	・景気低迷が続くなか新型コロナウイルスの影響で、更なる売上の低迷で落ち込んでいる。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・何と言ったらよいか、完全に皆が買い控えている。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、客の来店数が減っている。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・6月以降の各種宴会や会合、会食のキャンセルが続いている。
		競輪場（職員）	販売量の動き	・全場で無観客レースを実施しているが、なかなか売上が伸びない。
		住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・売買はもちろん、賃貸物件取引の動きも鈍い。全体的に状況は悪い。
	×	商店街（代表者）	お客様の様子	・外出自粛要請により、商店街は人出のない状況で閑散としている。特に、高齢者の姿は見当たらない。また、売上の主力収入源である幼稚園、学校等の記念写真撮影が全てなくなり、前年同月比80%以上の売上減である。
	×	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・5月中旬以降、緊急事態宣言の解除を受け、食料品フロアのみ営業から全館の営業へと規模を拡大しているが、売上は前年比6～7割で推移しており、依然として厳しい状況である。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除され通常営業へと戻したが、一部のテナント店舗は休業のままである。また、解除されても、客はすぐには戻らず、引き続き、不要不急な外出は控えていると、来店客数からも読み取れる。
	×	百貨店（営業担当）	それ以外	・緊急事態宣言発令による営業体制の縮小で、売場の縮小や営業時間の短縮をしたため、悪くなっている。
	×	百貨店（店長）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、悪くなっている。
	×	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・観光客がかなり減少している。また、朝の時間帯の作業員の来店数が減っている。
	×	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、来客数が減り、売上も悪くなっている。
	×	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・前年と比べて売上は1日当たり9万1315円マイナスで、同比83%となっている。来客数は130人マイナス、同比82%である。1か月の売上見込みがマイナス270万円で、光熱費、人件費は変わらないため、経費は縮小できず、利益は大きく割り込んで、赤字の予定である。緊急事態宣言解除後、日商、来客数共に少し戻りがみられる。
	×	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で外出自粛などが続き、消費者の購買意欲が減って、実際の来客数も減っている。
	×	衣料品専門店（統括）	来客数の動き	・前年は台風により当地域の秋の大きな祭りが中止となった。今年は新型コロナウイルスの影響で、また、秋の祭りが中止になる動きになっている。県内市町村の祭りが全て中止ということで、当店の売上は大打撃を受けている。
	×	衣料品専門店（販売担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で先行きが不透明である。いろいろと自粛解除等の動きもあるが、きちんとした安心理論というか、明確で具体的な表現がほとんどないので、当店顧客層の高齢者は自己防衛で来店が激減している。本当にゼロに近く、かなり厳しい。
	×	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新車の販売台数は微減だが、乗用車、貨物車共に少なく、軽貨物車が多いため、売上は20%強のダウンである。当地域の自動車メーカー及び関連産業の生産停止の影響をもろに受けている。車検入庫が前年比10%程度のダウンであることが救いである。
	×	乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・自動車販売だが、販売するにも客が来ない上、客のところにも行けない。新型コロナウイルス騒ぎで、お互いに人と人が会うのを嫌がる状況で、販売量が非常に落ちている。
	×	乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・当社は何年も前から、観光地を控えた立地で商売をしている。当地近隣の温泉と名のつく旅館のほとんど全てが、休業要請で休んでいる。観光客も来なければ、地元客もほとんど家から出ない状態で、4～5月の車の注文は全くと言ってよいほど入っていない。ただ、なぜ経営ができるかという、車の故障、車検関係が順調に入ってきているお陰で、何とかやっているようなもので、最悪の状態で推移している。
	×	乗用車販売店（統括）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、高額商材の購入が後回しになっている。
	×	その他専門店 [靴小売業]（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、現在は最悪の状態である。店は営業しているが、来客数が激減しており、固定費コストすら穴埋めできない。
	×	その他専門店 [燃料]（従業員）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染防止対応の外出自粛で、使用量が減少しているため、大きなマイナスになっている。
	×	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・5月よりテイクアウトを始めて、自店のホームページ掲載やのぼり、商工会議所のホームページへの掲載等の後押し、テイクアウトの流行もあり、ゴールデンウィーク、母の日などのイベント期間は、予想を上回る売上があった。ただし、イベント期間以降はかなり落ち着いてきている。店内飲食は、自粛要請解除後も相変わらず数える程度である。来店客の中にはまだ「来店して申し訳ない」といった雰囲気がある。
	×	一般レストラン [居酒屋]（経営者）	お客様の様子	・緊急事態宣言が解除されたものの、まだ、来客の動きがない。
	×	スナック（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、売上が伸びる可能性はあまりない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	販売量の動き	・公的な交流センター、スポーツセンター等施設の休業、大学、研修施設等では6～7月までの休業に伴い、施設内レストラン等の休業も続いている。公共施設内レストランで、営業再開したところもあるが、客足は極めて低調となっている。民間の社員食堂等も受託先の生産調整等により、食数減少が続き、全体の売上も減少が続いている。
	×	都市型ホテル（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの自粛要請や学校の休校宣言以降、軒並みキャンセルが殺到している。宴会は前年比99%減、宿泊、レストランについても同90%減、婚礼は全キャンセルとなっている。
	×	都市型ホテル（営業担当）	販売量の動き	・ホテルの稼働は、新型コロナウイルスの影響で、大きく低迷している。
	×	旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・国内旅行の宿泊プランでさえ売れておらず、船券券類はほぼ売れていない。
	×	旅行代理店（所長）	それ以外	・全国で緊急事態宣言が解除されたが、施設の営業再開も極めて限定的で、依然として、自治体をまたぐ移動も制限されている。日帰り旅行等の動きは見えつつあるものの、いまだ厳しい状況にある。
	×	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・新型コロナウイルスにより休業日が多く、県をまたげないため、人の移動がない。
	×	タクシー運転手	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響によるステイホームで、全然人の動きがない。電車等も乗っている人がいない。雇用調整をして稼働台数を3分の1にしても売上は上がらない。こんな状況は、この40年で初めてである。ちなみに月10日勤務で、売上は10万円以下である。
	×	タクシー（経営者）	お客様の様子	・昼も夜も人の動きが悪く、前年同月比64%の減少である。
	×	タクシー（役員）	それ以外	・国の対策が最悪で、新型コロナウイルス騒ぎが全然収束しない。
	×	通信会社（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で、悪くなっている。
	×	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響を受け、消費の減少もあるが、取引のある新築関連は、中国からの部材納期遅れから、契約、引渡数が減少している。
	×	通信会社（総務担当）	それ以外	・テレワークによる端末需要や料金プランの相談は増えているが、受付業務を制限しているため、来客数は大幅に減っている。
	×	テーマパーク（職員）	販売量の動き	・緊急事態宣言や休業要請などの理由から、長期にわたる臨時休園となり、過去最悪の状況である。
	×	ゴルフ場（総務担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染拡大の影響で、企業のコンペが全て中止となり、一般個人客も外出自粛で、売上は激減している。
	×	美容室（経営者）	それ以外	・日中の街なかの様子は悲惨である。もちろん、消費者の気持ちを想像すれば、経済より命が優先で、外出自粛となるので、誰も外を歩いていない。緊急事態宣言の解除があっても、私自身も外出を控える。まだまだ安心できない。
	×	美容室（経営者）	それ以外	・ついに恐れていたことが現実になっている。同じ商店会会員のパチンコ屋、食堂、旅行社が相次いで、店をたたむことになった。マイナンバーによる特別定額給付金の混乱等、全てにおいて、ちぐはぐな緊急対策は、健全な小規模事業者にはさえ引導を渡す最悪の結果を招いている。
	×	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染の収束状況が報じられるなか、回復にどれぐらいの期間がかかるのか、先行きに対する不安が大きい。販売の回復は予測不能である。財布のひもは固く閉ざされる一方で、整備売上も下降をたどるのみである。
	×	設計事務所（所長）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響により、緊急事態宣言が出され、旅客、飲食を始めとしたサービス業の売上が急激に落ち込んでいる。
	×	設計事務所（所長）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で、同業者にはまだ大きな影響が出てきていない様子だが、他業種では大きな打撃を受けているようである。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	住宅販売会社 (経営者)	お客様の様子	・当社も50年この業界にいるが、これほど悪くなったのは本当に初めてである。賃料の値下げ交渉が、ますます激しくなっている。また、撤収、休業、廃業等も目に見えて増えてきている。撤収する店はかなり増え、事務所等でも、縮小、撤収等が増えてきた感じがする。本当に状況が悪く、家賃収入だけでも、30%以上ダウンしている。
企業 動向 関連 (北関東)	-	-	-	-
		化学工業(経営者)	受注量や販売量の動き	・落ち込んだ需要と企業マインドは依然として回復せず、受注も低調である。上向くことを期待して、活動を始めたところであり、低調さは変わらない。
		窯業・土石製品製造業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・今年度は何の影響も受けずに、決算を迎えられた。お陰様で決算手当も支給されている。
		建設業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・今のところ、新型コロナウイルスの影響はない。
		輸送業(営業担当)	取引先の様子	・新型コロナウイルス対策として、在宅勤務や巣籠り関連の物が多く、インターネット通販関係の輸送、特に、調理家電、運動器具、ガーデニング園芸用品等の物量が、前年比15%増の輸送量になっている。ただし、自動車関係の部品、車両等の輸送が落ち込んでいるため、全体的には前年並みの売上実績である。
		不動産業(経営者)	受注量や販売量の動き	・在宅ワークや家飲み等で、入居中の部屋の設備不具合や、物件全体でゴミの増加がみられ、仕事量は増加している。しかし、作業者と入居者が接触しないようにすることや、ゴミの処分時にも新型コロナウイルスの感染予防に気を遣うため、作業効率が悪い。景気としては変わらない。
		輸送用機械器具製造業(経営者)	取引先の様子	・取引先が十数社あるが、全ての会社で受注や販売量等が極端に落ちており、非常に悪い状況である。
		司法書士	受注量や販売量の動き	・悪いに近い、やや悪いという感じである。大手の3次下請以下の中小企業が集中している小さな街なので、今後が心配である。今後、もっと悪くなっていくのではないが。
		その他サービス業[情報サービス](経営者)	受注量や販売量の動き	・引き合いは増加しつつあるが、受注については、営業がテレワークで顧客訪問できないため、減少している。
	×	食料品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・主力の賃貸業では、一部レストラン業者からは賃料50%ダウンを要請されている。関連事業の物販業の売上は、4月が15%、5月現在までで10%と共に減少している。
	×	金属製品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・前年同月と比べて5月の売上は3分の1で、6月の売上は5分の1の予定である。
	×	一般機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・今月は、前年同月比で売上は半減しており、自動車向けの量産ラインは、全面的に停止状態にある。
	×	電気機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・4月までは2割ぐらい受注量が落ちていたが、5月になったら前年同月の半分くらいしかない。6月は、社員、パートに雇用調整助成金をもらって休んでもらわないとならない状況になりそうである。
	×	輸送用機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスによる緊急事態宣言で、自動車ディーラーが時短営業を実施している。積極的な営業活動ができない状況が続いている。これからも、感染拡大防止を優先するため、厳しい状況が続く見通しである。
	×	建設業(開発担当)	それ以外	・公共工事主体で売上の95%を占めている建設業を営んでいる。現政権誕生後、公共工事は順調に推移してきており、業界としては有り難いことである。ただし、今後のコロナショックや検事長の対応問題で、政権を問題視せざるを得ず、不安が生じている。公共工事は新年度を迎え、前年比258%増の発注があり、予算を早期に執行しているようである。異例の発注なので、現時点で判断することはできない。
	×	不動産業(管理担当)	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で医療機関や介護施設の定期清掃業務が中止になっている。その他の取引先も休業による定期保守業務の一部中止等、売上が減少している。従業員が使用するマスク、消毒液等の必要量や調達コストも増加しており、利益減少の要因になっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・前年同月比3割程度の売上となっている。自動車ディーラー、住宅販売会社等のイベントが中止状態のため、告知広告の発注がない。Webによる集客策を提案しているが、広告会社には、売上にすぐつながる商材が少ない。
	×	経営コンサルタント	取引先の様子	・新型コロナウイルス感染拡大防止のための緊急事態宣言下で、飲食店、商店、個人向けサービス業、商店街などの来客数、売上が減少したままで、経営上、深刻な状況になっている。サプライチェーンのなかで、個人消費に近い下請製造業等にも影響が出始めており、中小製造業も確実に受注が減っている。引き続き、新規開業、創業者等は経営の存続が危機的なまでに厳しくなっている。
	×	社会保険労務士	取引先の様子	・営業時間の短縮や従業員を休業させていない事業所でも、話を聞くと多くの業種で売上が減少している。
雇用 関連	-	-	-	-
(北関東)	-	-	-	-
		人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・製造業全般で募集は全くみられない。販売関係では、かなりの人員削減、店舗閉鎖をしており、募集は全くみられなかった。一方で、今月は宅配等、配送関係や物流の人材募集が目立っている。
		学校〔専門学校〕（副校長）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルス感染症の影響が続くなか、緊急事態宣言が解除されたが、すぐに回復する感じがない。
		人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・現状、新型コロナウイルス問題で、会社関係が安定しておらず、下請も大変である。休業補償することが大変である。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・タクシー業界、飲食業界の求人取消が増加している。
	×	人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・言うまでもなく、新型コロナウイルスの影響で、周辺企業の全てで、景気が下向きになっている。
	×	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・正社員、採用予定派遣共に、求人数が明らかに減少しており、いまだ改善の見通しが立っていない。
	×	人材派遣会社（管理担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で、生産計画が半減したため、悪くなっている。
	×	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新型コロナウイルス感染防止のための外出自粛により、来客数が減少している等の理由から、求人が減少している。特に、サービス業からの求人減少が著しい。また、新型コロナウイルスの影響で先行きが不透明なことから、求人意欲が減少している。

4. 南関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連		スーパー（ネット宅配担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルス対策の影響で、販売点数が大幅に伸び、売上が急伸している。広告などの自粛も合わせ、経費も減少し、最近での最高益になっている。
(南関東)		家電量販店（店長）	来客数の動き	・緊急事態宣言で、自粛要請業種の店舗と、生活必需品の販売で継続営業している店舗があるが、営業している店舗が少ないためか、2時間の短縮営業にもかかわらず、来客数が129%と大きく伸びている。売上は前年比121%の実績で着地となる。好調な商品群はパソコン、テレビなどで、自粛生活のツールの商材が伸びている。
		百貨店（店長）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響による自粛の反動で多少客足が戻ると思うが、今後については商売の中身そのものを変えないと、以前と同様には戻らない（東京都）。
		スーパー（経営者）	販売量の動き	・3～5月と良いが、4月が一番良く、5月は少し落ちている。客の3密を回避するためにチラシやポイント販促、集中するような販促は避けているので、そういう意味では平準化している。客も1回の来店でたくさん買っていかうというのと、空いている日に買いに来るため、非常にスムーズに買物ができているのではないかと。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの特需が依然として続いている。単価、点数の増加により、全体の販売量がかなり増加している（東京都）。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・今は新型コロナウイルスの影響で他店が休業しているため上がっているだけである。
		コンビニ（商品開発担当）	販売量の動き	・単価は徐々に上がりつつあるが、来客数は依然として戻ってこない（東京都）。
		乗用車販売店（店長代行）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、サービスの来場は激減まではいかないが、減っている。販売に関しては、新規での来店がほぼなく、台数が落ち込んでいる（東京都）。
		通信会社（管理担当）	販売量の動き	・巣籠り消費が浸透し、動画配信サービスなどの追加オプションの申込みが増えつつある。タブレットやスマートフォンの普及によって、年代問わずに使いこなせる時代が来ていると感じられる。
		その他サービス 〔福祉輸送〕 （経営者）	来客数の動き	・自動車販売、ディーラーの景況は、まず受注状況が指標になる。受注量が落ちており、売上になる登録に至るまでの間にしばらく時間が掛かるので、2～3か月後が非常に心配である（東京都）。
		設計事務所（経営者）	お客様の様子	・契約先に出向かず、在宅での会議となっているが、変わらずに忙しいままである。打合せの回数は増えている。
		一般小売店〔文房具〕（経営者）	お客様の様子	・当社の景気に関しては、繁華街などの大きな文具売場を持つ店舗が休業になっていることや、自宅でのテレワークなどにより、地域の文具店としてのニーズが回ってきた感があり、売上は若干ではあるものの伸びている。来客数には大きな変化はないが、ビジネスニーズが強まったために購入単価が高くなり、これも売上が伸びた要因であると考えられる。一方、近隣飲食店については都からの新型コロナウイルス感染拡大防止協力金もあり、時短営業を選択するより完全休業を選択する店舗も多くあり、景気は大きく悪化している（東京都）。
		一般小売店〔傘〕（店長）	来客数の動き	・自粛が客足に影響している。
		百貨店（売場主任）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、百貨店は食料品フロアしか営業していない。食料品のなかでも生鮮グロッサリー関係は良いが、菓子はまだほとんど営業ができていないため、なかなか厳しい（東京都）。
		百貨店（販売促進担当）	それ以外	・緊急事態宣言対応のため休業中である（東京都）。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・来客数は前年を割っているが、買上点数と買上単価は前年比118%以上で推移しており、このお陰で何とか売上を維持している（東京都）。
		スーパー（営業担当）	販売量の動き	・内食化傾向がまだ進んでおり、食料品、生活必需品を中心として販売量が多い（東京都）。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・悪くはなっていないが、勢いが無い。
		家電量販店（店長）	それ以外	・自粛による来客数の減少は以前と比べて大きな変化はないが、テレワークの広がりによるPC、プリンター、周辺機器、空気清浄機など、新型コロナウイルスに関連する商材の販売は好調である（東京都）。
		通信会社（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響により、客との対面での接触を極力回避するため、こちらからのアクション営業は自粛を継続中だが、住所変更や在宅勤務によるインターネット環境整備のためか、客からのアクションが一定数ある。例年同時期の状態とは違うが、客からのアクション件数を見る限り、3か月前との比較ではそこまで大きな変化はない（東京都）。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・加入動向については、特に変化は感じられない。可能な限り無駄を省く意識は相変わらずである。
		通信会社（経理担当）	お客様の様子	・在宅勤務、外出自粛の影響で、自宅でテレビとインターネット接続が増えている。顧客数は余り変わらないが、特にインターネット接続の利用頻度が倍増している。月額利用料は固定額のため、利用頻度が増えても売上は変わらない。インターネット設備改善コストが増えている。
		その他レジャー施設〔ボウリング場〕（営業担当）	それ以外	・4月2週目以降、5月も引き続き休業している（東京都）。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他サービス [保険代理店] (経営者)	お客様の様子	・対面した客の反応では、主要因の新型コロナウイルスの影響を感じている様子が見られない。話題には上るものの、今までどおりに購入してくれている。
		設計事務所(所長)	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言の発出以降、打合せ及び計画は全て一時延期となっている(東京都)。
		設計事務所(職員)	それ以外	・新型コロナウイルスの影響は、会社の受注状況からは建築業界で顕著に表れているように感じないが、当面の発注見合せはある(東京都)。
		一般小売店[和菓子] (経営者)	それ以外	・イベントの中止や例年入っていた注文が全て入らなくなり、取引先からの発注も半減してしまっている。
		一般小売店[家電] (経理担当)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、こちらからアクションができなくなっているため、客からの依頼のみ活動している。仕事柄、困りごとの相談なども多く、休業することもできないため、時短営業をしている。商材の動きはぼつぼつといったところである。夏になると品薄になるとの心配からか、エアコンが動いている。
		スーパー(販売担当)	お客様の様子	・客の様子を見ていると、売出初日の広告商材、ポイント何倍のお買い得の日、タイムセールの時間帯など、お得な店、時間等をよく見て、うまく利用して買い回っている(東京都)。
		スーパー(経営者)	来客数の動き	・緊急事態宣言のなか、外食、ショッピングセンターへ行けなかったため、スーパーマーケットは売上が良かったが、解除後はその分が下がっている。
		スーパー(総務担当)	お客様の様子	・現状は、食料品については、来客数が7掛け、8掛けなのだが、1人当たりの買上点数が1.2~1.3倍となっており、売上を確保している。ただし、衛生用品を除く衣料品、住まいの品は、前年比6割くらいと大きく落ち込んでいる。ゴールデンウィーク後、母の日の後、緊急事態宣言の解除後から客が戻り始めている。この先の状況を見極めたい。
		スーパー(販売促進担当)	販売量の動き	・食品は、売上、来客数、客単価いずれも10%以上伸びているが、婦人、紳士服、衣料品関係の売上が半減している。結果、店全体として5%減が続いている。
		コンビニ(経営者)	お客様の様子	・来店時にはほどほどに買物はするが、来店時間が限られており、昼からせいぜい午後1時、2時くらいまでしか客が来ない。
		コンビニ(経営者)	来客数の動き	・自粛が解除されたが、まだまだ客が戻ってきてくれているわけではない。「新しい生活様式」のなかで、商売をしている我々にとっては、まだどちらに進むか分からない状態である。
		衣料品専門店 (経営者)	販売量の動き	・婦人アウターは70%ダウン、肌着、靴下等は50%ダウンである。マスク関連の衛生商材の手配がついて売上の落ち込みは抑えられたものの、下旬から急速に悪化している。
		乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・自動車の整備が2割ほど減っている。今月は販売が8割減となっている。
		乗用車販売店 (販売担当)	販売量の動き	・ディーラー系の客が結構いるが、車の車検、点検については、定期的に義務付けられているものなので、それほど大きな落ち込みはない。新車販売は、展示会などができないので、客が来ず、販売量が相当落ち込んでおり、景気が悪くなっている(東京都)。
		住関連専門店 (統括)	来客数の動き	・自粛の影響でほとんど来客数がなく、売上も見込めない状態である。
		その他専門店 [ドラッグストア] (経営者)	販売量の動き	・商材がほとんど動かないので、当店も売上がほとんどなくなっている。
		一般レストラン (経営者)	お客様の様子	・客の新型コロナウイルスに対する不安感が大きく、外出自粛も手伝って、街に人が出ない(東京都)。
		一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響により、3月は前年比で30%減、緊急事態宣言発出後の4月は93%減、5月は90%減で終わる。緊急事態宣言が解除されれば、今後少しは客足が戻ると思うが、以前の状況に戻るには時間が掛かる(東京都)。
		通信会社(経営者)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、家計収支が悪化するという観測から、財布のひもが固くなりつつある(東京都)。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		通信会社（社員）	販売量の動き	・本来であれば学習シーズンでもっと獲得数が伸びないといけないところだが、新型コロナウイルスの影響で下振れしている（東京都）。
		通信会社（局長）	販売量の動き	・営業自粛により当社の得意とする対面営業ができないので、インバウンド（問合せ分）に頼る状況で、契約数は前年同月比で7割程度となっている（東京都）。
		通信会社（総務担当）	それ以外	・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、訪問営業自粛に加えて、来客数も減り、営業機会自体が大幅に減少している（東京都）。
		ゴルフ場（経営者）	お客様の様子	・特に、飲食店オーナーの来場が減少している。
		その他サービス〔学習塾〕（経営者）	それ以外	・休業しているため、判断する材料がない。
		設計事務所（所長）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響があり、いろいろな面で情報が入ってきていない。したがって、先の見通しは真っ暗である。
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・新築売りアパートは、客が物件を見に行けないことに加え、仲介業者も営業を控えていたので、良い動きはない。ホステル事業はほぼ壊滅状態である。
		その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕（経営者）	競争相手の様子	・今年に入ってから景気の低迷が続き、そのなかで更に新型コロナウイルスによる追い打ちを受けて、非常に厳しい状況になっている。
		その他住宅〔住宅資材〕（営業）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの自粛期間が長引くなか、建材需要も最低限の仕事量しか確保できていない（東京都）。
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・商店街の人通りが、以前とは比べ物にならないほど減っている。最近幾らかは増えてきたものの、今までの通行量の半分をやや下回るくらいと感じている。来客数も当然減っているし、店も半分以上クローズしていることもあり、売上がほとんどない。この先のことも非常に心配なので、どうしたら良いか思案中である。
	×	商店街（代表者）	それ以外	・中小零細企業の集まりである商店街は、飲食店を中心に相当厳しい。緊急事態宣言が解除されても、東京はまだ厳戒態勢であり、夜の人通りは相当少ない。新しい生活様式が叫ばれるが、店の形をそれにアジャストしていくのはこれからであり、しばらくは厳しさが続いていく（東京都）。
	×	一般小売店〔家電〕（経理担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で来客数が少ないので、売上也減っている。東京オリンピックを見込んでテレビ需要を期待していたがそれもかなわず、さらに、全体的に売価が下がっているため、売上増は期待できない。
	×	一般小売店〔家具〕（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で人通りが少なく、来客数も非常に少ない。休みが多くなったので家の中の整理や何かで、逆に幾らか客が増えるかと思ったが、全然増えていない。非常に良くない（東京都）。
	×	一般小売店〔食料雑貨〕（経営者）	それ以外	・企業の宴会自粛は当分続く。
	×	一般小売店〔印章〕（経営者）	来客数の動き	・不要不急の件は、ビジネスには決して良くないが、その分、新型コロナウイルスがまん延しなくなっていく第一条件であり、全国的、全世界的なことなので、辛抱するしかない。非常に辛いときである。
	×	一般小売店〔祭用品〕（経営者）	来客数の動き	・各種行事、イベント中止の影響が大きい。
	×	一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、売上也来客数も激減している（東京都）。
	×	一般小売店〔生花〕（店員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスによる影響がものすごく大きい。花屋は営業自粛の範囲外なので店を開けてはいるものの、外出自粛の影響で客が本当に少ない。墓参りの客も少なく、バレエやピアノの発表会だとか誕生会などのお祝い関係の花の需要が全くない。5月は母の日もあったが、少ししか仕入れなかった（東京都）。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	一般小売店〔文具〕(販売企画担当)	販売量の動き	・2店舗ある内の1店舗は営業できたが、もう1店舗は新型コロナウイルスの影響で完全に休業せざるを得なかった。開店していた店舗に関しては、来客数は多く、売上も前年の120%近くある。しかしながら、外務部はこの緊急事態宣言下で、商材の物流が止まっていることもあり、納入ができない。特に、大手文具メーカーの納品ができないなどで、大幅ダウンとなっている。
	×	一般小売店〔茶〕(営業担当)	それ以外	・お茶の一番の繁忙期に入るため、引き続き時間短縮で営業を続けた。売上、来客数共に減少したが、前月に送ったDMへの反応が大きくあり、大幅な減少は防げた。
	×	一般小売店〔茶〕(営業担当)	販売量の動き	・注文がなく、配達に行くところもない。週3日とか、午後は帰るとか、仕事はさっぱりである。交代で休んだりしてやっではいるが、このままでは会社が倒産してしまうのではないかと心配である(東京都)。
	×	百貨店(売場主任)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言が解除されるまで都内全店舗で休業している。オンライン販売は5月上旬から再開したが、通常期の50%の品ぞろえでスタートしている(東京都)。
	×	百貨店(総務担当)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響が継続するなか、小売業として厳しい状態が続いている。様々な対応、工夫の中で営業を行っているとしても、客の消費行動は以前とは全く違う慎重なものになっている(東京都)。
	×	百貨店(総務担当)	それ以外	・緊急事態宣言により、4月上旬～5月下旬まで休業したため、営業活動がほとんどできていない(東京都)。
	×	百貨店(広報担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、首都圏の百貨店は全店臨時休業を実施中である。一部ECのみ営業体制のため、来客数が激減している(東京都)。
	×	百貨店(広報担当)	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で営業自粛が続いているため、先行きを見通すことができない(東京都)。
	×	百貨店(営業担当)	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で、食品売場以外は臨時休業が継続しており、食品売場も3密防止対策により短時間営業が続いている。食品の取引も、セントラルキッチンの閉鎖による休業テナントが多く、かつてないほどの業績悪化となっている(東京都)。
	×	百貨店(営業担当)	それ以外	・営業時間を短縮し、一部営業を再開しつつあるが、来客数、売上共に厳しい状況に変わりはない。インバウンド売上については皆無であり、回復の見込みも立たない。オンライン売上は前年比50%増と伸びてはいるものの、規模感は小さく、店頭の減少をカバーするには至らない(東京都)。
	×	百貨店(販売促進担当)	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で、営業フロアを食品のみに限定し、営業時間短縮も続いているため、全体の売上は7割減となっている。5月23日から一部を除いて全館営業再開しており、営業日毎の売上は5割まで戻っているものの、月間累計としては引き続き苦戦している(東京都)。
	×	百貨店(販売促進担当)	それ以外	・4月7日の緊急事態宣言を受け、4月8日から緊急事態宣言解除後の5月26日まで、食品フロア以外は全館休業としたことで、大幅に収益減となっている。
	×	百貨店(販売促進担当)	それ以外	・4月以降営業ができておらず、経済活動は停止状態である(東京都)。
	×	百貨店(店長)	それ以外	・緊急事態宣言により約2か月店が休業しており、そもそも前提条件が成立しない(東京都)。
	×	百貨店(企画宣伝担当)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響による消費の冷え込み、巣籠りによるオンライン購買などの消費の変化により、店頭売上が低迷している。また、休業期間、営業自粛要請により食料品のみでの営業となり、営業範囲が極小化している。
	×	スーパー(総務担当)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で仕事がない人が多い。本業が休業しているための短期アルバイト申込みも多い。
	×	スーパー(仕入担当)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言が発令されているなか、内食需要が増え、家族で食べる食事、備蓄できる商材、おつまみ商材を中心に販売量が増え、メーカーの製造が間に合わず、欠品状態が続いている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・来客数、客単価共に落ちてきている（東京都）。
	×	コンビニ（経営者）	お客様の様子	・夕食の時間帯以降、早朝まで、ほとんど来客数はない。特に、午前0時を過ぎると6時頃まではほぼゼロである。時短営業か閉店か、協議中である。
	×	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、近隣の施設が休業になり、自粛で人の動きもなく、来客数の減少が続いている。
	×	コンビニ（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響である（東京都）。
	×	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスに伴う自粛の影響を受け、オフィス街を中心に来客数が減少している。住宅街など客が増えている店舗も一部あるが、全体では大きくマイナスとなっている（東京都）。
	×	衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・来客数、販売量共に減っている。
	×	衣料品専門店（店長）	それ以外	・緊急事態宣言に伴う店舗閉店により、4月同様、5月も売上は前年同月比で10%未満となっている（東京都）。
	×	衣料品専門店（営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で当ショッピングセンターも休業が続いている。4月は営業が6日間、前年比5.1%、5月も営業6日間、前年比8.5%と死活状況のなか、市が第3セクターで行っている商業施設なのに、通常の家賃を請求してくる状況で、全く訳が分からない。身を削り、借入れ等で、自分で自分の首を絞めている状態である。
	×	衣料品専門店（役員）	来客数の動き	・営業時間は通常の半分以下であり、外出自粛で客が1日平均4～5人である。例年5月は母の日等があり、年間で一番売上が良い月なのに、今年は前年比8割減である。
	×	家電量販店（店長）	それ以外	・市場動向と他業種の自粛による先行き不安から、悪くなっていると感じる。
	×	家電量販店（店長）	それ以外	・家電量販店は生活必需品を取り扱うため、緊急事態宣言期間中でも営業できていたので、一時的に売上が伸びているが、今後経済活動が止まっていたことによる影響が必ず出てくることを考えると、景気は決して良くない（東京都）。
	×	家電量販店（店長）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響が顕著で、売上、来客数共にかなり落ち込んできている。
	×	家電量販店（経営企画担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルス対策の一環で、緊急事態宣言が主要マーケットで継続中で、改善が見えていない。巣籠り需要とテレワーク需要が今後のマーケットのテーマになっていくと感じる（東京都）。
	×	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で被害は甚大である。
	×	乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言を受け、外出自粛と営業時間短縮の影響により来客数が減少し、新車の商談が極端に減少している。
	×	乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響が確実に出ている。先行きが見えないため、買い控えをしている。給付金は買換えではなく車検代にするという話が多い。
	×	乗用車販売店（店長）	来客数の動き	・緊急事態宣言発出により営業を自粛しているため、仕方がない。
	×	乗用車販売店（総務担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で相当悪化している。
	×	乗用車販売店（渉外担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で購買行動が従来レベルに戻らない。
	×	その他専門店 [ドラッグストア]（経営者）	来客数の動き	・薬局への来客数が前年比80%とかなり減っている。新型コロナウイルスの影響とみられる。
	×	その他専門店 [貴金属]（統括）	それ以外	・緊急事態宣言のもとで休業していることから、多くの店舗で売上ゼロの日が続いている（東京都）。
	×	その他専門店 [雑貨]（営業担当）	それ以外	・政府の緊急事態宣言を受け、4月8日から現在に至るまで営業を自粛している（東京都）。
	×	その他専門店 [ガソリンスタンド]（団体役員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響による活動自粛により、来客数が大幅に減少している。また、今月は原油価格が上昇しているが、販売価格に十分に転嫁できない状況でもあり、大変厳しい（東京都）。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	その他小売 [ショッピング センター] (統 括)	それ以外	・緊急事態宣言発令のため休業している(東京都)。
	×	その他小売[生 鮮魚介卸売] (営業)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、取引先が皆休業して いるため、どうしようもない(東京都)。
	×	その他小売 [ショッピング センター] (統 括)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で悪くなっている。
	×	高級レストラン (営業担当)	それ以外	・新型コロナウイルスの影響により、5月中頃まで全 店休業していた。5月16日から一部の地方店舗より段 階的に営業を再開している(東京都)。
	×	高級レストラン (仕入担当)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、今月は全店舗営業自 粛となっている(東京都)。
	×	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症の影響により、かなり悪 い。
	×	一般レストラン (経営者)	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で、売上は前年度の3分 の1くらいしかない。このままだと店は潰れるしか ない。もう最悪の状態である。大変なことになる。
	×	一般レストラン (経営者)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で、客が全く来ない。客 の様子というより、客自体が来ないので様子が分 からないが、たばこは駄目、距離を取れ、密は駄目、と制 限が多くて困っている。
	×	一般レストラン (経営者)	販売量の動き	・3か月前の2月1~29日までの前年比は、売上 88.0%、来客数80.3%である。5月1~28日までの前 年比は、売上30.0%、来客数27.0%である(東京 都)。
	×	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・緊急事態宣言は解除されたが、当店の客は年齢層が 高く、第2波を非常に警戒しており、まだ積極的に消 費行動に移ろうという感じではない(東京都)。
	×	一般レストラン (経営者)	それ以外	・新型コロナウイルスで規制が掛かっていたので、 ゴールデンウィークは全て休業し、その後もランチタ イムのみ営業である。夜は17時に開けて19時に閉店 というわけにもいかないで、営業は止めている。
	×	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・緊急事態宣言が出てから、本当に夜の来客数が減 った。待っているだけでは駄目だったので、店頭でテ イクアウトの販売をすることによって何とか食いつ ないでいる(東京都)。
	×	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・自粛要請期間に休業をやむなくされた業態は、相 当なダメージを受けているところが多い。休業しな かったところも収益が落ちている。海外も含め、回 復には相当時間が掛かる。
	×	その他飲食[居 酒屋](経営 者)	それ以外	・緊急事態宣言は解除されたが、休業要請に対する給 付金の支給がまだされていないこと、テレビの不安 をあおる報道から、全体的に消費意欲が低下してい るよう見受けられる(東京都)。
	×	その他飲食[給 食・レストラ ン](役員)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響を受けて、社員食堂等 172か所が一時間閉鎖しているため、売上は減収、利 益も前年比で大幅に減益となっている(東京都)。
	×	都市型ホテル (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症の影響で緊急事態宣言が 続き、売上は前年比95%減という今までにない非常 に厳しい月である。近隣の大型コンベンション施設 も全て休館しており、人気の大型レジャー施設、ア ウトレットも休業ということで、ゴースタウン化して いる。
	×	都市型ホテル (支配人)	それ以外	・新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う緊急事態宣 言の影響で悪くなっている。
	×	都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響でほとんどのレストラン と宴会場が休業中である。
	×	都市型ホテル (スタッフ)	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で、5月は全館休業と なっている。
	×	都市型ホテル (スタッフ)	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、4月 下旬より5月一杯臨時休業をしている。売上が立た ず、入っていた予約も全て断る事態となっている。
	×	都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・2019年10月の消費税増税以降、下落が止まらない。 新型コロナウイルスも、消費税増税がなければこま で苦しくなかった(東京都)。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・緊急事態宣言の影響で稼働が10%台に落ち込んでいる。
	×	旅行代理店（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で来客数はゼロである。
	×	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・前年比の数値が1けた、マイナス90%以上という状況が続いている（東京都）。
	×	旅行代理店（従業員）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響による緊急事態宣言発出以降、5月一杯休業予定であり、仕事がない。
	×	旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で全ての案件が取消しとなっている（東京都）。
	×	旅行代理店（営業担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響でツアーが全て中止になり、売上がない（東京都）。
	×	旅行代理店（販売促進担当）	それ以外	・今月も新型コロナウイルス感染予防のために、全店のカウンター、営業店でもほとんどテレワークに入っているため、売上が上がらず、非常に厳しい（東京都）。
	×	旅行代理店（営業担当）	販売量の動き	・4～5月は新型コロナウイルスの影響で休業のため、売上はゼロである。
	×	旅行代理店（総務担当）	お客様の様子	・旅行業は、今年中の旅行関係の取消しが相次ぎ、収入のめどが立っていない（東京都）。
	×	タクシー運転手	それ以外	・緊急事態宣言が解除されたが、タクシー利用客は相変わらず減少したままである。最近、都心では異様な状況が見受けられる。それは官庁ビルの周りで、午前中から12時間以上、弁当持参で待機している空車タクシー列の光景である。街中を流しても客がいないので、役人が深夜まで仕事をしてタクシーで帰宅するのを待っているのである。比較的中距離客が多いので、苦肉の策で、連鎖しているようである（東京都）。
	×	タクシー運転手	お客様の様子	・緊急事態宣言が続くなか、スーパーや公園には人がたくさん出ているが、駅や会社からの利用はほとんどなく、売上は半分以下である。夜の店もほとんど開いておらず、当然仕事もない。
	×	タクシー運転手	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、町全体、日本全体が停滞し、人の流れがなくなっている（東京都）。
	×	タクシー運転手	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響からの回復はまだまだである。特に、企業のタクシー利用者が全く回復していない（東京都）。
	×	タクシー（団体役員）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染防止策として発令されている緊急事態宣言の影響により、街中に人が出がなく、特に飲食店の閉店時間の20時以降の客足は全くないに等しい。
	×	通信会社（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で、緊急事態宣言が発令され、客からの連絡がない。当社も営業活動等を自粛している（東京都）。
	×	通信会社（社員）	お客様の様子	・スポンサーの打切りが引き続き出ている（東京都）。
	×	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で営業を自粛しており、販売実績が大幅に落ち込んでいる。解約も増加しており、厳しい状態が続いている。
	×	通信会社（管理担当）	販売量の動き	・4月以降は販売量が激減している。
	×	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・緊急事態宣言の影響により営業活動自粛となり、契約数が減少している。在宅勤務者増加に伴い、OTTやインターネット需要は増加しているものの、マイナス分をカバーできていない。
	×	通信会社（経営企画担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響に伴い、3か月前と比較すると、客が自宅待機又はテレワークとなっているため、動きがない。終了案件も出てきている（東京都）。
	×	通信会社（管理担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、法人向けのソリューションの販売は動きが止まり、個人向けの携帯電話及びその周辺機器の販売も低迷している（東京都）。
	×	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・客の動きは、生活に必要なライフライン等の解約はないが、娯楽的な契約の解約若しくは安価なプランへの変更等、見直しをする客が増えている（東京都）。
	×	観光名所（職員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で営業もままならないので、観光地としては最低である（東京都）。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	ゴルフ場（従業員）	それ以外	・連日、新聞、テレビやインターネット等で、新型コロナウイルスにより、飲食店のみならず、あらゆる業界に影響が出ていることが報道されている。景気は悪くなっていることが分かる。
	×	ゴルフ場（経理担当）	来客数の動き	・ゴルフ場の多くは、新型コロナウイルス感染対策のためレストランやプロショップなどを閉鎖しており、多くの機会損失が発生している。内部留保が厚いゴルフ場では営業を自粛している一方、多くのゴルフ場は固定費回収のために営業せざるを得ず、来客数減、機会損失、新型コロナウイルス対策費用負担の三重苦に苦しんでいる。
	×	パチンコ店（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言が解除され、経済も動き始めると思うが、現時点ではほとんど変わっていない。
	×	競輪場（職員）	それ以外	・競輪事業は本場開催のみの運営のため、建設中の当県ではできず、代替開催という手法を取っている。基本的に本場で赤字、場外開催で黒字と、バランスを取る運営手法のため、場外開催できない競輪事業は非常に厳しい状況にある。会社の事業自体を再検討しなければならない状況にある。
	×	その他レジャー施設 [ボウリング場]（支配人）	来客数の動き	・5月26日より営業を再開したが、来場人数は通常時の3～5割である（東京都）。
	×	その他レジャー施設 [総合]（広報担当）	来客数の動き	・ほぼ全ての事業が休止している状態で、ホテルの宿泊者数も著しく減少している（東京都）。
	×	美容室（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、客の来店頻度が鈍っている。
	×	その他サービス [フィットネスクラブ]（マネージャー）	それ以外	・新型コロナウイルスの感染防止対策で、営業を自粛している（東京都）。
	×	設計事務所（経営者）	それ以外	・最近の新型コロナウイルスの影響で、営業展開が全くできなくなっている。営業に行っても話を聞いてくれるような状況ではない。行政、民間共に、動けないのが実情である。
	×	設計事務所（経営者）	お客様の様子	・前年度から継続している現場監理業務以外は仕事がない状況である。
	×	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・当社は不動産ディベロッパー業と総合建設業である。ここ4～5年住宅の売行きがかなり落ち込んでいるところに、新型コロナウイルスの影響があり、客の気持ち冷え込み、余計に売れなくなっている。ホテル業の賃料は全く入らず、テナントビルの賃料も入らない状況になっている。建設業は、このような状況では新規プロジェクトを始める気持ちになれないと思われるので、工事が全くない。公共工事の受注はあるものの、工事原価が高止まりして赤字となってしまうため、誰も入札しない案件もある。
	×	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・今月の販売量は目標数字の約35%の達成となり、景気は悪い。また、3か月前と比べても販売量が悪くなっているため、景気は悪くなっている。オンライン住宅相談は、契約後の打合せは何件かあったが、新規客の打合せや商談にはつながっていない。新規来場も減り、商談の延期、計画の中断となる客が多い。
	×	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・今月末までは新型コロナウイルスの影響で営業を自粛している。
	×	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・事務所、展示場等を閉鎖していたため、営業活動が極端に制限され、受注は壊滅的である。
企業 動向 関連 (南関東)		-	-	-
		*	*	*
		出版・印刷・同 関連産業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・2月から受注量が少なくなっているため、景気は悪いまま変わらない（東京都）。
		出版・印刷・同 関連産業（営業 担当）	受注量や販売量 の動き	・印鑑、ゴム印、法人関係の仕事も若干している。今月は1つだけ特需があった。個人の印鑑の彫り直しリフォームもサービスの1つとして行っているが、リフォームについては変わらない（東京都）。
	建設業（従業員）	取引先の様子	・営業に来る人の話でも、特に受注量の増減は聞かれない。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		輸送業（総務担当）	取引先の様子	・燃料価格は下がっているが、閑散期に入り、物量が落ち着いている。
		金融業（役員）	取引先の様子	・新型コロナウイルス感染症の影響で、3か月前と状況がほぼ変わっていない。各事業者は「新しい生活様式」の需要にこたえようと様々な模索をしているものの、売上の回復には至っていない。近隣飲食店では持ち帰り弁当の販売を行っているが、以前の3割程度の売上にとどまっている。また、小売事業者では新型コロナウイルス対策用品の販売は増加しているものの、他の商材の販売増加には結び付いていない。
		その他サービス業〔警備〕（経営者）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響でイベント、公営競技の警備が依然として中止になっている。来月以降戻ってくることを期待している。
		金属製品製造業（経営者）	取引先の様子	・緊急事態宣言が解除されたが、取引先の仕事が止まっている状態で、営業してもこの先の見通しが立たない。
		建設業（営業担当）	競争相手の様子	・新型コロナウイルスの影響もあり、サービス業全般の景気が悪くなっている。それに伴い、当社の取引先も設備投資を延期するというような話になっている。
		不動産業（経営者）	競争相手の様子	・緊急事態宣言が延長され、動きが悪くなっている。特に、飲食店の店舗から賃料の値下げ依頼、従業員の退職に伴う借上げ物件の退去が数件ある。当社も早めの閉店に対処しているが、来客数が少ない（東京都）。
		不動産業（従業員）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、ホテル業界は売上がほとんどない。この状態は相当の期間続く（東京都）。
		不動産業（総務担当）	それ以外	・不動産業を営む傍らプライダル事業も手掛けているが、新型コロナウイルスの影響でキャンセル、延期が相次いでいる。他の式場も同様だと思うが、4～5月の挙式件数はゼロである。さらに、延期する客も招待客の絞り込みを行うので、参列者が平均で半減しており、利益が出にくくなっている（東京都）。
		その他サービス業〔ビルメンテナンス〕（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・新型コロナウイルスの影響で、リモートワークになっている事務所の清掃業務が減らされてきているので、契約金額にも影響が出てきている（東京都）。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（従業員）	取引先の様子	・システム会社だが、取引先から導入時期の変更依頼が出てきている。
	×	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・今回の新型コロナウイルスの影響は業種によってそれぞれだと思うが、酒屋なので影響はとても大きい（東京都）。
	×	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・店舗の売上以外の卸がほぼゼロとなり、手土産など需要の多い時期のため、大きな痛手である。5月5日だけはかしわ餅が例年の1.5倍くらいの売上があった。
	×	出版・印刷・同関連産業（経営者）	それ以外	・緊急事態宣言の解除後も先行きが見通せないため、どの程度回復するかは全く見通しが立たないし、取引先が十分に戻ってくるという確信も持てない。
	×	出版・印刷・同関連産業（所長）	それ以外	・緊急事態宣言の影響で売上が8割以上減少しており、危機的な状況である。
	×	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で、前年の4～5月の売上と比べて50%ダウンしている。今年の2月以降の売上ダウンの状況がいつまで続くか、全く予想できない（東京都）。
	×	化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・緊急事態宣言の発出後、取引先の在宅ワークのためなのか、例年来る受注が企画段階で止まり、発注まで至らず、注引量が激減している。インバウンド需要の喪失も悪化要因となっている。
	×	プラスチック製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、受注は4割、売上は3割減っている。この状況がしばらく続くのではないかと。
	×	プラスチック製品製造業（経営者）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響で化粧品容器の受注が3割減少している。頼みの綱の医療品容器の受注も、取引先が棚卸しのため、総売上は3割以上落ちている。
	×	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・計画スケジュール表が出ない会社もあるほど悪い。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・緊急事態宣言が出てから全く仕事にならない。取引先も出社しているところが減ってきているし、海外の取引先も新型コロナウイルスの影響で活動が停止している。売上がた減りである（東京都）。
	×	精密機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・製造業だが、いよいよ来たなというのが実感で、今月の実績値は前年比38%ダウンしている。
	×	その他製造業〔靴〕（経営者）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大防止のために、4月に全国的に緊急事態宣言が出されたが、その時点から店を閉め、生産も同時にストップし、今でも都内の得意先はそれが続いている。関西のほうで個人的な取引もあったので、そのお陰で幾らか仕事が回ってきている。
	×	建設業（経営者）	取引先の様子	・物件が全く動かない。売買の可能性がほとんどない。
	×	建設業（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で全てが止まっている。
	×	建設業（経営者）	競争相手の様子	・計画していた案件が全て中止や長期の延期となってしまう、受注が全くなくなっている。同業者も同じように仕事がなくなったとのことである。公共工事も学校改修工事が延期になり、公共、民間共に案件がなくなっている。
	×	輸送業（経営者）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの収束にめどがつかない状況下、出荷量の減少が止まらないため、取引先より、6月の休配日を2日増やすとの通知があり、稼働日数の更なる減少による収支の悪化が危惧される（東京都）。
	×	輸送業（経営者）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響でイベント関係の配達が増減している（東京都）。
	×	輸送業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で配送先が休業をしているため、物量が減少している。
	×	通信業（広報担当）	受注量や販売量の動き	・更に悪化している（東京都）。
	×	金融業（統括）	取引先の様子	・小売業、サービス業、製造業全てにわたって新型コロナウイルスの影響で景気が悪いマインドとなっており、実際に景気も落ちている。
	×	金融業（支店長）	取引先の様子	・新型コロナウイルス感染防止のための外出自粛ムードの影響はすさまじく、飲食、ホテル、旅館などのサービス業を中心に、売上が前年比1～2割と低水準になっている。
	×	金融業（総務担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルス感染防止策で、取引先への影響が大分出てきている。小売業、サービス業やその他いろいろな業種で売上がダウンし、必要経費が払えないところも出ている。倒産や融資延滞も多くなり、緊急事態宣言が解除されてもすぐには元に戻らないことを考えると、景気悪化傾向はまだ続く（東京都）。
	×	広告代理店（従業員）	受注量や販売量の動き	・9月まで当社メイン事業のイベントは中止である。
	×	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・新規の問合せが激減している。当社の売上の見通しも厳しい（東京都）。
	×	税理士	それ以外	・いつも健康のために夜1時間ほど近隣駅周辺を歩いているが、どこの商店街も飲食店街も、店が休業しているので真っ暗である。また6月1日から始めるのかもしれない（東京都）。
	×	社会保険労務士	取引先の様子	・休業、解雇、雇用調整助成金等の相談が増えている（東京都）。
	×	経営コンサルタント	取引先の様子	・緊急事態宣言と自粛要請による休業、営業時間短縮により、大幅な売上減少が続いている。給付金なども出でならず、厳しい状況である。
	×	税理士	取引先の様子	・持続化給付金の申請ができる売上半減の事業所に対しての100～200万円の入金執行されているが、45%減など同程度の減収では手当てされないのが苦しい。雇用調整助成金は素人では申請しにくい。
	×	経営コンサルタント	取引先の様子	・機械加工、金属加工等の中小企業では、外食産業のような新型コロナウイルスの直接的な影響はないが、発注先企業の部品輸入ストップなど、製造の調達に影響が出ているため、各種発注が停止又は減少している（東京都）。
	×	その他サービス業〔ディスプレイ〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・イベント業なので、新型コロナウイルスの影響により仕事が全くない（東京都）。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	その他サービス業〔廃棄物処理〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの取引先工場への影響が顕著になってきている。取引量が減り、売上も前年に比べて30%以上減少している。
	×	その他サービス業〔ビルメンテナンス〕（経営者）	それ以外	・全てにおいて悪化している。
	×	その他サービス業〔映像制作〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・5月1日以降現在まで休業しているため、売上はゼロである。今まで経験したことのない状況である（東京都）。
	×	その他サービス業〔ソフト開発〕（経営者）	取引先の様子	・開発の中断や延期の話が出てきている（東京都）。
	×	その他サービス業〔情報サービス〕（従業員）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、受注がほとんどない。
雇用 関連 (南関東)	-	-	-	-
		求人情報製作会社（営業）	求人数の動き	・自粛解除の発表後から、採用活動を開始する企業が増加しているように感じる。だが、飲食や販売系の動きははまだ見られない（東京都）。
		-	-	-
		人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの影響を受けて、求人募集は一部の業界や職種を除いてストップしている。4～6月の派遣契約更新は、派遣先からの契約終了は少なく、就業者の更新率も高く、継続率についても高い（東京都）。
		求人情報誌製作会社（広報担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で、イベント開催可能時期のめどが立っていないため、予定を立てて販売することができない。オンラインでの商品を作製、販売中だが、それで売上を完全に補填することは到底できない（東京都）。
		民間職業紹介機関（経営者）	採用者数の動き	・製造業等の稼働率が落ちており、経済低迷の影響を大きく受けている。外出制限の解除で、今後徐々に経済状況も回復する（東京都）。
	×	人材派遣会社（社員）	それ以外	・人材派遣業と企業のアウトソーシングについて、緊急事態宣言の延長を踏まえ、取引先からの減額要請が増加している。スタッフに対しては、雇用確保のため、できるだけ給与を全額払うように、助成金申請等の作業を進めているが、実際の金額、期日の見通しが立たないため、取引先、スタッフからも不安が出てきている。特に人材派遣では、契約解除の話も具体的に出てきている（東京都）。
	×	人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスによる受注減を理由に、特に製造業において、7月以降の派遣契約更新がなくなるケースが増えている。
	×	人材派遣会社（社員）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で会社の売上が落ちている（東京都）。
	×	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・求人数は4月に続き前年同月比で約70%の減少となっている。3か月前と比較しても約70%弱の減少であり、非常に厳しい（東京都）。
	×	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・企業からの派遣依頼は前年比で7割ダウンしている。求職者数は増えているので、受注決定日が異常に跳ね上がっている。売手市場から買手市場へ激変している（東京都）。
	×	人材派遣会社（支店長）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響により、4月に引き続き大幅に派遣受注が減っている。特に、人材紹介は新規採用がほぼゼロの状態が続いている（東京都）。
	×	人材派遣会社（営業担当）	採用者数の動き	・新型コロナウイルスの影響により、求人数、新規派遣登録の求職者数が3月の半分に減っている。その影響もあり、マッチング数が減少しているため、新規稼働者も減少している。また、派遣社員が小学生以下の子供の面倒を見るために特別有給休暇を取得しているため、売上減少も見えている（東京都）。
	×	人材派遣会社（営業担当）	周辺企業の様子	・エンジニアの派遣事業では、新型コロナウイルスの影響で明らかにニーズが減ってきている（東京都）。
×	求人情報誌製作会社（営業）	求人数の動き	・緊急事態宣言を受け、多くの企業が自粛をし、ほとんどのところで仕事が減少してしまっている。それにより、求人数が大幅に減少している。緊急事態宣言が解除されている現在も、すぐには回復していかないことから、先の見えない状況は変わらない。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	求人情報誌製作会社（所長）	求人数の動き	・広告件数が非常に落ちている。
	×	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・とにかくひどい状態である。募集があるのは医療、介護、運送くらいで、あとは軒並み例年どおりのものは出ていないし、正社員はもちろん出ない。今月は倒産がもう28社、廃業が5社、新規が23件取れたが、数字的には全然ぱつとしない。
	×	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新型コロナウイルス感染症による休業要請の影響で、採用活動を中止する企業が続出していることと、飲食、宿泊サービス業の企業で倒産するケースが増えている（東京都）。
	×	民間職業紹介機関（経営者）	採用者数の動き	・新卒採用活動はほぼ停止状態と言っている。大規模就活イベントは全て中止で、学生の就職機会は大幅に減少している。企業個別の募集だけでは質、量共に満足な活動はできない（東京都）。

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (甲信越)		スーパー（副店長）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染拡大による外出抑制で、内食需要が高まった結果、スーパーマーケットの売上は伸びている。ただし、新型コロナウイルスの問題は依然として解決されず、景気は悪くなっている。
		その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	お客様の様子	・葬儀の依頼が多く入っている。また、墓じまいや永代供養など、一人暮らしの今後をどうしていけばよいかとの相談が、はっきりと増えている。
		*	*	*
		一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルス対策で、なかなか積極的な営業活動もできず、イベント等も自粛せざるを得ないので、残念である。
		コンビニ（経営者）	単価の動き	・来客数は減っているものの、客単価がやや上がっているため、売上の伸びは横ばいである。
		コンビニ（経営者）	お客様の様子	・これ以上悪くなることはないと思うが、新型コロナウイルスの影響は、まだしばらく続きそうである。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、商店街も閑散としている。
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・緊急事態宣言により、特需商材以外の売上は低迷している。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・車検、一般整備は前年同月とほぼ変わらないが、車両販売は低迷が続いている。
		自動車備品販売店（従業員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、4月の売上は落ち込んでいたが、5月に入ると外出自粛によって、自宅等で洗車など車の手入れをする人が増えたため、来客数は前年を上回る状況となっている。
		一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・テイクアウトが増えており、客単価も下がっている。
		旅行代理店（副支店長）	それ以外	・今月は新型コロナウイルス感染防止のため休業となっており、売上はない。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除されたとはいえ、人々の気持ちがガラリと変わるわけもなく、元々少ない人通りだったところに、更に拍車がかかって、終日、人通りのない状態が続いている。
		スーパー（経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言解除で、少しずつ自粛が緩和されている。来客数、買上点数が落ち着きつつある。
		コンビニ（店長）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響が大きく、スーパーなどに行かなくても、コンビニで手軽に自宅に食事が取れるということで、3か月前と比べると、厳しいは厳しいが、総菜が若干出たり、冷凍物が少し売れたりしている状況で、やや悪い状態を何とか保っている。
	通信会社（経営者）	お客様の様子	・在宅勤務や自宅学習等で、インターネットへの問合せはわずかにあるものの、客のテレビ離れは進みつつある。	
	通信会社（社員）	販売量の動き	・インターネット環境の需要増加により、問合せは例年より増えてきているが、今月も引き続き、営業自粛となっており、新規契約者が増えない。	
	設計事務所（経営者）	来客数の動き	・3か月前から続いている計画案件もあるが、新型コロナウイルスの影響で中止となった計画も出てきている。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・今回の新型コロナウイルスの問題は、まさかこんなに悪くなるとは、私も商売をしてきたなかで初めての経験で驚いている。
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染防止のため、ゴールデンウィークを含めほぼ休業となり、本来トップシーズンの売上となるはずだが、前年比5%の売上しかない。
	×	一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・人の動きが少なく、商材の動きも少ない。飲食業は自粛営業や休業をしており、補助金、助成金の支給を待っている。宿泊業は解雇者も出ており、社会的に冷え切ったなかで、家電業界も厳しい状況である。必要のない物への消費は極力控えている様子がかええる。
	×	一般小売店〔薬〕（経営者）	来客数の動き	・客が来店しない。前年と比べて非常に少ない。
	×	百貨店（店長）	販売量の動き	・当然だが、新型コロナウイルスによる営業自粛で、食品フロアのための営業のため、売上は9割減である。
	×	スーパー（経営者）	それ以外	・スーパーマーケットなので、売上としてはかなり良好である。ただし、近隣の状況を見るとかなり疲弊している。
	×	スーパー（経営者）	競争相手の様子	・25日時点で、売上は前年比25%減、来客数は同18%減である。前年5月は2社から200万円の注文があったがそれがない上に、地区の仕事も全くない。6月は、前年は2社から310万円の仕事があったが、今年は全くない予定である。ただし、増やした仕事もあり、パート従業員も2人のところを1人にして対応しているため、毎日が忙しく、有り難い。高校、短大と学生が休みのため、来客数が伸びない。支払ができ、営業できるように頑張りたい。
	×	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で、人出が全くない。
	×	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・緊急事態宣言や外出自粛要請の影響で、新車販売が激減している。
	×	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・販売量が減少している。特に、車両販売等の高額商材の減少が顕著である。
	×	その他専門店〔貴金属〕（営業）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、悪くなっている。
	×	高級レストラン（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、営業、会合、宴会等の自粛要請により、売上がかつてない落ち込みである。今後も早期回復は見込めない。
	×	スナック（経営者）	来客数の動き	・3か月前というと2月だが、それよりも悪い。ただ、4月からは営業できるようになった分だけ、かなり良くなっている。早く新型コロナウイルスが収束するように、我慢していくしかない。持続化給付金は本当に有り難かった。
	×	スナック（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスによる緊急事態宣言もやっと解除という話になっている。当地は、令和元年台風19号、新型コロナウイルスと、本当にこの半年くらいは最悪の状態である。もう、言うことがないくらい悪い。
	×	観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、いまだに休業が続いている。
	×	都市型ホテル（スタッフ）	それ以外	・新型コロナウイルスやそれに伴う緊急事態宣言の影響により、休業せざるを得ない状況となり、ほぼ売上がない1か月となっている。レストランなどテイクアウトに力を入れたものの、他の多くの店でもテイクアウト販売を実施していることから、大きな売上は得られなかった。結局、少ない売上に人をかけるより、休業を実施し、雇用調整助成金活用へとシフトした1か月である。
	×	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・5月は緊急事態宣言のなか、最も稼ぎ時であるゴールデンウィークに全く人が動かず、売上も、前年同月比85%減という結果となっている。
	×	タクシー運転手	販売量の動き	・2月はタクシー料金の値上げがあったので、前年比105%くらいになったが、3月は同77%、4月は同47%で推移し、今月は多分42%ぐらいで収まるのではないか。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	観光名所（職員）	それ以外	・当観光地も営業自粛で、前月から1か月以上休業中である。営業収入はほとんどなく、厳しい状況を強いられている。
	×	ゴルフ場（経営者）	お客様の様子	・当時周辺地域は前年の台風被害で河川の氾濫、冬の雪不足、新型コロナウイルスの影響等、観光関連産業を中心としたサービス業全般で壊滅的な打撃を受けており、大量解雇等の事例も発生している。
	×	その他レジャー施設 [ボウリング場]（経営者）	来客数の動き	・臨時休業の予定が5月6日までだったが、緊急事態宣言が延長されたことを受け、12日まで休業していた。感染予防対策を徹底の上、13日から再開したが、自粛ムードは続いており、客足は戻っていない。
	×	その他サービス [貸切バス]（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスが完全に終息しない限り、貸切りバスの需要は、なかなか戻って来ないような気がする。
	×	住宅販売会社（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言の発出から、人の移動の自粛等により、観光地である当社を取り巻く環境は悪化している。ゴールデンウィーク中の別荘への来荘数は前年の約2割程度である。
企業 動向 関連		-	-	-
(甲信越)		窯業・土石製品製造業（経営者）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響で受注量は減ったものの、新規受注があり、稼働状況も良くなっている。
		食料品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・ゴールデンウィークが終了し、緊急事態宣言も解除される等、少しずつ通常の生活に戻っている感がある。これに伴って、売上也通常パターンに落ち着きつつあるのではないかと。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・最近では来客数が少ない上に、電話の着信も少なくなっている。前年度からの受注工事を実施している状態である。
		*	*	*
	×	食料品製造業（製造担当）	取引先の様子	・飲食店、ホテル等いまだに再開されていないところもあり、販売点数が4割ほど減ったままである。
	×	食料品製造業（営業統括）	競争相手の様子	・新型コロナウイルスの感染防止に向けた外出自粛要請、飲食店の休業等の影響を受け、各メーカー共、売上が2～3割にとどまっており、苦境に立たされている。
	×	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・受注が前年比で半分以下になっている。また、売上也同様に半分以下という状況が続いている。
	×	電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・取引先からは、「受注が先送りになっている」という話を度々聞く。
	×	その他製造業 [宝石・貴金属]（経営者）	受注量や販売量の動き	・国内外の大きな展示会は、全て8月以降に延期されている。国内では自粛、ステイホームの影響で、着用の機会が減少したため、宝飾需要は大幅に減退している。緊急事態宣言で、デパート、路面店が営業を自粛している。また、県をまたぐ往來の自粛要請もあり、出張に出られないことも大きなマイナス要因で、売上は80%減となっている。
	×	金融業（調査担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言を受けて、県内の主要産業である宿泊、飲食、旅客等の観光関連産業を中心に、大きなダメージを受けている。
	×	金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルス感染拡大の影響で、取引先から返済条件緩和のための既存融資の条件変更や、県の制度等を利用した融資の申込みが増加している。
雇用 関連		-	-	-
(甲信越)		-	-	-
	×	人材派遣会社（営業担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響は大きい。それに乘じて、従来、正社員型派遣社員で定年60歳を延長し、部署替えを検討していたものが、良い機会だと「契約期間満了での終了」を告げてくる派遣先が増えている。これは今後も増えるかとみている。
	×	求人情報誌制作会社（経営者）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスの影響により、求人誌に募集広告を掲載する件数は、極端に少ない。周辺の宿泊施設や飲食店は、外出自粛により休業せざるを得ない状況のなかで廃業や倒産が出ており、非常に厳しい状況となっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・求人も少ないものの、小規模な会社が事業の廃止や縮小のために従業員を解雇している案件が、前年同時期の3倍ある。
	×	職業安定所（職員）	採用者数の動き	・令和3年3月卒業予定者の採用計画が低調である。
	×	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・休業の話が多いため、悪くなっている。

6. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (東海)		スーパー（販売担当）	来客数の動き	・新装開店と物珍しさに加え、営業時間延長で客足が伸びた。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・自粛ムードの緩和により、少しずつだが集客の多い要所に客足が戻ってきている。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・外出自粛のなか、百貨店や外食産業の休業、営業時間短縮もあり、ゴールデンウィーク期間中は4月より更に来客数、売上点数共に増加し、売上は伸びた。
		スーパー（商品開発担当）	販売量の動き	・営業時間の短縮等はあったが、売上は前年比108%と伸長した。売れている商品としては、新型コロナウイルスの影響から家で食事をする機会が増えたため、5月は特に肉や野菜の生鮮品がよく売れた。
		スーパー（販売担当）	販売量の動き	・3か月前はまだ新型コロナウイルスの影響はなかった。今は少し高くて良い物も売れている。
		コンビニ（店員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスに伴う緊急事態宣言により自粛して帰省が減ったため、いつもは暇なゴールデンウィークがとて忙しかった。
		家電量販店（店員）	販売量の動き	・暑さもあり、エアコン、冷蔵庫が好調を維持している。また、ゴールデンウィークで旅行等に金を使わなかったことや外出をしないことにより、テレビやゲーム機の売上が好調に推移している。
		高級レストラン（経営企画）	来客数の動き	・緊急事態宣言の解除により、徐々に来客数が増えてきているが、元の状態には程遠い。
		都市型ホテル（営業担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響が少しずつ緩和し、営業が再開しつつある。予約数も増えてきているが、前年と比べると約25%減で推移している。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・大型通信機器の導入により、需要増となっている。
		通信会社（サービス担当）	販売量の動き	・テレワークが増え、光回線の新規申込みが増えている。
		テーマパーク（職員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が解除され、外出を控えていた客が動き出す。
		設計事務所（職員）	お客様の様子	・6月から新型コロナウイルス発生以前の状況に戻ると考える。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言は全国的に解除されたが、新型コロナウイルスが終息したわけではない。今後は第2波を覚悟の上で良識ある行動をとらなければならない。
		一般小売店〔贈答品〕（経営者）	お客様の様子	・4～5月は新しい年度の始まりで贈答品、プレゼントが増える時期であるが、いろいろないイベント等も全くない状態であり、5月の売上は大変悪くなっている。
		一般小売店〔書店〕（営業担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響が続くなか、営業活動が大幅に制限されてしまっている。
		スーパー（経営者）	お客様の様子	・消費者の在宅効果により、当月に関しては売上が増加している。
		スーパー（店員）	販売量の動き	・飲食店の自粛期間が終わり、再開に向けての仕入れの買物が戻ってきたが、購入量は減っている。一時期の巣籠り特需の勢いは落ちたが、学校がまだ再開されておらず子供への昼食を購入する様子が見受けられた。ゴールデンウィークのイベントなどの購入がキャンセルになったのはマイナス要因である。
		家電量販店（店員）	販売量の動き	・営業時間を短縮し客は皆マスクをしている状況であるが、来客数は伸びている。皆ゆっくり店内をみており、平常時と変わらない。
	乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・来客数は少ないが問合せは多く、5月中旬から成約もあり売上はやや良い。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他専門店 〔書籍〕(店員)	来客数の動き	・前月に引き続き新型コロナウイルス対策による巣籠り需要が増え、売上は営業時間の4時間短縮にもかかわらず伸びている状態である。来客数と共に単価の動きも良いため、この状態が続くと見込まれる。
		その他専門店 〔雑貨〕(店員)	来客数の動き	・時短営業でも、売上はその前の営業状況と驚くほど違いがなかった。
		タクシー運転手	販売量の動き	・これほど繁華街に人が出ないことは、今まで経験がない。
		通信会社(企画担当)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響によりこちらから仕掛ける営業はできないが、客からの問合せが増えており、結果的にテレビ、インターネットの新規契約件数は大きくは変わっていない。
		通信会社(営業担当)	お客様の様子	・テレワークや学生のリモート授業用のインターネット回線の受注が増えてきている。
		美容室(経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で年配者は外出しにくいいため、来客数が減少した。
		商店街(代表者)	お客様の様子	・外出自粛をしているため、景気が悪い。
		一般小売店〔生花〕(経営者)	来客数の動き	・今年の母の日は、外出の自粛もありインターネットで注文する人が多く、注文数は前年より20~30%増加した。店売りも多く、商品はほぼ完売した。しかし、それ以外の来客数は減少している。
		スーパー(店長)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの特需の期間と比べると、緊急事態宣言の解除により来客数の波が感染拡大前に似てきている。通常に戻りつつあるが、戻り切ることはないと思込まれる。
		スーパー(店員)	販売量の動き	・客は入っているが、商品の動きが悪くなってきている状況である。
		スーパー(ブロック長)	お客様の様子	・新型コロナウイルスによる緊急事態宣言以来、内食需要の拡大により売上は大幅に伸びているが、他業種は軒並み厳しい状況にある。今後はまた、競合店や外食との競争に戻る。
		スーパー(経営企画担当)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で一時的に売上は上がったが、来客数は変わらない。客の収入減で商品単価、買上点数が下がりつつあるように見受けられる。
		家電量販店(フランチャイズ経営者)	単価の動き	・大型店は来客数、売上共に前年を上回っているようだが、小型店では来客数は前年並みで大物商材の動きが悪いため、客単価が伸びない。白物は、前年の消費税増税前の駆け込み需要の反動がまだまだみられる。
		乗用車販売店(経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスによる外出自粛により車での外出が減ったため、事故件数が激減し修理車両が入庫してこない。また走行距離が少なくなり、オイル交換の客も来店しない。毎日通常営業しているが、全体的に仕事量が少なくなっている。
		乗用車販売店(経営者)	お客様の様子	・地域的には新型コロナウイルスの影響は少ない方と考えるが、やはり業種によっては少なからず影響が出ている。
		その他小売 〔ショッピングセンター〕(経理担当)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響により例年と比較すると異常値が出ている。しばらく静観して落ち着いた頃に状況を判断すべきと考える。
		その他飲食〔ワイン輸入〕(経営企画担当)	それ以外	・新型コロナウイルスによる影響で営業を自粛している取引先が増え、需要そのものが喪失してしまった。
		都市型ホテル(経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響を非常に受けている。
		テーマパーク職員(総務担当)	それ以外	・新型コロナウイルスの営業自粛により、5月は、22日から営業を再開している。
		美顔美容室(経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの休業要請は解除されたが、まだ心配で来店を控える客が割と多く、来客数は減少している。
		その他サービス〔介護サービス〕(職員)	販売量の動き	・緊急事態宣言による営業自粛が少なからず響いている。
		住宅販売会社(従業員)	販売量の動き	・営業が訪問自粛となっていた。緊急事態宣言の解除とともに営業活動も緩和されてきたが、まだ完全ではない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他住宅〔住宅管理〕（経営者）	販売量の動き	・緊急事態宣言により自粛ムードで打合せもできず、仕入先も休業中であり打撃を受けている。今までにないほど業績が悪化している。
		その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（営業）	来客数の動き	・他社等も一時帰休で、客の反響数がかなり減り売上減である。
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・緊急事態宣言における外出自粛要請のため、来客数はゼロ、売上も物販についてはほぼない状態である。緊急事態宣言解除後も特に変化はなく、危機的な状況が続く。
	×	商店街（代表者）	お客様の様子	・取引先の1つのホテルが廃業を決定した。他のホテルも9割以上の売上減少となっており、飲食店も同様である。
	×	商店街（代表者）	販売量の動き	・5月22日から納品先の一部売店がオープンし始めたが、それまでは空港や鉄道系売店など90%の売店がクローズしていた。
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響により来客数が極端に減少している。販売量、売上につながらない現状である。
	×	一般小売店〔高級精肉〕（常勤監査役）	販売量の動き	・売上が前年比60～70%である。
	×	一般小売店〔酒類〕（経営者）	お客様の様子	・飲食店の休業自粛は、年配者にとっては経営気力が失われる。若者は、経済的な蓄えがなく経営が継続できず、廃業するとの連絡がこの月末は続いている。
	×	一般小売店〔土産〕（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスにより、当社の主力マーケットである観光需要と都市圏の飲食需要の2つが、共に壊滅的打撃を受けている。
	×	一般小売店〔生活用品〕（販売担当）	来客数の動き	・外出自粛により土日祝日の来客数、売上がほとんどなかった。
	×	百貨店（売場主任）	来客数の動き	・5月中旬から営業が再開されたが、平日の来客数は、出張や観光客がいないため少ない。土日は家族連れのお客が戻りつつあるが、買物というよりは見に来たように売上には結び付かない状況である。
	×	百貨店（総務担当）	お客様の様子	・緊急事態宣言の間は生活必需品である食料品のみの販売となり、収益の大半が失われた。客足は、緊急事態宣言が解除され徐々には戻りつつあるものの、相当の期間を要するものと想定している。
	×	百貨店（経理担当）	販売量の動き	・緊急事態宣言が解除され需要の回復には期待できるが、全世界的に制限が解除されない限り、本格的な需要回復には至らない。
	×	百貨店（営業担当）	それ以外	・新型コロナウイルスによる自粛生活の影響がある。今月中旬より、食品売場に限定していた部分営業から全館営業に拡大したが、3密にならないよう安全・安心に配慮し、新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた営業をしている。
	×	百貨店（業績管理担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響による臨時休業、営業時間短縮に伴い売上は激減している。緊急事態宣言は解除されたが、まだまだ来客数は戻っていない。
	×	百貨店（販売担当）	それ以外	・新型コロナウイルスに伴う臨時休業が5月中旬まで続き、営業再開後も外出自粛で入店はかなり少ない状況である。しかし、そんな中でも再開を待っていた客の購入もあった。
	×	百貨店（計画担当）	お客様の様子	・緊急事態宣言の解除後から営業開始したが、客が以前の状態までは全く戻ってきていない。
	×	スーパー（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの終息を祈るばかりである。
	×	スーパー（営業企画）	お客様の様子	・前月は緊急事態宣言により内食需要が増加し、客単価が上がったため売上は大きく伸びたが、決して景気上昇によるものではない。今月は、来店頻度の低下により来客数はマイナスとなっている。
	×	スーパー（支店長）	お客様の様子	・新型コロナウイルスで先行きが不安になり消費の冷え込みは否めない。さらに、第2波の不安も重なり、しばらくは経済の回復はありえないのではないかと見込まれる。新規事業も検討しなくてはと考える。
	×	スーパー（販売担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルス対策での要請による営業時間の短縮や店舗の休業が、来店客の店舗滞留時間の減少に現れている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	コンビニ(店長)	販売量の動き	・休業要請で取引先が休業している。
	×	コンビニ(企画担当)	来客数の動き	・駅ナカの店舗は、通勤、通学共に大幅に減っているため来客数が前年比40%程度に落ち込んでいる。売上も前年比50%を下回っている。
	×	コンビニ(エリア担当)	来客数の動き	・来客数が30%以上落ちている。
	×	コンビニ(エリア担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルスによる緊急事態宣言に伴う営業自粛が9割にのぼり、営業活動が行えない。営業中の店舗も、駅前立地がメインということもあり、外出自粛の影響を受けふだんの8割以上ダウンしている。
	×	コンビニ(エリア担当)	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染拡大による影響が全体的には大きいですが、住宅街の店舗では調理パン、調理麺や店内ちゅう房の弁当がよく売れており、販売量は10%増加している。ビジネス街や駅前立地の店舗は真逆の状況である。
	×	コンビニ(店長)	来客数の動き	・緊急事態宣言解除後も夜の時間帯は来客数も減少したままで、元には戻っていない。
	×	コンビニ(店長)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で来客数、売上共に前年比50%割れが続いている。緊急事態宣言解除後も回復が鈍く、先行きが全くみえない状態である。
	×	コンビニ(本部管理担当)	来客数の動き	・5月の売上は前年比85%で着地の様相である。壊滅的な数字の理由は、新型コロナウイルス感染症の影響による来客数の大幅減が要因である。
	×	コンビニ(商品企画担当)	それ以外	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言で外出控えが継続しており、売上がかなり厳しい状況である。
	×	衣料品専門店(経営者)	お客様の様子	・緊急事態宣言解除後にアプローチの電話をすると、ほとんどの客が外出自粛をしていた。来店すると購入につながるが、この1~2年ほど来店客が減っている。
	×	衣料品専門店(販売企画担当)	販売量の動き	・マスク関連以外は全く商品が動かない。利益も乗せられないので、利益確保には貢献しない。
	×	衣料品専門店(売場担当)	お客様の様子	・外商については新型コロナウイルスの影響が大きく、特に個人客は訪問を嫌がり商談にまで至っていない状況にある。
	×	乗用車販売店(経営者)	お客様の様子	・緊急事態宣言が解除になったとはいえ、新規来店客はほとんどない。当社は整備部門があるので来客数はそれなりにあるが、新車商談の客の来店はほとんどない。
	×	乗用車販売店(従業員)	販売量の動き	・緊急事態宣言に伴う自粛要請により、新車販売台数は過去にない落ち込みで前年比6割ほど、中古車の販売状況も前年比7割ほどと、このままでは危機的な状況となっている。
	×	乗用車販売店(従業員)	それ以外	・新型コロナウイルスの影響により景気は最悪である。
	×	乗用車販売店(従業員)	販売量の動き	・客との会話で、勤務先が休業となり今は家にいるという話が多く聞かれるようになった。客は、再度仕事が始まってからの勤務がどうなるか分からないため、不安で車の話どころではないという状況にある。
	×	乗用車販売店(従業員)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの関係で客の買い控えが影響し、前年比70~75%で推移している。早急に必要物でないため、販売活動もままならないのが現状である。
	×	乗用車販売店(販売担当)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で、心理的に新しい車を考える気分ではないと言われる。
	×	乗用車販売店(営業担当)	来客数の動き	・3か月前と比べるというまでもなく悪くなっているが、ゴールデンウィーク明けから徐々に雰囲気は明るい方向へと向かい始めた感覚はある。4月後半に比べれば明らかに人の流れは変わってきているが、前年比で見れば大幅に落ちている。新車より中古車を求められる。
	×	住関連専門店(営業担当)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で商業施設は現場が休止になり、先々の新店オープン、業務工事、又は新規出店がなくなっている。住宅に関しても、入居をためらう客も多く厳しい状況が続く。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	その他専門店 [貴金属] (経営者)	販売量の動き	・店前の通行者の激減に伴い、来客数や商談件数は激減している。財布のひもが引き締められ、成約率は急落し販売量も激減している。特に宝飾品は、ぜいたく品ともいわれ、景気が悪くなると最も売上に影響を受ける品目の1つに数えられる。
	×	一般レストラン (経営者)	販売量の動き	・4月以降売上は10~15%落ち込んでいる。5月に入り、イートインスペースで客がほとんど食事をしないので閉めている。持ち帰りの販売量は、例年とほぼ変わらない。
	×	一般レストラン [居酒屋] (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響による。
	×	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・来客数が減少している。
	×	一般レストラン (従業員)	それ以外	・新型コロナウイルス対策で4月下旬から5月前半まで休業した。通常営業を復活したが、なかなか客が来ない。
	×	一般レストラン (従業員)	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除されても、客は複数人での食事を控えている。
	×	その他飲食[仕出し] (経営者)	それ以外	・世の中の動きがない以上、経済は回らない。
	×	観光型ホテル (経営者)	来客数の動き	・5月末まで営業自粛しており休業中である。
	×	観光型ホテル (支配人)	来客数の動き	・稼ぎ時のゴールデンウィークのファミリーバイキングも中止し、宿泊、レストラン利用共に皆無であった。前月に引き続き全社で来客数の前年比は1けたで推移している。今月中旬に自粛要請が緩和され、食堂の1店舗を金~日曜日だけ再開し、現在は3店舗中1店舗のみが営業している。席数も従来の半分とし、新型コロナウイルス対応に苦慮している。
	×	都市型ホテル (従業員)	来客数の動き	・インターネットの予約数をみても景気は良くない。
	×	都市型ホテル (総支配人)	来客数の動き	・宴会は9月までほぼキャンセルである。忘新年会は様子見で、予約はない。宿泊は6月1日より営業を再開するが、予約は日に3部屋程度でレストランも予約はない。
	×	旅行代理店 (経営者)	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で、旅行部門の売上はゼロである。国際線は飛行機もほとんど飛んでいないので、商売が成り立っていない。
	×	旅行代理店 (経営者)	それ以外	・緊急事態宣言は解除されたが、新常态といわれるように常に第2波に備えながら経済活動が再開され、以前とは全く異なる消費、生産活動を強いられている。ターミナル駅前の高層ビル内のレストラン街では閉店の張り紙が出たり、近隣ビル内の美容室やエステサロンの退店が相次いでいる。
	×	旅行代理店 (経営者)	それ以外	・緊急事態宣言を受け現在休業中である。夏休みの短縮が決まり、期待していた8月の旅行まで取消しが発生してきている。6月から営業予定だが、海外渡航14日間の待機措置や県外移動が自由にならないと、どの方面を販売すればよいか不透明なままで不安である。
	×	旅行代理店 (営業担当)	それ以外	・新型コロナウイルスの影響により4月に続き今月も旅行実施は0件である。ギフト券等の物販の売上が数件あったのみである。危機的状況は、今までの不況と比べものにならないほど深刻である。第1波はほぼ収束に向かってきたが、第2波の心配もあり旅行需要は短期的に回復するものでもなく、直近の対策も大きな効果は見込めない。
	×	旅行代理店 (営業担当)	販売量の動き	・5月末まで店頭営業、法人営業共に臨時休業とし、6月から営業再開を予定しているが、旅行案件は9月分まで皆無である。前月に続き、どん底の状態である。
	×	タクシー運転手	お客様の様子	・ゴールデンウィークは3密を避けるためにイベント、結婚式や法事の客もなく、前年比7~8割減となった。緊急事態宣言解除後は少し客が戻った。
	×	通信会社 (営業担当)	販売量の動き	・営業時間の短縮、受付制限で来客数も激減した。
	×	テーマパーク (職員)	それ以外	・新型コロナウイルスにより、営業自体が国や県の要請でできなくなった。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	レジャーランド（職員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響による臨時休業とゴールデンウィークが重なり、例年に比べ大幅に減少している。緊急事態宣言の部分解除を受け、感染防止対策を徹底して一部の営業を再開したが、県外からの来訪を自粛する流れで、来客数は少ない。
	×	観光名所（案内係）	それ以外	・ステイホーム、3密注意、自粛と、とにかく人の動きがなく休業することが当たり前になり、ゴーストタウンのように人の動きが感じられない。
	×	ゴルフ場（支配人）	来客数の動き	・来客数が前月に引き続き低迷している。3月まではそれなりに来客数を確保できていたが、足元の景気は大変悪くなっている。
	×	パチンコ店（経営者）	販売量の動き	・来客数の動きが悪い。
	×	理美容室（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響により金を使わなくなって、景気が悪くなる。
	×	理容室（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で客の回転が悪い。
	×	美容室（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響が大きい。
	×	美容室（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス対策により外出自粛をしており、イベント等もキャンセルされ、来店が必要なくなり予約を先延ばしする客が多い。
	×	設計事務所（経営者）	来客数の動き	・全く仕事がない。
	×	住宅販売会社（経営者）	それ以外	・景気が悪く、収入が減り家の購入資金に金を回せず、少々の値下げでは購入できない状態である。
	×	住宅販売会社（従業員）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響は今までにない経験である。まず来場者が少ない。1年を占うゴールデンウィークの来場者数が激減した反面、冷やし客は一切なく、少ないなかにはもともと購入を考えていたのでそのまま進めたいという客もあり、取りこぼさず首の皮1枚でつながっている状況である。
	×	住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・新築、リフォームの工事が止まり、暇になっている下請業者が出てきた。
企業動向関連 (東海)	-	-	-	-
		化学工業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・3～4月に続き、新型コロナウイルスの影響で在庫の積み増し需要やアルコール製剤、次亜塩素酸水用の容器販売が増えている。
		窯業・土石製品製造業（社員）	受注量や販売量の動き	・3か月前と比較すれば受注量全体としては変わらない。新型コロナウイルスの影響で自動車関連は減少しているが、コンピュータやガラス関係からの注文が増えている。
		一般機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・主力市場である北米で自動車部品メーカーが軒並み生産中止や自宅勤務となり、引き合いも受注も全くない状態である。
		輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・5月前半は個人宛での荷物が大幅に増えたが、現在は落ち着いてきている。会社間の荷物は、逆に大幅に減っている。
		会計事務所（職員）	取引先の様子	・融資、持続化給付金や雇用調整助成金の問合せは相変わらず多い。
		食料品製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・商品によりばらつきはあるものの、受注量は総じて前年を下回る。
		化学工業（総務秘書）	それ以外	・新型コロナウイルス対策の1か月半にわたる緊急事態宣言が解除された。この2か月ほど経済を停止させてきたため、景気は当然悪いが、いつかは終わるものと分かっていることがせめてもの救いであり、世間のマインドは絶望的ではない。ただし、飲食店には悲壮感が漂っている。
		金属製品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・もともと今年は東京オリンピック実施の年で、プロジェクトの谷間となり仕事量が心配といわれていたため、受注量の停滞がそれによるものか、新型コロナウイルスの影響で増幅しているか見極めが難しいが、協力工場などは仕事の確保にかなり苦労している。
		電気機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・直接的な影響は少ないものの、取引先では新型コロナウイルスの影響が大きいところが多い。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		電気機械器具製造業（総務担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルス感染症の拡大が、今のところ業績に大きな影響を与えているわけではないが、海外製機器の納入遅れに加えて、通信機器の家庭内への取付工事に遅れが生じるなど、実態として徐々に影響が出始めている。
		行政書士	受注量や販売量の動き	・食料品を運搬する業者には影響がなさそうだが、他の業者は減車するところが出てきている。
		その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	取引先の様子	・世の中全ての景気が悪く、どのように対処していけばいいのか分からず毎日非常に悩んでいる。
	×	食料品製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響により、取引先からの注文数が大幅減である。
	×	パルプ・紙・紙加工品製造業（顧問）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響が非常に大きくなり、受注量、販売量共に前年比60～65%へ落ち込んでいる。
	×	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響により経済の流れが悪くなり、元に戻るには時間が掛かる。
	×	鉄鋼業（経営者）	受注量や販売量の動き	・3月から受注量、販売量共に落ち込みが始まり、前年比で3月は10%減、4月は15%減である。5月もこのままでは15%の減少である。
	×	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・販売量が大きく減少している。
	×	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で客先の業界が休業状態であり、全体的に景気が悪く仕事がなくなってきている状況である。
	×	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・4月までは受注量が少し減少したくらいで変動はほとんどなかったが、5月については、受注量の見通しについては2割減で、木～金曜日を休業という話が出ている。
	×	輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	取引先の様子	・現在、米国の経済状態が悪いため、派遣切りが始まっている。
	×	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・5月の売上が例年の6割程度、6月も7割程度である。5月分も、取引先の予定で納入途中に減る可能性がある。海外向けの製品は軒並み悪く、米国向け、中国向け共に下がったままで推移している。
	×	輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で完成車メーカーのラインが止まっており、部品会社は生産量が減少している。
	×	輸送用機械器具製造業（管理担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響による家計圧迫が見受けられる。
	×	建設業（役員）	受注量や販売量の動き	・5月は、前半のゴールデンウィークに新型コロナウイルス禍によって、マンションギャラリーを閉鎖して売出しを自粛した。その影響で集客はなく、契約件数は低迷している。
	×	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・仕事が全くない。
	×	建設業（営業担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響により、営業開始になっても客対応の際には距離感やすぐに対応できない状況が続いているため、景気回復はもう少し先になると考える。
	×	輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・サービス業向けの製品、工作機械関連の製造業の稼働が落ちている。日中間の輸出入は前年並みで推移している。
	×	輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響は、3月の時点ではそれほどなかったが、4月に入り客からの受注量が減った。5月は4月よりも更に減っている。6月は、今のところ5月と同じ状況の予定となっており、前年と比べるとかなり悪い。
	×	輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・1日当たりの貨物取扱量は、4月から更に悪化しており前月より5%以上減少した。前年比では8割ほどの数字である。
	×	輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響である。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	通信業（法人営業担当）	それ以外	・政府、マスコミ報道等よりも現実はずっと厳しさがみられる。特に飲食関係は打撃が大きい。開店しても以前の状況には程遠く、パートの人件費を削減せざるを得ない。立場の低いところにしわ寄せがきている状況である。今回は誰のせいでもなく、政府の迅速な対応も見受けられるが、今一つ現状認識に甘さがある。
	×	通信業（総務担当）	それ以外	・新型コロナウイルス感染対策の影響なので、どうしようもない時期だとは認識している。人の動きさえ戻れば、回復は可能だと考えている。
	×	金融業（従業員）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響により大きなダメージを受けている企業が多い。その一方で、代理店業務等により稼いでいる企業も一部にある。全体的には中国からの部品が入らず、製造も思うようにはいかない状態が続いている。
	×	金融業（企画担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響で、特に飲食関連の売上が激減している。また、人が動かない、動けないことから営業による販売や生産も限定的となり、企業の業績は急激に悪化している。
	×	不動産業（経営者）	それ以外	・例年同様に晴天の日が多いが、新型コロナウイルス問題が続いていることから高校の休校や在宅勤務者増加の影響を受けている。公共交通機関の利用者が大きく減少していることもあり、売上は前年同期を大きく下回っている。
	×	不動産業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・早期売却案件やオーナーチェンジが多い。
	×	不動産業（開発担当）	受注量や販売量の動き	・客が減っている。物件のキャンセルが続いている。
	×	広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響で営業サイドでの広告活動が半減しているため、広告出稿もストップ状態に近く、厳しい状況である。
	×	新聞販売店〔広告〕（店主）	受注量や販売量の動き	・自粛要請によって折込チラシを注文すること自体も自粛された。スーパーやパチンコなど定期的に入っていた折込チラシが入らなくなった。
	×	公認会計士	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で、経済活動が大幅に縮小している。
	×	会計事務所（職員）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響により、取引先ではほぼ全ての業種において売上の減少がみられる。特に飲食業においては減少の幅が大きく、休業している企業もあった。一部企業では役員報酬、給与等を大幅にカットしたが、それでも経営が成り立たないところも出てきている。
	×	その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	それ以外	・派遣契約の継続ができず、休業対象者が増えてきている。新たな取引先、案件についても見通しが無い。
雇用関連		-	-	-
(東海)		民間職業紹介機関（営業担当）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの影響で事業の見通しが立たず、将来的なリスク回避も含めて採用を停止する企業はまだまだある。ただし、緊急事態宣言の解除を経て、この環境下でも採用しなければならぬと考えているポジションでは、募集する動きもある。
		アウトソーシング企業（エリア担当）	周辺企業の様子	・自動車関連の製造業全般において落ち込みがみられ、雇用調整助成金の活用や一部派遣契約については終了といった動きがみられる。
		職業安定所（次長）	求人数の動き	・新規求人数が引き続き減少している。
		民間職業紹介機関（支社長）	求人数の動き	・特に大手メーカー、飲食業からの求人が減少している。
	×	人材派遣会社（経営企画）	周辺企業の様子	・テレワークや客からの休業要請などで労働時間が減少している。開発活動のペースが鈍化している。
	×	人材派遣業（営業担当）	周辺企業の様子	・製造業、建設業等で新型コロナウイルスによる休業や工事停止が継続し、また、残業規制を敷く企業も出てきている。
	×	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・メインの取引先が臨時休業のため、売上がゼロである。
	×	人材派遣会社（営業担当）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスの影響により、製造業の各取引先で予算計画の見直しが発生し、予定されていた業務が延期され、当社への引き合いでもキャンセルとなる事案が数件発生したため、景気は悪くなっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	人材派遣会社（企画統括）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの影響が一層深刻化しており、求人を見合わせる企業が増加している。
	×	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・求人数が一気に減った。肌感覚では前年同期の30%程度である。
	×	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの影響で求人が減少し、現在の派遣契約期間である6月末での終了も大幅に増加する見込みである。
	×	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	求人数の動き	・求人数がここに来て急激に減少している。特に非正規雇用の募集が全くなっている。
	×	職業安定所（所長）	周辺企業の様子	・求人数が減少しており、雇用調整助成金の申請が増加している。
	×	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人の減少が続いている。
	×	職業安定所（職員）	求人数の動き	・前年同月、3～4月の職業別新規求人の提出状況と比べてみても、ほぼ全ての職業で減少しており、特にサービス業の減少幅が大きい。
	×	職業安定所（次長）	求人数の動き	・新規求人数が減少している。特に宿泊、飲食、サービス、製造業が大きく減少している。
	×	職業安定所（次長）	求人数の動き	・新型コロナウイルス感染拡大の影響等から、ほとんどの産業で前年同月から有効求人数、新規求人数共に減少しており、減少幅は前月より拡大している。

7. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (北陸)		家電量販店（店長）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大防止対策で空気清浄機、ステイホームの影響で調理器具の売上が良い。
		通信会社（職員）	お客様の様子	・外出自粛制限が解除され、延期となっていた契約や工事が徐々に動き出している。
		家電量販店（本部）	お客様の様子	・4月に比べて新型コロナウイルスの影響は落ち着いてきている。良くもなく悪くもなくといった印象を受ける。
		通信会社（店舗統括）	来客数の動き	・一旦減るかにみえた来客数だが、それなりの人数をキープしている。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・ゴールデンウィーク期間中は営業を自粛したが、その後、来客数は9割方戻りつつある。4月と比べて状況は良くなってきている。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染防止の意識からか、来店頻度が大幅に減っている。来客数の減少に対し、客単価が追い付いていないため、やや売上が不足する傾向にある。
		自動車備品販売店（役員）	お客様の様子	・大型店舗が休業した影響か、自粛疲れなのか、前月から比べると多少は来客数が増加している。しかし、商品購入も自粛ムードなのか、買上単価は低い。また、例年はゴールデンウィーク期間の前後に車のメンテナンスを要望する客が多いが、今年は皆無の状況である。
		通信会社（役員）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で営業活動を自粛しており、契約数が減少している。
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・新型コロナウイルスが原因で住宅展示場に来場者が少なく、客との打合せも延期となっている。
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・唯一吸引力のある百貨店が食品フロア以外は休業となり、今まで体験したことがないほど街には人がいない。休業要請を受けなかった店舗や業種は休むわけにもいかず、かといって客は来店できない。短時間での外出をと、店の前に車を停めて来店すると、警察の駐車禁止の取締りにあって罰金となる。三重苦が最近まで続いている。
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・大型デパートの全面休業に伴い、商店街の人通りも閑古鳥が鳴いている状態である。飲食関係はテイクアウトを試みているが、利用客は少ない。衣料関係は、従業員の解雇や自宅待機など先が読めない状況が続いている。収入減のため、組合の賦課金減免の申出があり、対応に苦慮している。
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・県の緊急事態宣言を受けて今月は休業している。その反面、ネット通販は2けた増と好調ではあるが、店頭販売を含めた前年比で考えると厳しい状況である。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	一般小売店〔事務用品〕(店員)	それ以外	・商談案件が激減し、客への訪問営業もできない。
	×	一般小売店〔鮮魚〕(役員)	販売量の動き	・いまだかつて例のない悪さである。売上げゼロの取引先がずらりと並んでいる。自粛要請の解除から少し動き出したが、新型コロナウイルス発生以前の状態には遠く及ばない。
	×	一般小売店〔書籍〕(従業員)	販売量の動き	・現在は経済が回っておらず、ひどい状況が続いている。
	×	百貨店(売場主任)	来客数の動き	・5月中旬に時短営業による営業再開後の売上高は前年比15%減で推移しているが、月全体では4月に続いて前年比70%減の見通しである。前半のゴールデンウィークや母の日などの稼ぎどきに臨時休業していたことが痛手である。
	×	百貨店(販売促進担当)	来客数の動き	・休業期間が2週間強あり、影響が非常に大きい。営業再開後は食品や化粧品、ギフトといった必需品は戻ってきているが、アパレルや高額商材の動きは鈍い。
	×	百貨店(販売担当)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響による長期休業に加え、ウィズコロナといわれるように、長期にわたる様々な影響を考慮する必要があり、第2、第3の休業も考えると悪化している。再開直後は、上位顧客やさほど影響を受けていないとみられる人を中心に来客数が増加している。必需品などのまとめ買いが発生し、一旦復調したようにも見えるが、客の消費動向は非常に慎重で低価格志向であり、生活必需品やギフト以外の購入は少なくなっている。
	×	スーパー(店長)	お客様の様子	・外食を控えているなかでも高単価の商品には手を出しにくい様子で、必要最低限の商品のみの購入になっている。
	×	コンビニ(経営者)	来客数の動き	・来客数が前年比の60%である。
	×	コンビニ(エリア担当)	来客数の動き	・平日の昼間は回復基調ではあるが、平日の夜間と週末は落ち込んだままである。
	×	コンビニ(エリア担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルスによる影響と今後の不透明感がある。
	×	コンビニ(店長)	販売量の動き	・4月より新型コロナウイルスの影響で、今までで一番前年比が割れている。特に夕方と週末の売上減が深刻で、全体では約15%減、週末においては約40%減となっている。この状況が4月のみならず5月も月末まで続き、回復の兆しが見えてこない。
	×	コンビニ(店舗管理)	来客数の動き	・17時以降の来客数が前年に対し激減している。
	×	衣料品専門店(経営者)	お客様の様子	・この1か月間、ほとんどの店舗が閉店していて、売上はほぼゼロである。やっと先週くらいから再開できたが、まだ客足は戻ってこない。
	×	衣料品専門店(店舗運営)	来客数の動き	・休業していたショッピングセンターが営業を再開したが、いまだ客足は戻っていない。
	×	乗用車販売店(経営者)	来客数の動き	・来客数が大変少なくなっている。連休明けから客の来店を期待していたが、修理等も取りに行っても終了後は届けるという状態で、販売に対しての来店はほとんどない状況が続いている。
	×	乗用車販売店(従業員)	お客様の様子	・緊急事態宣言が解除され、日常生活を徐々に取戻しつつあるとはいえ、厳しい状況が続いている。
	×	乗用車販売店(役員)	来客数の動き	・政府や自治体からの自粛要請により外出を控える人が増え、店頭へ来る客が以前と比べて減少しており、販売への影響も顕著なものがある。
	×	住関連専門店(役員)	販売量の動き	・この市況において耐久消費財を取り扱う当社では確実に販売量が低下している。新築を含めた住宅関連の売上悪化の影響も少なくない。
	×	その他専門店〔酒〕(経営者)	販売量の動き	・とにかく新型コロナウイルスで、ひどい状態である。売上は約8割減というところである。こんな状態がこれからも続くとしたら、どうにもならない。
	×	その他小売〔ショッピングセンター〕(統括)	来客数の動き	・全国の緊急事態宣言を受け、生活必需品を取り扱う部分以外の休業を余儀なくされた。その後、宣言解除を受けて営業を再開したが、新型コロナウイルス発生以前の来店状況に戻るには相当の時間が掛かると考える。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	高級レストラン（スタッフ）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響により通常営業は休業し、弁当販売を行ったが、容器が不足して思ったような販売ができず、例年の10%ほどの売上である。
	×	一般レストラン（店長）	来客数の動き	・店舗は休業中である。テイクアウトのみの営業を強いられている。
	×	スナック（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で40日間ほど閉店していたが、4月29日より再開し、数人の来店があった。しかし、皆口々に外に出ない習慣がついたと言われ、店にとってはマイナスの状況である。ただ、業種によっては忙しいところもあると聞いている。
	×	観光型旅館（経営者）	それ以外	・国の緊急事態宣言を受けた外出自粛があり、4月12日から営業を自粛している。5月は1日も営業できていない。
	×	観光型旅館（スタッフ）	来客数の動き	・新型コロナウイルスによる影響でキャンセルが多く発生し、営業しても開店休業の状態である。現状の感染拡大状況を踏まえ、4月27日より休業している。
	×	都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で休業していたが、5月25日からレストラン1店舗を昼のみ再開している。売上は以前の9割減のままでビジネス客が少なく、在宅勤務が続いている間の回復は見込めない。シニア層もほとんど動いていない。
	×	旅行代理店（所長）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響により観光や出張など全ての旅行が中止や延期になっており、取扱額は前年の1割にも満たない状況である。
	×	タクシー運転手	来客数の動き	・売上は80%激減している。5月14日に緊急事態宣言が解除となったが、皆まだ自粛を続けており、外出や通院を避けている。1日を通してタクシー利用はほとんどない。客待ちの時間は4～5時間が平均である。
	×	タクシー運転手	来客数の動き	・県の定める緩和基準がステージ3からステージ1になったが、客の流れは微々たるもので、5月の売上は8割減少している。雇用調整助成金をもらい、3分の1は自宅待機になっているが、1人当たりの最低賃金の売上が確保できていない。
	×	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・前月に続き、新型コロナウイルスの影響で、キャリア側の手続きの制限により端末販売などが伸びない。また、受付時間の短縮、店頭スタッフ数の減少により、受付枠自体を確保できない。
	×	テーマパーク（役員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響により、観光旅行の動きが全く止まった状態で、現在は休業状態であり、大変悪い状況にある。
	×	パチンコ店（経理）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響がある。
	×	その他レジャー施設〔スポーツクラブ〕（総支配人）	来客数の動き	・4月中旬からの休業要請を受け、5月一杯臨時休館せざるを得ない状況である。5月は開業以来初めての売上ゼロだが、人件費等の固定費はほぼ通常どおりの支出のため、単月で大きな赤字となっている。
	×	住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・問合せは当然減っており、集客イベントも自粛のなか、打合せ中の客との面談のタイミングも遅れ遅れになっており、厳しい状況が続いている。
	×	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・客とアポイントが取れない状況である。商談の進め方を手探りしている。
	×	住宅販売会社（営業）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大防止における緊急事態宣言以降、客足が完全に止まったままである。
企業 動向 関連 (北陸)	-	-	-	-
	-	-	-	-
		司法書士	取引先の様子	・今のところは以前からの契約における売買や事業用融資、会社設立などが継続しており、さほど景気が悪くなっている感じはない。
		食料品製造業（経営企画）	受注量や販売量の動き	・緊急事態宣言は徐々に自治体レベルで解除しつつあるが、外出自粛ムードは変わらないのか、外食ルート向けの受注はほとんど止まったままである。一方で小売用の受注は好調だが、全体では引き続き前年割れである。
		プラスチック製品製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大による自粛や経済活動の停滞により、個人消費のみならず企業業績にも大きな影響が出始めており、受注量も減少傾向にある。
		一般機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で営業活動ができず、受注ができなかったため、欧米、国内市場共に受注量が激減している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・同業者の話では法人客も個人客も、時節柄なかなか面談ができず、情報が聞けないということである。
	×	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、衣料、非衣料共に非常に悪い。
	×	精密機械器具製造業（役員）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響は3月時点では限定的な状態だったが、4月以降は本格的に小売、卸売、メーカーの順で悪影響が広がっている。
	×	建設業（経営者）	それ以外	・土木工事業では変化がみられないが、取引のある旅行者やホテル業者、飲食業者は新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言により、閑古鳥が鳴いて商売にならない状況である。
	×	建設業（役員）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響が大きい。
	×	輸送業（役員）	それ以外	・新型コロナウイルスによる影響がある。
	×	通信業（営業）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、営業活動は限定的でほぼ停止状態である。今月の売上高は、前年度に受注した当月の工事予定案件によるもので、前年同月比で30%程度である。
	×	金融業（融資担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響から売上が大幅減収となり、融資の相談が相次いでいる。5月に入り民間金融機関で無利子の制度融資が取扱開始となり、相談や申込みが相次いでおり、中小や零細企業の資金繰り悪化や先行き不透明感を表している。
	×	税理士（所長）	取引先の様子	・当所の関係先の中でも、観光バスなどの観光業あるいは飲食店関係など、いわゆる接客サービスを伴う仕事を中心にして、売上が非常に落ちている。また、製造業や建設工事業関係も一部の施工予定の月がずれて、先送りされていくという形で、新型コロナウイルスの影響がじわじわと出ている。非常に不安が続いている状態である。
雇用 関連		-	-	-
		-	-	-
		-	-	-
(北陸)		人材派遣会社（役員）	求人数の動き	・有効求人倍率もかなり低下してきており、求職者が職場探しに苦労している。
		人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・新型コロナウイルスの感染を恐れ、新たに職に就こうという意欲が減退していると推測している。
	×	求人情報誌制作会社（編集者）	求人数の動き	・1回の掲載で、掲載件数が4割ほど減っている。
	×	新聞社〔求人広告〕（営業）	周辺企業の様子	・各企業とも業種を問わず、まだ本格稼働していない様子である。
	×	新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で人の動きが止まり、あらゆる経済活動が停止したことを実感している。求人に限らず各種広告が激減し、今後の回復も見通せない状況が続くとみている。
	×	職業安定所（職員）	雇用形態の様子	・4月の有効求人倍率は1.48倍で、前年同月比0.50ポイントの大幅な減少となった。産業別の前年同月比では、製造業で61.7%減、卸売、小売業で37.4%減、宿泊業、飲食業で45.6%減、生活関連サービス、娯楽業で59.5%減となっている。
	×	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・休業相談の企業が前月に引き続き多い。また、人員整理を実施する企業が増えている。
	×	民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの影響が大きく、新しい求人依頼がほぼない状況が続いている。

8. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所株式会社）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (近畿)		スーパー（経営者）	お客様の様子	・引き続き休校やテレワーク、外食の自粛の影響で、家庭での調理が増えている。来客数は増えていないが、買上点数が大きく伸び、売上の好調が続いている。緊急事態宣言の解除後の動きでは、大きく落ち込んでいた夕方以降の客数が戻りつつある一方、外食などへの本格的な回帰の様子は、今のところみられない。
		スーパー（店員）	販売量の動き	・平日の朝から客が多く、商品がよく売れている。週末はまるで年末のようである。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		スーパー（企画担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響もあり、売上、利益共に120%以上の伸び率となっているが、緊急事態宣言の解除後は、平常時の動きに戻りつつある。粉物やパスタを中心に、備蓄関連の商品が一気に売れた影響で、入荷困難な商品が多数発生している。直輸入商品も動きがストップしており、入荷のめどが立っていない。今後の売場への影響が避けられない状態となっている。
		家電量販店（店員）	販売量の動き	・ゴールデンウィークが始まって、すぐに暑くなり始めたため、エアコンが急に売れ出している。緊急事態宣言の解除前の来客数が、前年比で120%であったのに対し、解除後は140%にまで上がっている。客との会話では、新型コロナウイルスの影響で白物家電の在庫がなくなったら不安なため、早めに買いに来たという声が多い。
		百貨店（マネージャー）	お客様の様子	・緊急事態宣言が解除になったため、消費に少し目が向けられている。
		百貨店（外商担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの自粛要請が段階的に解除され、営業の再開が順調に進み、来客数も回復傾向にある。売上は平時の半分以下であるが、客の消費マインドは確実に上向き傾向にあると感じる。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・景気が良いというよりも、月次の数値が良いというだけである。世間の事情により、仕方なくスーパーなどの売上が伸びているのにすぎない。
		スーパー（店員）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、家での食事が多くなったり、子供と過ごす時間が長くなったことで、手軽に食べられる物や、お菓子作りなどの商品がよく売れた。その関連では品薄になる商品も多く出ている。
		スーパー（企画担当）	それ以外	・緊急事態宣言で休業中の店が多いほか、家での消費に関する商品の需要が増えているため、新型コロナウイルスによるショックの前よりも良くなっている。
		家電量販店（店員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染収束と共に、来客数が増えている。テレワークが終わって、会社への出勤が始まり、外出も増えている。前年の水準には届かないが、徐々に右肩上がりになっている。
		家電量販店（店員）	来客数の動き	・外出の自粛が緩和され、月後半に掛けて来客数が増えた。これまで買い控えがあった分、自粛の緩和後は、季節性の高い物や故障に伴う買換えが増えている。客の間では、これからは自宅で利用する物の購入を検討し、外出は控えていきたいという意見が多く聞かれる。
		家電量販店（店員）	お客様の様子	・営業の自粛要請の解除に伴い、客の来店が増えた。季節的にも暑くなり始め、エアコンの販売量が増えている。
		家電量販店（人事担当）	来客数の動き	・緊急事態宣言下でも、テレワーク関連商品や、内食に必要な調理家電を中心に、前年を上回る売上となっている。
		百貨店（サービス担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染予防による、営業の自粛や時短営業などで、状況は変わっていない。
		百貨店（店長）	販売量の動き	・緊急事態宣言中も、食品関連はスーパーと同様に好調で、解除後は化粧品などの消耗品に特需が発生している。その一方、アパレル関連では中国での生産が困難なほか、キャッシュの不足で中小企業を中心に倒産が続いたため、商品が不足している。客もクリアランスが近いとため、アパレル消費については様子見となっている。
		百貨店（外商担当）	販売量の動き	・店舗は食料品売場以外、全て休業しており、その食料品売場も4割の店舗が休業している。ほとんど売上がない状態が続いている。
		スーパー（店員）	販売量の動き	・売上は全体的に少なくなっているが、営業経費も減っているため、利益は大きく変わらない。
		スーパー（販売促進担当）	お客様の様子	・まとめ買いの需要もあり、店舗売上は依然として高止まりで推移しているが、来客数は前年比で約1割減となっている。客が来店を控えている傾向もあるが、需要の実態は来客数の推移に反映されていると感じる。
		スーパー（管理担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスによる自粛生活が長引くなかで、宅配システムを利用する人が予想以上に増え、いわゆるコロナバブルとなっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言は解除されたが、テレワークが完全に終わったわけではないため、来客数は8%ほどしか増えていない。
		コンビニ（店員）	来客数の動き	・来客数は戻りつつあるが、全体的に大きな変化はない。
		コンビニ（店員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、まだ近隣の会社では出社している人が少ないようで、昼の来客数が減っている。
		コンビニ（店員）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響につき、外出の自粛は解除されたが、来客数は少ない。
		乗用車販売店（営業企画）	販売量の動き	・回復の兆しがなく、求人業界は壊滅的なダメージとなっている。
		その他専門店〔医薬品〕（経営者）	お客様の様子	・自粛の動きは少しずつであるが和らいでいる。ただし、自粛生活が長かったため、節約志向が続いており、すぐに購買の動きは戻らない。マスクや除菌剤、手洗い洗剤、うがい薬などの動きは良いが、風邪薬や化粧品の動きは悪い。
		その他小売〔インターネット通販〕（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスによる外出の自粛が続いたことで、緊急事態宣言の解除後も生活様式が変化し、接客業は厳しい状況となっている。
		その他小売〔インターネット通販〕（オペレーター）	販売量の動き	・相変わらずマスクやグローブ、体温計などの問合せが多いが、入荷が不安定なため、受注量には変化がない。
		タクシー運転手	来客数の動き	・外出の自粛状態に大きな変化はない。一度倒れた経済の足腰は弱く、不安はなかなか解消されない。
		その他レジャー施設〔複合商業施設〕（職員）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言が、北海道や首都圏を除いて解除になり、買物客が徐々に増えてきている。
		その他住宅〔情報誌〕（編集者）	お客様の様子	・緊急事態宣言の解除後も、大手企業はまだ自粛モードであり、マンションの販売は低調である。新築戸建てについては、低価格物件の動きは堅調であるが、高額物件は停滞気味となっている。
		百貨店（商品担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染が落ち着き、緊急事態宣言が解除された。全部門で営業が再開した18日以降、日次では来客数、売上共に、前年の6～7割の水準にまで回復している。ただし、都市型店舗は郊外型店舗よりも回復が遅れ気味である。部門別には、営業を続けていた食品関連が比較的好調で、再開した売場では子供服や在宅生活を反映した書籍、文具が比較的好調に推移している。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・衣料品を中心に、買い控えが続いている。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・遠距離からの来客数が大きく減る傾向にあり、週末の来客数の減少が著しい。
		スーパー（経理担当）	販売量の動き	・緊急事態宣言が解除され、飲食店や百貨店の営業時間が長くなり始めている。これに伴い、巣籠り消費は徐々に減少し、スーパーでの特需的な動きも少し減っている。今後、学校の再開が本格化すれば、家庭内の需要が更に減少し、平常時の動きに近づく。
		スーパー（社員）	来客数の動き	・前月のような爆発的な売上増ではないものの、依然として食品部門は好調に推移している。客の買上数量の増加が大きな要因であるが、来客数は大きく減少しているため、新型コロナウイルスの感染収束後の回復が心配である。
		家電量販店（営業担当）	販売量の動き	・まだまだ新型コロナウイルスの影響が続いている。
		家電量販店（企画担当）	来客数の動き	・全体的に来客数が増えてきており、特にテレワークに伴う情報関連商品や、水道代の上昇による食洗機やトイレのリフォームなどの節水商品、学校の休校に伴うゲーム関連商品、猛暑を想定したエアコンの問合せが増えている。
		一般レストラン（経理担当）	お客様の様子	・自粛要請が解除になっても、店側も客も手探り状態のため、安心して消費が回復するまでには、しばらく時間が掛かる。
		通信会社（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で、受注が減少している。
		テーマパーク（職員）	それ以外	・正規雇用されている人は、特に金銭的な問題はないが、非正規社員の生活状況を考えると、現状の経済政策では景気が上向かないと予想される。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		美容室（店長）	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除され、客の予約も入ってきているが、混雑した状態を避けるため、予約は少しずつしか入れられない。
		住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、住宅設備の納期が遅れていたが、住宅の引渡しについても、延期の動きがやっと落ち着いてきている。
	×	商店街（代表者）	それ以外	・全店が休業中である。
	×	一般小売店〔時計〕（経営者）	来客数の動き	・例年ゴールデンウィークは人が行楽に向かうため、来客数は伸びないが、今年は連休を過ぎても人の動きが全くない。不要不急の外出への自粛の要請に対し、時計については、不要ではないが不急と判断されたと考えられる。来客数が記録的に少なくなっており、年配客からは、外に出ると若い人に怒られるという声もあった。ただし、月末近くに少し自粛が解除されたことで、人出が少し戻ってきており、暗闇の中に少し光がみえた気がする。
	×	一般小売店〔衣服〕（経営者）	お客様の様子	・5月は大部分が休業状態であったため、前年比で70%弱のダウンである。ここ数日は夏用マスクの需要が高まり、品切れ状態となっている。毎日入荷があるが、昼過ぎには完売状態である。暑さもあり、販売する商品が次々と変化している。
	×	一般小売店〔珈琲〕（経営者）	それ以外	・緊急事態宣言による取引先の飲食店、パチンコ店の休業のほか、イベントの中止などによって、外食の需要が激減している。
	×	一般小売店〔菓子〕（経営企画担当）	販売量の動き	・5月現在と2月の売上前年比を、各地区別に上位5店舗の平均でみると、関西は5月が26.7%で、2月が102.9%、関東は5月が30.3%で、2月が95.7%、中部は5月が47.9%で、2月が89.0%、中国は5月が38.6%で、2月が91.9%となり、各地区合計の平均は5月が32.3%で、2月が98.0%となった。前月と同様、新型コロナウイルスによる影響で壊滅的な状況であり、これがいつまで続くのか、元には戻るのが、果たして持ち堪えることができるのか、不安な状況である。
	×	一般小売店〔鮮魚〕（営業担当）	それ以外	・売上は3か月前に比べると60%の減少で、前年比では70%の減少となっている。
	×	一般小売店〔衣服〕（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスによる自粛が終わり、営業を開始したものの、来客数は激減したままである。加えて、1人当たりの単価も非常に低く、販売量がかなり減っている。
	×	一般小売店〔花〕（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響はまだまだ続く。
	×	一般小売店〔野菜〕（店長）	お客様の様子	・ゴルフ場の飲食関係では、5月末から再開される店もあるが、まだまだ客が戻る気配はなく、最悪の状況が続く。
	×	一般小売店〔花〕（店員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で人が外出しないため、来客数が激減している。
	×	一般小売店〔呉服〕（店員）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で休業していたため、悪くなっている。
	×	一般小売店〔菓子〕（営業担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、今月も前年比で70%と落ち込んでいる。1日も早く通常の生活に戻ることを願うしかない。
	×	百貨店（売場主任）	お客様の様子	・まだ新型コロナウイルスの影響が大きく残っており、生鮮食料品の売上は5月29日までで前年比0.5%増と前年並みを確保しているが、総菜やイートイン、ギフト食料品は20.0%減と大きく落ち込んでいる。今後も同様の消費環境が続くため、厳しい状況が予想される。
	×	百貨店（売場主任）	お客様の様子	・今月の中旬から営業再開となったものの、売上は前年比で30%以上の減少と厳しい状況にある。客は外出を極力避けているほか、生活必需品の需要はあるものの、ファッションなどの嗜好品の購入は抑え気味である。
	×	百貨店（売場主任）	販売量の動き	・全館が営業再開となった初めての週末は、売上が前年比で45%減少している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	百貨店（企画担当）	お客様の様子	・緊急事態宣言が解除されたが、来客数は以前の6割程度であり、買上客単価も前年を下回っている。5月中旬から全店の営業を再開したため、4月に比べると改善は見込まれるが、あくまで低いレベルでの改善である。前年の実績の半分にも達しない。
	×	百貨店（企画担当）	それ以外	・3月はまだ週1回の休業日を除き、通常の営業ができていた。今月は営業を再開できたものの、休業期間が長かったため、業績は極めて厳しい状況である。
	×	百貨店（マネージャー）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で客の買い方が変化しているほか、サプライチェーンの寸断によって商品の供給も滞っている。
	×	百貨店（特選品担当）	来客数の動き	・月前半は緊急事態宣言による臨時休業となり、月後半は営業が再開したが、ソーシャルディスタンスの必要性から、客に近づいての販促ができない。来客数という点では、かなり厳しい状況である。
	×	百貨店（営業推進担当）	お客様の様子	・緊急事態宣言は解除に向けた動きが進んでいるものの、外出への躊躇うちょうがあり、外出時間を減らす意識が強いため、滞在時間の短縮につながっている。
	×	百貨店（販促担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で、月の中旬から中旬にかけて食品売場以外は休業し、下旬も時短営業であった。ただし、下旬の営業状況を見ると、消耗品の購入や季節変わりでの需要など、前年を大きく上回る推移となっている。一方、不要不急の消費の自粛意識は根強く、ショッピングを普通に楽しむまでには、まだまだ至っていない。
	×	百貨店（マネージャー）	来客数の動き	・緊急事態宣言の解除を受け、全館で開店となったが、まだ営業時間が短縮中であるほか、テレワークや外出自粛の継続を受けて、入店客数は前年の半分といった状況が続いている。インバウンド売上も前年比で99.9%減とほとんどなく、回復の兆しはまだみえない。
	×	百貨店（売場マネージャー）	それ以外	・4月の中旬から5月の中旬までは、緊急事態宣言で食品部門を除いて営業を自粛していたため、非常に厳しい経営状態となっている。また、取引先も資金繰りの悪化による倒産や規模の縮小、リストラなど、様々な面で経営が悪化している。営業再開後の売上はほぼ前年並みまで戻るとしても、今までのような積極的な販促などにも取り組めず、直近3か月は大幅な悪化となる。
	×	百貨店（マネージャー）	販売量の動き	・4月14日から続いた食料品を除く臨時休業が、5月20日で終了となった。営業が再開してからの来客数は前年比で4割減であり、来店客をみても、経済的な不安を抱える中間層が多い印象がある。夏のクリアランスセールまでは、買い控えが続くような様子である。
	×	百貨店（服飾品担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で、4月7日から食品以外は営業休止となり、都心店舗では土日は閉店となっていた。5月28日からは食品以外の販売を再開し、約1か月半以上の閉店状態をようやく脱している。営業の再開後は客の安全を第一とし、時短営業などの対策を講じたが、ラグジュアリー関連では営業を待っていた客による買上が多く、ブランドによっては前年を上回る動きがあるものの、来店客はまだ少なく、売上は前年比で60～80%で推移している。ただし、客の買上率は高く、商品を見るためではなく、買うために来店していることが分かる。
	×	百貨店（販売推進担当）	それ以外	・緊急事態宣言を受けた休業期間が1か月以上続き、当社、取引先共に、かなり深刻な状況になっている。営業が再開された後の売上についても、前年の50%を超えるのがやっとという感じで、今のところはすぐに回復する気配はない。
	×	百貨店（宣伝担当）	それ以外	・ようやく店舗の営業を再開したが、営業時間を短縮しており、売上は前年の3割程度にとどまる。特に、百貨店の中心客である中高年層は、緊急事態宣言が解除されても外出を控えており、来客数は少ない。
	×	スーパー（店長）	お客様の様子	・外出の自粛でモール型の施設は休館となり、スーパー業態のみで営業を続けてきたが、やはり来客数の減少で厳しい状態にある。5月22日からモールの再開で来客数は戻ってきたが、以前の消費の勢いには到底及ばず、今後も手探りの状態が続く。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	スーパー(店長)	お客様の様子	・来客数は回復傾向にあるものの、下ラベルやリゾート関連商品は前年比で20%前後にとどまる。今後も前年までのような動きはないと考え、計画を立て直す必要が出てきている。新たな生活スタイルの提案や内食、家飲み、家での運動など、今後は家での過ごし方を充実させるスタイルに変化すると考えられる。
	×	コンビニ(経営者)	来客数の動き	・周辺の企業の在宅勤務は続いており、予備校や専門学校も休校のままで、来客数が半減している。深夜の時間帯は休業していることもあり、4月を超える過去最大の赤字となっている。
	×	コンビニ(経営者)	販売量の動き	・まだまだ、新型コロナウイルスの影響が続いている。
	×	コンビニ(経営者)	それ以外	・新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、不要不急の行動を控えている。この状況では、必要な物にしがお金を使おうとしない。
	×	コンビニ(店長)	来客数の動き	・深夜帯の客の動きが非常に悪い。新型コロナウイルスによる外出の自粛に加え、単身赴任のサラリーマンの移動も制限されているため、朝夕の通勤時間帯の客数が激減している。さらに、外国人観光客はほとんどいない状態が続いている。
	×	コンビニ(店長)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、会社員や学生の客が減少している。特に土日は悪い。
	×	コンビニ(店員)	単価の動き	・客は少しずつ戻ってきているが、買物額の単価が下がっているような気がする。客が財布のひもを締めている感覚があり、代行収納のついでに買物をする人も減っている。
	×	衣料品専門店(経営者)	来客数の動き	・外出の自粛要請のため、小売店で買物する人はいない。そのために、60~70代の社長は廃業を考えている。
	×	衣料品専門店(経営者)	来客数の動き	・5月21日に緊急事態宣言が解除され、徐々に人出が戻りつつあるが、恐る恐る外出していると感じる。7日に解除されなかったことが響き、全く売上のない状態が2か月続く結果となった。2月のダイヤモンドプリンセス号に始まり、小中高校への休校要請、感染の急拡大、マスクの配布、そして極めつけの緊急事態宣言と、この4か月間は新型コロナウイルスに振り回されている。
	×	衣料品専門店(店長)	来客数の動き	・3か月前と比べて、新型コロナウイルスの影響でいまだに来客数が減少し、前年比で大幅に落ち込んでいる。
	×	家電量販店(経営者)	販売量の動き	・客は消費を抑える傾向が強くなり、電話や来客数は少なく、販売量も減少している。
	×	乗用車販売店(営業担当)	来客数の動き	・外出の自粛もあり、かなり悪くなっている。
	×	乗用車販売店(販売担当)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、時短営業や残業規制が続いたほか、外出の自粛によって販売台数が劇的に減少している。
	×	乗用車販売店(営業担当)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で来客数が減っている。また、不景気を理由に、高額商品の購入を抑えているとも感じる。
	×	乗用車販売店(販売担当)	来客数の動き	・緊急事態宣言の解除後も、予断を許さない状況が続いており、客の動きも慎重である。
	×	住関連専門店(店長)	それ以外	・生活必需品を扱っているわけではないため、緊急事態宣言とはほぼ同時に、新規の客が全くなり、5月も同じ状態となっている。
	×	その他専門店[宝石](経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で外出が減り、来客数が大きく減っている。消費への意欲もみられない。
	×	その他専門店[食品](経営者)	販売量の動き	・外食向けの食品の卸売が中心であるが、まだまだ元の水準には戻っていない。
	×	その他専門店[ドラッグストア](店員)	お客様の様子	・ドラッグストアの商品には、新型コロナウイルスの影響でマスクや手指の消毒液など、需要の増えた物が多い。それに伴い、売上は増えているが、化粧品などには全く動きがない。
	×	その他専門店[スポーツ用品](経理担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響を脱し、元の生活に戻るまでには数年掛かる。それまで企業の体力が持つかが懸念される。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	その他専門店 〔宝飾品〕（販売担当）	競争相手の様子	・前月と同様に、営業の自粛による販売機会の減少が続いている。営業していても来客数は少なく、売上は激減している。同業者からも、事業や経営の縮小の話が出ている。
	×	その他専門店 〔ガソリンスタンド〕（経理担当）	販売量の動き	・緊急事態宣言による外出の自粛、テレワークの推進などで、ガソリンの販売量は前年比で20%減少している。
	×	その他小売〔インターネット通販〕（企画担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスによる自粛の要請は緩和されつつあるが、消費意欲の回復には程遠い状態である。
	×	高級レストラン （スタッフ）	お客様の様子	・今月はテイクアウトのみの営業であった。テイクアウト自体は大変好評であり、成功したといえるが、レストランの営業とは比べものにならない。
	×	一般レストラン （経営者）	来客数の動き	・飲食店は新型コロナウイルスの影響が非常に大きく、世間では感染性対策として外食を避けるようになった。テイクアウトを売出しても、収入が減ったり、時間がある人は自炊することも多いため、利益が出るほどは売れていない。政府からの時短営業の要請もあり、売上は大幅に減少している。
	×	一般レストラン （経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言は解除されたが、来客数は増えず、テイクアウトの注文が依然として多い。
	×	一般レストラン （企画）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、売上は前年比で65%減少している。特にゴールデンウィークの営業は、混乱を避けるためテイクアウトのみの営業としたため、80%減と大きく減少した。中でも関東の落ち込みが大きく、その次に関西、九州の順となっている。
	×	その他飲食〔自動販売機（飲料）〕（管理担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響が出ている。緊急事態宣言が解除されても、国内客だけでは大きな回復が見込めない。
	×	観光型ホテル （経営者）	それ以外	・4月6日から休業を続けているため、4～5月の売上、販売量はほぼゼロである。
	×	観光型旅館（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で休業中である。
	×	観光型旅館（団体役員）	それ以外	・全国的に緊急事態宣言が徐々に解除されつつあるが、先行きは依然として見通せない。国の制度を最大限に活用して、臨時休業を選択する方が、まだ赤字が少ない。
	×	都市型ホテル （スタッフ）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響をまともに受けている。前月末から食堂や宴会場は営業を休止し、宿泊の稼働率は20%ほどに低迷している。その一方で、近隣の企業からは、一部の社員による長期宿泊や、リモートワーク用の客室利用などの需要がある。
	×	都市型ホテル （フロント）	来客数の動き	・緊急事態宣言は解除されたが、客の動きは鈍い。ただし、客室を活用したリモートワークプランは好調である。
	×	都市型ホテル （管理担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響により、5月一杯は休業となる。収入はほぼゼロに近い一方、固定費は多少の増減はあっても発生するため、収支の悪化が著しい。
	×	都市型ホテル （管理担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、一旦キャンセルになった客がいつ戻ってくるのか、現状はそのタイミングが分からない。特に、宿泊や宴会などの予約が戻る時期が読めない。
	×	都市型ホテル （客室担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの感染防止のため、臨時休業となっていたが、5月28日から営業が再開している。
	×	都市型ホテル （総務担当）	来客数の動き	・3～5月は月を追うごとに宿泊客が減少し、4月の緊急事態宣言以降は、客室稼働率は10%以下で推移している。宴会もほとんどがキャンセルとなり、宴会場の利用が全くない日が多い。レストランについても、緊急事態宣言期間は営業の自粛で大半の店舗が休業となっており、売上は前年比で9割以上減少している。
	×	旅行代理店（従業員）	それ以外	・消費マインドが更に低下しており、将来への不安でお金を使わなくなる。
	×	旅行代理店（役員）	それ以外	・4～5月の売上はゼロとなっている。新型コロナウイルスの影響で、キャンセルに歯止めが掛からない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	旅行代理店（支店長）	お客様の様子	・海外旅行については、外国からの入国制限などの影響もあり、ほぼゼロの状況が続いている。国内旅行は、緊急事態宣言が解除された地域では、地域内での旅行需要が少し出始めているが、前年比の1割にも届いておらず、良くなる気配は全くない。
	×	タクシー運転手	来客数の動き	・駅などのタクシー乗り場を流していても、タクシーの稼働数が少ないにもかかわらず、客が乗車するまでの時間が今までの2～3倍に延びている。
	×	タクシー運転手	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で、言葉が出ないほど悪い。
	×	タクシー運転手	お客様の様子	・不要不急の外出に対する自粛要請により、人の動きが大幅に減少した。流し営業が成り立たず、営業収入が半減している。
	×	通信会社（社員）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響が需要の増加につながっていない。当初は、巣籠り消費によるケーブルテレビなどの需要に期待したが、それほどでもなかった。一方、インターネット関連の問合せは、かなり増えている。
	×	通信会社（社員）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響により、来客数が減少し、店舗の営業時間も短縮となっている。受付を制限し、積極的な販売は行わないため、売上も減少している。販売量は前年の2割ほどである。
	×	通信会社（企画担当）	来客数の動き	・オンラインで営業活動はしているが、来客数が大幅に少なくなっている。今後はデジタルに移行していくため、受注は増えていくものの、クライアントの景気が回復しなければ大きな受注にはつながりにくい。
	×	観光名所（企画担当）	来客数の動き	・営業を休止して約3か月が経過するが、全く収入がない。状況は厳しくなっている。
	×	遊園地（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、休業が続いている。
	×	競輪場（職員）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染防止や緊急事態宣言による営業自粛、臨時休業で、販売はゼロである。
	×	その他レジャー施設〔イベントホール〕（職員）	来客数の動き	・コンサートなどのイベント開催については、移行期間の後、全面解除になるようだが、収支が合わなければ開催できない。結果的に、制限期間中は開催が難しいかもしれないという雰囲気がある。
	×	美容室（経営者）	来客数の動き	・まだまだ新型コロナウイルスの影響が続く。
	×	美容室（店員）	来客数の動き	・当店は営業していたが、自粛要請で外出を控えた客が多かったため、来客数が確保できていない。
	×	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・飲食業や宿泊業などの賃借人から、賃料の値下げや支払猶予の依頼が増えている。
	×	住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・不動産業者、一般客共に購買意欲はあるが、一時的な動きのように感じる。全体的には、不安感の中で買い控えていると感じる。
	×	住宅販売会社（総務担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響による、展示場の休業やイベントの自粛で、新規客が見込めない。
	×	その他住宅投資の動向を把握できる者〔不動産仲介〕（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響が出ている。
	×	その他住宅〔展示場〕（従業員）	販売量の動き	・政府の緊急事態宣言を受けて、住宅展示場のセンターハウスは閉鎖し、アンケートも取得できていない。出展企業も既存客の予約対応のみで、新規の来場者はゼロという最悪の状況である。
	×	その他住宅〔住宅設備〕（営業担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響が続き、点検訪問を拒否する客が月に100件以上となっている。出勤を控えて、自宅待機となる社員も出ている状況で、大幅な売上減である。
企業動向関連	-	-	-	-
(近畿)		金属製品製造業（開発担当）	受注量や販売量の動き	・繁忙期はきていない。
		電気機械器具製造業（宣伝担当）	受注量や販売量の動き	・実売の荷動きは、全体的に前年と比べてもそこまで悪くはない。テレビや空気清浄機は好調な推移が続いているほか、気温の上昇に伴い、エアコンも前年並みの荷動きとなっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・大きな案件が終了したものの、引き続き問合せや引き合いはきているため、悪くなったという感覚はない。
		建設業（経営者）	取引先の様子	・年度末の工事も終わり、人手不足は解消傾向にある。中国での生産部品の納入遅れによる、完成品の納期の遅延についても、落ち着いてきている。
		食料品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの発生当初は、家庭用商品の受注が多かったが、それも一段落している。今は業務用製品が激減してきた影響もあり、良くない。
		出版・印刷・同関連産業（企画営業担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で事業がほぼ停滞していたため、必然的に受注量は減少している。
		プラスチック製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、受注量が前年比で2～3割減り始めている。当社は工業部品を作っているが、減少の要因はサプライチェーンをみれば明らかである。大元のメーカーが製品を出荷できていないなか、感染の第2波に備えて、生産量を増やすか減らすかが問題である。特に、適正在庫をどのように読むかが難しい。
		一般機械器具製造業（設計担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で、個人消費が落ち込んでいる。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・当社は製造業者であるが、幸い新型コロナウイルスの感染者が1人も出ていないため、世間でいわれるほどダメージを受けていない。ただし、市場は停滞しているため、その影響は大きい。また、1人でも社員が感染した場合、どのような悪影響を受けるかわからず、恐ろしさを感じている。
		電気機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・受注、売上共に減少している。
		建設業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・海外からの建築資材の仕入れが一部で滞ったり、新型コロナウイルスの感染防止のための対策費用が発生している。ただし、今のところは業況自体に大きな影響は出ていない。
		輸送業（営業担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響が大きく、家具の売行きが悪い。
		金融業（副支店長）	取引先の様子	・緊急事態宣言が解除になっても、個人の消費については様子見の状況が続くそうである。
		その他非製造業 [機械器具卸]（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で受注が減っている。特に、今後の設備投資の案件がほとんどなくなっている。
	×	食料品製造業（営業担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響で、飲食店やホテルを中心とした取引先には休業が多く、売上が激減している。
	×	繊維工業（総務担当）	取引先の様子	・緊急事態宣言後は全国各地での催事が中止となり、取引先にも動きがなく、売上がゼロとなっている。解除後の動きの回復に期待している。
	×	繊維工業（団体職員）	受注量や販売量の動き	・5月の生産量は前年比で20～30%の減少となり、前月と比べても大幅に悪化している。
	×	木材木製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・緊急事態宣言後は、売上がゼロとなっている。以前と比べるまでもなく、今が最低である。
	×	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・連休明けから、一段と受注量が減っている。同業他社も同様の動きとなっている。
	×	化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・4月中旬から、日々の受注額が前年比で半減となり、ゴールデンウィーク頃からは販売額が4割程度落ち込んでいる。
	×	化学工業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・4月の出荷量はほぼ例年並みであったが、5月は自動車関連を中心に、急激に落ち込んでいる。
	×	金属製品製造業（経営者）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響で、世界の自動車メーカーが大幅な減産を行っている。4～6月は最悪の状態となり、売上は前年比で約35%減少する。
	×	金属製品製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・自動車関連では前年比で25～50%、その他の分野で10～20%、受注や売上が減少している。
	×	一般機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・当社の取引先には大手の製造業が多いが、設備の保全のための修理費すら大幅に減っている。製造ラインが停止しているか、予算不足で不要不急の費用が削られているものと考えられる。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	輸送用機械器具製造業（役員）	受注量や販売量の動き	・発注の内示案件の延期や保留が増えており、総額では前年の売上の30%にあたる約10億円に達する。見積り中案件の延期や保留も増え、こちらは前年の売上の24%にあたる約8億円となっている。
	×	建設業（経営者）	それ以外	・緊急事態宣言に伴う自粛の動きにより、地域経済は大きく打撃を受けている。
	×	金融業（営業担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で、どの企業も売上が大幅な減少となっている。
	×	金融業〔投資運用業〕（代表）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響に尽きる。緊急事態宣言が解除されても、すぐに消費は戻らない。真面目で従順な日本人は感染の第2波の懸念を深刻に考えるため、他国よりも経済の回復は遅いと予想される。
	×	新聞販売店〔広告〕（店主）	受注量や販売量の動き	・スーパーやパチンコなどが、密集を防ぐために広告を自粛しており、週に1～2回は定番で入っていた折込広告がなくなったため、収入が前年比で3割ほど落ちている。
	×	広告代理店（管理担当）	受注量や販売量の動き	・例年であれば、この時期にセールを行っているが、今年はセール自体を行わない店が多くなっている。また、新型コロナウイルスの影響で倒産する企業が増えている。
	×	広告代理店（営業担当）	それ以外	・広告業は新型コロナウイルスによる打撃が大きく、受注は前年の半分にも届いていない。
	×	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、売上は前年比で3割程度となっている。
	×	経営コンサルタント	受注量や販売量の動き	・経営コンサルタントとして主に人材育成や販売促進をアドバイスしているが、現状をみる限り、新型コロナウイルスの影響で先行きはとて悪く、価格以前に注文そのものがない。
	×	その他サービス業〔店舗開発〕（従業員）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で鉄道利用客が大幅に減少し、駅ナカ店舗も休業を余儀なくされている。約8割の店舗が休業となり、特に新幹線の乗降客が多い駅では、壊滅的な打撃となっている。
	×	その他非製造業〔商社〕（営業担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響で、設備の改修を延期する客も出てきている。
	×	その他非製造業〔電気業〕（営業担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、全く先が読めないほどダメージを受けている。
雇用関連	-	-	-	-
(近畿)		アウトソーシング企業（社員）	雇用形態の様子	・世間では新型コロナウイルスの影響で、自粛の動きが続いている。ただし、保育園は子供の出席数は減っているが、基本的には預かり続けているため、特に変わらない。
		人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・3か月更新で派遣契約を結んでいる企業が多いなか、6月末までの契約のうち、約4割が終了となりそうである。今後の営業活動の動きも鈍く、前年比で4割ほど仕事が減っている。上半期はこの動きが続く。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・4月は全業種で新規求人数が減少した。特に製造業や卸売・小売業、宿泊・飲食サービス業での減少幅が大きい。一方、新規求職者数も減少したが、緊急事態宣言下での来所を控えた影響が大きいと考えられる。
		民間職業紹介機関（営業担当）	求人数の動き	・新卒採用では、採用広告のキャンセルが発生したり、説明会への出展を渋る企業が増えている。特に、説明会ではオンライン説明会の実施を提案しているが、前例が余りなく、広報効果が分からないという意見も多いため、出展を希望する企業が集まらない。
		学校〔大学〕（就職担当）	周辺企業の様子	・採用活動を途中で中止する企業が出てくるなど、周囲の景気は悪くなっている。
		学校〔大学〕（就職担当）	雇用形態の様子	・新型コロナウイルスの影響でステイホームが続き、医療機関への就職については、就職氷河期よりもひどい状態である。学生たちはアルバイトの減少などで困窮状態が続いているほか、学内への立ち入りが禁止されており、情報伝達もままならない。
	×	人材派遣会社（役員）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、経済活動全般が滞っている。求人が激減し、求職者も転職に慎重になっている。
	×	人材派遣会社（営業担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で仕事を失う人が多く、求職者が増加している。人の動きに勢いがいない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・休業補償の支払交渉や、派遣契約の打ち切りなどを含め、取引先の経営状況の悪化を感じる。また、求人数に取っては、前年の5割以下にまで落ち込んでいる。
	×	人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、求人数が極端に減っている。
	×	新聞社〔求人広告〕（管理担当）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴う、緊急事態宣言の発令により、掲載活動はほぼ休止に追い込まれている。体力のない中小零細企業は運転資金に窮し、倒産や廃業する企業も増えている。多くの企業が、求人よりも解雇や休業に踏み切らざるを得ない状況である。
	×	新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響が続いている。特に、関西の地元企業からの動きが芳しくない。
	×	職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数が激減している。
	×	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は7か月連続で減少している。百貨店に商品を販売している大手の業者は、百貨店の休業で求人を取下げたほか、学習塾は大型連休中に休業要請を受け、学校が始まるまでは営業できないため、求人が減少している。
	×	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・緊急事態宣言の発令後は、雇用調整を行う企業の情報が大幅に増えている。
	×	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数の減少傾向が続いている。
	×	民間職業紹介機関（職員）	求人数の動き	・緊急事態宣言は解除されたものの、以前のような経済状況に戻るには程遠い。
	×	民間職業紹介機関（支社長）	求人数の動き	・新型コロナウイルスによる求人減の動きは緩やかになり、求人を再開する企業も出てきたが、再開が減少を上回る状態には至っていない。
	×	民間職業紹介機関（営業担当）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの影響で求人数が激減しているが、逆に求職者は増えている。特に、飲食やホテル関係の求職者は増えている。

9. 中国（地域別調査機関：公益財団法人中国地域創造研究センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (中国)		スーパー（財務担当）	来客数の動き	・不要不急の外出自粛要請でまとめ買いによる買上点数が増加し、既存店売上が前年を上回っている。
		スーパー（販売担当）	来客数の動き	・近隣の百貨店や大型ショッピングセンターが閉店となるなかで、ゴールデンウィーク期間中も休むことなく営業できたため、売上は前年比150%、来客数は前年比138%となっている。また、県下にある当店と同じブランドの他店舗が全て閉店していたため、遠隔地から来店する客も多く、予想だにしない好結果となっている。
		一般小売店〔食品〕（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で前年を上回る状況にあるが、4月の状況からすると落ち着いてきており、これ以上の伸びはない。
		スーパー（総務担当）	単価の動き	・来客数は増えていないが、買上単価や買上数量は増加している。
		スーパー（販売担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスによる特需で1人当たりの販売量や客単価が上昇している。
		スーパー（管理担当）	販売量の動き	・買上点数の増加により売上が上昇している。新型コロナウイルス需要と通常売上の線引きは難しいが、新型コロナウイルスによる部分は大きい。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・ゴールデンウィーク明けに比べて1割は増加している。
		家電量販店（販売担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスによる自粛のなか、来客数は増加している。
		乗用車販売店（店長）	お客様の様子	・来客数が徐々に戻りつつあるが、状況は良くない。
		通信会社（総務担当）	販売量の動き	・固定通信サービスへの新規加入件数が増加している。施工業者数が確保できており工事件数も高水準で推移している。
		テーマパーク（営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で臨時休園していたが、緊急事態宣言の解除に伴い、県内限定ではあるが再開した。新型コロナウイルス対策を万全にしていること、屋外施設であることから前年よりは減少しているが、想定より多くの客が訪問している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		競艇場（企画営業担当）	販売量の動き	・2月の下旬から新型コロナウイルスの影響で無観客となり、ネット投票のみの販売となっているが、ネット会員が増加したことにより、1日の平均売上が増加している。
		住宅販売会社（営業担当）	販売量の動き	・建て売り物件の申込みが増加傾向にある。
		一般小売店〔茶〕（経営者）	販売量の動き	・3～5月にかけて売上がどんどん減少しており、緊急事態宣言が解除されても、回復のスピードは遅い。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・学校の休校や外食産業の休業など新型コロナウイルスによる影響で売上は前年を上回っているが、来客数は前年割れが続いている。
		コンビニ（副地域ブロック長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスが客に大きな影響を及ぼしている。自粛が明けてからも、イベントや観光などの中止が相次ぎ、想定以下の売上が続いている。
		衣料品専門店（代表）	来客数の動き	・2月頃から徐々に来客数が減少し始め、4月に緊急事態宣言が出されてからが底となり、ゴールデンウィーク明けからは客足が戻り始めている。
		家電量販店（企画担当）	来客数の動き	・3か月前と同様、来客数は少なく、売上にも変化がない。
		乗用車販売店（店長）	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除されてから状況はやや改善しているが、新型コロナウイルスの影響で来客数は前年の30%まで落ち込んでいる。
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・車の販売台数は、4月が悪すぎたので比較できないが、5月も大幅に前年を割り込んでいる。
		その他専門店〔和菓子〕（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で厳しい状況が続く。
		都市型ホテル（企画担当）	それ以外	・緊急事態宣言により限定的な営業活動でしのいでいるなかで、一部エリアでの宣言解除による緩和の影響で、宿泊の稼働はやっと10%に届いている状況である。宴会は先の予約のキャンセルが鈍化しているが、新規案件は全く入ってこない。
		都市型ホテル（企画担当）	来客数の動き	・緊急事態宣言は解除されたものの、回復の動きは鈍い。
		通信会社（経理担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で景気は悪くなると考えていたが、家で過ごす人が多く、テレビやインターネットを必要とする客がいるため、特に変化はない。
		通信会社（企画担当）	お客様の様子	・緊急事態宣言が解除され、先が見えてきたことで、将来的な不安感は軽減されているが、小規模の事業者では当面の不安感は大きい。消費者の視点では実際の購買に向かうのはまだこれからである。提供側は対面営業は別としても販促手段は間断なく実施してきたが、客側の実際の動きにつながるのはいま少し先になる。
		通信会社（販売企画担当）	来客数の動き	・外出自粛で販売は大幅に減少している。
		設計事務所（経営者）	お客様の様子	・例年春になるとリフォームを考える客が増加していたが、現状では2～3か月前からの動きが鈍ったままで、すぐには好転しそうにない。
		一般小売店〔洋裁附属品〕（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響がやや弱まり、少しずつではあるが、来客数が回復しつつあるものの、3か月前と比べるとやや悪くなっている。
		百貨店（売場担当）	来客数の動き	・最悪の時期は乗り越えたものの、以前の状況まで回復するには程遠い。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で近隣の観光施設が休館しているため、観光客の来店がなく、ゴールデンウィークや週末の来客数が大幅に減少し、来客数は前年比74.2%となっている。客単価は前年比115%と上昇しているが、来客数の減少をカバーしきれず、売上は前年比86%となっている。
		スーパー（店長）	単価の動き	・以前と比べ、客が必要な物しか購入しないようになっている。例えば野菜などもカット野菜など日々必要な物だけを購入している状況で、客単価も2か月前と比べ、100～200円低下している。
		スーパー（業務開発担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスによる外出自粛で来客数が減少している。ただ、大量のストック食材を購入する客が多いことや商品単価が高止まっていることから売上は増加している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		家電量販店（店長）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で、売上は前年比90%台で推移しているものの、本来ゴールデンウィークでレジャーに使う予定だった支出が、家電等の生活必需品に回っているのか予想よりも落ち込みは小さい。特にホットプレートやオープンレンジ等の調理家電が大きく伸長している。
		家電量販店（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で景気はやや悪くなっている。
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で販促活動ができておらず、来客数や成約台数が落ち込んでいる。
		その他小売【ショッピングセンター】（支配人）	来客数の動き	・3か月前と比較すると、まだ景気は回復していないが、緊急事態宣言発令前の売上と比較すると改善傾向がみられる。ただ、飲食店舗は相変わらず厳しい状況である。
		その他飲食【サービスエリア内レストラン】（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で景気はやや悪くなっている。
		通信会社（工事担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で景気はやや悪くなっている。
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・先行きに不安を感じている客が多く、大きな消費に対して慎重になっている。
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・道を歩く人や車が通る台数などが減少し、近隣の駅前通りも寂しい感じで人の行き来がない。
	×	商店街（理事）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響による外出自粛で客の様子が観察できないほど人通りがない。
	×	商店街（代表者）	単価の動き	・新型コロナウイルスの影響で非常に厳しい状況である。
	×	商店街（代表者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響をすごく受けている。
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響は甚大で、客は飲食店はもとより物販店へ出向くのも控えており、地元の駐車場利用も以前に比べ圧倒的に少なくなっている。
	×	商店街（代表者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で、来客数が減少し、また、3つの密にならないように営業しているので、効率が悪く、売上も良くない。
	×	一般小売店【印章】（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で来客数が減少している。
	×	一般小売店【眼鏡】（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で来客数が激減しており、県外客は皆無である。
	×	一般小売店【靴】（経営者）	来客数の動き	・全国的に靴製造メーカーの受注が落ち込んでおり、製造メーカー倒産の可能性が高まっている。
	×	百貨店（経理担当）	販売量の動き	・ゴールデンウィークにイベントが中止となり、多くの部門が休業したことから、売上が前年の半分以上となっている。
	×	百貨店（営業担当）	それ以外	・ゴールデンウィーク期間も館は営業を継続していたが、婦人服の取引先ショップは8割以上が休業していた。営業しているショップに入っても目的買いのみでふだんより接客時間も短くなっている。
	×	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で4月の後半から5月の中旬まで閉店していた。開店後も来客数は全く回復せず、閉店前よりも厳しい状況である。
	×	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響による長期休業のため売上は激減しており、営業再開後も日々の来客数は6～7割程度で売上、来客数共に劇的な改善は見込めない。
	×	百貨店（売場担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、催事が中止となり、営業活動も自粛しているため、非常に厳しい。
	×	百貨店（外商担当）	お客様の様子	・5月11日から営業を再開したが、まだまだ来客数は少なく厳しい状況が続いている。外販活動においても客の購買意欲は低く、特に宝飾や美術品などの高額商品については案内できる状況ではない。
	×	百貨店（営業企画担当）	単価の動き	・新型コロナウイルスの影響により高額商品やファッション部門の売上の減少が大きい。来客数は回復傾向にあるが、買上単価の低下による売上の減少は収まらない。
	×	スーパー（店長）	販売量の動き	・食品の売上は横ばいであるが、衣料品の売上の落ち込みが激しい。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	スーパー(店長)	販売量の動き	・来客数だけでなく、まとめ買いも減少している。
	×	コンビニ(エリア担当)	来客数の動き	・3～5月は新型コロナウイルスの影響で非常に厳しい状況である。過去15年間の中でも来客数は最も少なくなっている。
	×	コンビニ(支店長)	来客数の動き	・緊急事態宣言は解除されたが、客の行動シーンが大きく変わっており、通常には戻っていない。また、来客数も減少が続いている。
	×	衣料品専門店(経営者)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で4～5月は展示会の開催や訪問営業ができず、厳しい状況である。
	×	家電量販店(店長)	来客数の動き	・緊急事態宣言や不要不急の外出自粛により来客数が減少している。
	×	乗用車販売店(営業担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で来客数が激減し、新規の客も全くいない状況である。
	×	乗用車販売店(統括)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で訪問活動が制限され、5月の販売台数は前年比56%と大変厳しい状況である。
	×	自動車備品販売店(経営者)	販売量の動き	・販売量が大幅に落ち込んでおり、前月が33%減、今月は50%にも届かない。
	×	自動車備品販売店(経営者)	販売量の動き	・緊急事態宣言が解除されたが、個人の収入減少で消費は落ち込んだままである。国民1人当たり10万円が給付されるが、収入減少のため生活費で消えてしまい、消費の拡大にはつながらない。
	×	住関連専門店(営業担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で客が自粛している。
	×	その他専門店[布地](経営者)	来客数の動き	・前月同様、街を歩く人が非常に少なく、店を開けていても客が入店しない状況である。
	×	その他専門店[時計](経営者)	来客数の動き	・来客数が少なく、当地の基幹産業である観光業も窮地に陥っている。
	×	その他専門店[土産物](経営者)	来客数の動き	・観光客が非常に少なく、観光バスなども皆無のため土産物が全然売れていない。店は県境に位置しているが、県をまたぐ移動が制限されて来客数が激減している。
	×	その他小売[ショッピングセンター](管理担当)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で実質休業状態であったため、来客数や売上が伸びていない。自粛解除後の動きを期待したいが、第2波、第3波の危惧もあり、どこまで回復してくるか不透明な部分が多い。
	×	一般レストラン(経営者)	それ以外	・緊急事態宣言の発令に伴い、時短営業を続けていたが、4月27日～5月17日は店を休業したため、売上は前年の80%まで落ち込んでいる。
	×	一般レストラン(経営者)	お客様の様子	・新しい生活様式が示され、客の意識が過剰気味になっている。飲食店としても、集客策が取り難く苦戦している。
	×	一般レストラン(経営者)	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で人が全く外出していない。客が来ないので商売にならない。
	×	一般レストラン(店長)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響により6日までは営業自粛、7日から時間を短縮し営業再開している。再開しても近隣の客の流れは非常に少なく、来客数は前年に比べて約8割減少している。客層も以前は多かった観光客がほぼ0人の状態、社員の利用も当月はなく、客からは新型コロナウイルスが収まってから来店するとの電話もちらほらかかっている。
	×	スナック(経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で4月初旬から休業しているクラブやスナックが多い。当店は5月中旬から営業を再開したが、客足が伸びず、売上は通常の1割程度まで落ち込んでいる。
	×	観光型ホテル(副支配人)	それ以外	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、人の動きが止まっている。
	×	観光型ホテル(営業担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で景気が下向きになっており、来客数の増加が見られない。
	×	都市型ホテル(総支配人)	来客数の動き	・5月末まで休館で、緊急事態宣言が解除されたものの県境を越える往来は引き続き不要不急の外出を除き自粛要請されており、6月の予約状況も大幅な減少となっている。
	×	旅行代理店(経営者)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で4～5月一杯会社は休業している。
	×	旅行代理店(支店長)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で現時点で個人、団体共に取扱はなく、非常に厳しい状況が続いている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	タクシー運転手	お客様の様子	・緊急事態宣言が解除され、営業を再開する店が出てきて、徐々にではあるが、客も戻り始めている。ただ、利用客は少なく、依然として厳しい状況である。
	×	タクシー運転手	お客様の様子	・夜の街に人が全くいない状況で、タクシーの稼働台数を半分に減らしているが、売上は以前の半分以上まで減少している。
	×	タクシー運転手	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で乗車率は低下している。
	×	放送通信サービス（総務経理担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響を受ける業種が顕著に出てきていると感じる。当社はBtoCサービスなので、今後、家計からの料金支払に反映してくると予想している。時節柄のものもあるかもしれないが、若干延滞料金の回収率が下がっているため今後注視する必要がある。
	×	通信会社（広報担当）	来客数の動き	・来客自体がない。
	×	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・月額利用料の支払が困難になり、解約、一部サービスの解約、低廉なプランへの見直しを行う客が増加している。
	×	テーマパーク（業務担当）	来客数の動き	・4月18日～5月13日の間、感染防止のため閉園しており、5月14日から開園はしたものの、飲食施設、建物施設、キャンプ場等の利用ができない状態が続いており、来園者数が大幅に減少している。
	×	テーマパーク（管理担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で景気は悪くなっている。
	×	観光名所（館長）	来客数の動き	・緊急事態宣言に伴い、臨時休館したが、当分の間は来館も少ない。
	×	ゴルフ場（営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で予約が大幅に減少、特に、土日の予約が悪く、コンペの減少が影響している。
	×	その他レジャー施設 [温泉センター]（担当者）	それ以外	・4月の中旬から5月22日まで休業しており、営業を再開したが、来客数はかなり激減している。
	×	美容室（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で外出自粛が要請されたことにより、予約のキャンセルが相次いでいる。
	×	美容室（経営者）	来客数の動き	・客が来ず、売上が上がらないため、厳しい経営状況である。
	×	設計事務所（経営者）	来客数の動き	・客の確保が困難で、リモート対応も進めていかないといけませんが、対応に時間が掛かっている。
	×	設計事務所（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で引き合いがあった物件が軒並み中断している。
企業 動向 関連 (中国)		輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で状況は良くないが、以前よりは良くなっている。
		輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・宅配便は外出自粛の広がりやネット通販の集積り需要が増加している。法人は、休業やテレワークで企業間の流動が減少しているが、個人に販路を求めた企業の発送は増加している。また、外出自粛による在宅率の上昇で生産性も向上している。母の日はこれまでにないほどの需要となっている。
		建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注のタイミングで技術職員の一時的な待機状態が発生しているものの、予定される物件で手一杯の状況は継続している。
		食料品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・前月に続き、製造数量が減少している。
		木材木製品製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で景気が悪くなってきている。影響を受けるのが遅れ気味な業種であったが、これからは確実に受注や販売量に影響が出てきそうである。
		化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・緊急事態宣言の影響により工場の稼働率を落として操業している。引き続き景気の不透明感は続く。
		化学工業（総務担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で景気はやや悪くなっている。
		非鉄金属製造業（業務担当）	受注量や販売量の動き	・自動車向け製品受注が5月に入り極端に減少している。
		建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で景気はやや悪くなっている。
		不動産業（総務担当）	それ以外	・前年同月に比べ、来客数が92%、成約件数が80%と落ち込んでいる。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で受注が減少傾向になっている。
	×	農林水産業（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・緊急事態宣言が解除されたといっても、まだまだ末端の動きは回復しておらず、自粛モードが続いているため、買手が少ない。
	×	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・スーパーや小売店からの受注量に変化はないが、土産品は70%減少、業務用は80%減少と大変厳しい状況である。
	×	繊維工業（監査担当）	受注量や販売量の動き	・4月までの累計売上実績が全事業所で前年を下回った。小売店が全て休業しているため、季節商材が全く売れていない。
	×	窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・客の生産調整があり、注文量が大幅に減少している。このため、操業日数を維持したまま生産すると余剰人員が発生することから臨時休業を実施している。
	×	鉄鋼業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で景気は悪くなっている。
	×	鉄鋼業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で注文が急減している。
	×	金属製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で雇用調整助成金を活用し、帰休を実施している。
	×	一般機械器具製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で販売量が減少している。
	×	電気機械器具製造業（総務担当）	それ以外	・緊急事態宣言が解除されても国内外共に移動が制限されていることから下向きの状況が続いている。
	×	輸送用機械器具製造業（財務担当）	取引先の様子	・一部、Webによる商談締結があるようだが極めて限定的で、特にクロスボーダーの本格的な商談再開にはもうしばらく時間が掛かる。
	×	輸送用機械器具製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・受注量は通常の1割程度となっている。
	×	輸送業（総務・人事担当）	受注量や販売量の動き	・国際的な荷動きの悪化だけでなく、国内の荷動きも悪化してきており、景気は過去に経験したことがないほど厳しい状況になっている。
	×	輸送業（総務担当）	取引先の様子	・客の受注量が大幅に減少している。
	×	通信業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響でほぼ全ての業種の業務が滞り、設備投資の抑制や更改の延期が進んでいるため、通信機器販売が伸び悩んでいる。また、自社においてもリモートワークを取り入れたりと、出社しても積極的な営業活動を自粛していることから売上も伸びていない。
	×	通信業（営業企画担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルス感染拡大防止の動きとして、PCやWeb会議などICT関連の商材への引き合いは増加したが、データセンターの利用や問合せは極端に減少している。外出が極端に制限されたことで、遠隔で確認ができない商材の問合せが激減している。
	×	金融業（貸付担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響が長引き、経済や消費は停滞しており、取引先の資金繰りはますます悪化している。
	×	金融業（融資企画担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響で地元完成車メーカーの世界販売が大幅に減少し、在庫が積み上がっており、前年比で7割減程度の生産調整が続いている。このため、系列の地元部品メーカーの受注も前年比で7割減程度の大幅減少となっている。
	×	会計事務所（経営者）	受注量や販売量の動き	・販売分析や集合型研修業務などコンサル系業務が減少している。必須でない業務ほどしわ寄せを受けている。
雇用関連		-	-	-
(中国)		その他雇用の動向を把握できる者	求人数の動き	・宿泊業や飲食業を中心に有効求人数が前月を大幅に下回っている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		求人情報誌製作会社（広告担当）	採用者数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、地元完成車メーカーを筆頭に工場がフル稼働していない。一部のみ稼働又は縮小して稼働している状況が多く見受けられる。当然売上も減少傾向である。今年度の新卒採用については、数は前年並みと答える企業が多いが、欲しい人材がいなければ、無理に採用しないため、結果的に全体的な採用人数は減少する見込みである。
		職業安定所（雇用関連担当）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの影響で求人取消しや解雇が発生している。
		学校〔大学〕（就職支援担当）	周辺企業の様子	・企業の倒産や採用削減などの情報を耳にしており、景気はやや悪くなっている。
		学校〔短期大学〕（進路指導担当）	求人数の動き	・求人数が例年よりも少ない。
	×	人材派遣会社（支社長）	周辺企業の様子	・地元完成車メーカー関連の企業では5月より6月の方が業績が悪化する企業も多く、派遣社員の雇用の終了も増加している。製造、小売、物流は大変厳しく、持ちこたえているのは医療、介護、食品関係くらいである。
	×	人材派遣会社（支店長）	採用者数の動き	・全国的な緊急事態宣言が発令された4～5月に当初予定していた採用スケジュールが延期となったが、5月末からやっと動き出している。延期でなく、中止になった案件もあり、求職者におわびする事例も出ている。
	×	求人情報誌製作会社（営業担当）	採用者数の動き	・一部、接客対応を伴うサービス業では来春の新卒採用を当初計画から大幅に削減したり、採用停止を実施したりする企業が散見されている。
	×	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・当県の3月の有効求人倍率は記録が残る1962年以降で2番目に高く、全国1位となったものの、これは新型コロナウイルスの影響で全国の雇用情勢が悪化するなかで、当県の減少幅が比較的小さかったことによる結果にすぎない。現在は悪化の一途である。
	×	職業安定所（所長）	求人数の動き	・新規求人数は、派遣会社からの求人がなくなったサービス業が前年同月比で8割減となったのが目立っている。これは新型コロナウイルスの影響で製造業を始め多くの業種で雇用環境が悪化し、特に派遣業が大きな影響を受けたことが原因とみられる。
	×	職業安定所（事業所担当）	求人数の動き	・新規求人数は前年同期と比較すると26.1%減、有効求人数は18.3%減と大幅な減少となっており、新型コロナウイルスが大きく影響している。新規求人数の直近3か月を同様に比較しても14.3%の減少であった。産業別も同様で、一部の業種を除いて軒並み減少している。
	×	民間職業紹介機関（職員）	それ以外	・外出機会が激減しており、多くの人が不必要な出費を避けている。消費の落ち込みは歴然としており、一時期のマスクや消毒液などのように必要とされるものは需要に供給が追いつかず、GDPを下げる要因にもなっている。
	×	民間職業紹介機関（求人・人材採用担当）	周辺企業の様子	・5月中旬まで休業する飲食店やサービス業の企業が多く、求人はほぼなく求職者があふれている状況だった。また、一般企業においても、今後の見通しが立たないことから、採用活動を一旦ストップするところが多い。

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連		スーパー（財務担当）	販売量の動き	・学校の休校や外食の自粛等の影響で来客数は減少しているが、買上点数及び客単価は大幅に増加し、前年比プラスの状態が続いている。
(四国)		スーパー（店長）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染拡大防止のための外出自粛による巣籠り需要が依然として続いている。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・緊急事態宣言及び外出自粛の効果で家庭内食材料の販売が好調に推移している。
		家電量販店（店員）	来客数の動き	・他業種が臨時休業していた影響で来客数が増え、それに伴い売上も増加している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		スーパー（企画担当）	来客数の動き	・臨時休校やテレワークで家族の在宅時間が増加したことや、休日の外出自粛の影響で大型店舗が休業したことが、当店の来客数の増加につながり、売上が増加している。
		通信会社（営業部長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスによる緊急事態宣言解除後、少ないながらも来客数が増加しているが、以前に比べて大幅に減少していることに変わりはない。
		家電量販店（副店長）	来客数の動き	・年明けから来客数は減少していたが、緊急事態宣言発令後、より一層来客数が減少している。現在は目的がある方のみ来店している状況である。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・5月の受注状況は前年近くまで持ち直しているが、生産が遅れていることもあり、5月の販売台数は前年比で大幅な減少となった。
		乗用車販売店（役員）	販売量の動き	・街の雰囲気は少し明るくなってきたものの、来客数は依然として少ない。
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染拡大防止のための外出自粛等により来客数が激減している。緊急事態宣言が解除されたものの、まだまだ客動向には反映されていない。
	×	商店街（事務局長）	販売量の動き	・緊急事態宣言は解除されたものの、有効なワクチンが集団免疫が確保できない限り、全国民、企業は行動やビジネスに慎重にならざるを得ず、すぐに消費回復や業績回復にはつながらない。
	×	商店街（代表者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響は峠を越えたかもしれないが、当面、完全に元に戻ることはない。さらに、これを境に人々の社会生活様式が大きく変化し、巣籠りが習性化しネットショッピングの利用者の増加が加速化する。
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・5月のゴールデンウィークは、緊急事態宣言が発令されていたせいかもしれないが、人通りが全くない状態が続いた。3密状態になる商店街は、やむを得ないことだとは思いますが、厳しい状態が続いている。
	×	一般小売店〔生花〕（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響は3～4月よりも大きく、業績は悪化している。特に夜の繁華街では、開店している店も人通りも車の通りもない。5月後半から営業自粛が解除されたが、入出は戻らず、開店している店は閑散としている。
	×	一般小売店〔書籍〕（営業担当）	販売量の動き	・出版社の編集部員が新型コロナウイルスに感染したり、テレワークなどで出社人数が減少するなどして、週刊誌や月刊誌の刊行数が減少している。月刊誌の場合、5～6月合併号にして5月刊行を休むと、1回分の売上がなくなる。
	×	百貨店（企画担当）	お客様の様子	・営業は再開したが、来客数、売上共に、前年比40%程度で推移しており、回復の見込みがない。
	×	百貨店（営業管理担当）	それ以外	・緊急事態宣言の発令を受けて、ゴールデンウィーク前から約1か月間、全館臨時休業を実施した。その後、部分的に営業を再開させ、現在は全館営業再開しているが、続く外出自粛ムードや各催事の中止なども影響し、厳しい商況が続いている。
	×	コンビニ（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、ゴールデンウィークの来客数は前年比60%台まで下落した。緊急事態宣言解除後、何とか70%台まで回復したものの、依然としてかなり悪い状況が続いており、特に夜間から早朝は壊滅的な状況である。
	×	コンビニ（店長）	来客数の動き	・来客数が前年比20～30%減少しており、時間帯によっては前年比50%減少している。
	×	コンビニ（営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響によるテレワークの増加や学校の臨時休校等により来客数が激減している。
	×	コンビニ（総務）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、ここ数年で最低の来客数及び売上となっている。
	×	衣料品専門店（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で、小売や飲食関係は全般的に壊滅的な状況である。全国的に緊急事態宣言が解除されたが、年内一杯は元の状態に戻る可能性は低い。
	×	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・例年5月はゴールデンウィークで売上増加が期待できる月であるが、今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のための外出自粛要請の影響で、非常に深刻な状況である。
	×	乗用車販売業（営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスが落ち着いてから新車購入や点検を検討する考えの方が多い。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・フェアを開催しても来客数は少なく、用事で来店しても店内には入りたくないという人もいる。
	×	その他小売 [ショッピングセンター]（副支配人）	お客様の様子	・新型コロナウイルスによる緊急事態宣言は解除されたが、依然として自粛ムードは続いており、回復する気配は感じられない。
	×	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・業績悪化は続いているが、自粛要請に従っている日本人の行動は、素晴らしいと感じている。
	×	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・5月は店の休業や時短営業の影響で過去最低の売上となっている。この状況が続けば会社の継続が非常に厳しくなる。
	×	観光型旅館（経営者）	それ以外	・ワクチンや特效薬の開発による新型コロナウイルスの本質的な終息がみえない限り観光業の回復は難しい。
	×	旅行代理店（営業担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの感染拡大により、一般団体の予約取消しや修学旅行の延期、全てのイベント中止等、甚大な影響を受けている。また、個人においても越県自粛により、ビジネス出張や個人旅行等の受注が全くない状態である。
	×	タクシー運転手	お客様の様子	・2～3か月前と5月を比較すると、来客数は非常に少ない。売上も前年に比べ3分の1となっている。
	×	タクシー運転手	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で来客数が激減している。緊急事態宣言が解除され、店も多少開いているようだが、食事や飲みに出る客は依然として少なく、現在、タクシー業界は最悪な状況である。今年の春のお遍路の予約も全てなくなり、以前に比べ売上は10分の1くらいに減少している。
	×	通信会社社員	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染拡大防止のために訪問販売を中止している。
	×	通信会社（営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた営業自粛により来客数が減少している。
	×	競輪競馬（マネージャー）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響により外出自粛ムードが浸透してきており、景気の回復には時間を要する。
	×	美容室（経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除されて以降、学生の来客数が増加する等、少しずつ回復してきている状態である。
	×	美容室（経営者）	それ以外	・連休明けから少しずつ回復してきているが、依然として来客数は激減している。
	×	設計事務所（所長）	来客数の動き	・付き合いのある客から、特に日銭商売をされている人の景気が非常に悪く、苦しんでいるという声を聞いている。
企業 動向 関連 (四国)		-	-	-
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・再生可能エネルギーに関しては、販売量に変化はない状態である。また、県外への出張準備も始まるため、いろいろな形で景気が良くなっていくことを期待する。
		税理士	取引先の様子	・緊急事態宣言が解除されたことにより、営業自粛していた顧問先が営業再開してきている。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注が思うようには伸びず、苦しい状態が続いている。
		鉄鋼業（総務部長）	受注量や販売量の動き	・米中貿易摩擦による設備投資の低迷と新型コロナウイルスの影響により、受注、販売共に減少傾向である。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・主たる事業である公共事業は予定どおり発注されているが、テレワークによる効率性の低下や現地立入りの延期などが要因で、手持ち業務の履行遅延も発生している。発注者からは、業務の工期延伸や中止命令等の措置が講じられることになっているが、このまま生産性が低下した状態が続けば売上増加は厳しい。
		建設業（総務）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響が今後どのように出てくるのか分からない。
		農林水産業（職員）	受注価格や販売価格の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大により家庭消費が増え、外食・飲食関係が落ち込んだ影響で、野菜の卸売市場価格は品目間で価格差が大きく生じている。花きについては、イベントや稽古事の中止、外出自粛等により花を買う機会が減少した影響で、品目格差はあるものの前年比50～80%の厳しい販売単価が続いている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・5月は、地方の小売店の休業や大型イベントの中止により、売上が前年比50%減少している。取引先の中では廃業するところも出てきており、緊急事態宣言の解除後もまだまだ厳しい状況は続いている。
	×	木材木製品製造業（営業部長）	受注量や販売量の動き	・今月になって受注が一段と悪化しており、この先どこまで悪くなるか不透明な状態である。
	×	化学工業（所長）	受注量や販売量の動き	・前月までは中食需要が好調で市販用食品や衛生用品の受注が増加していたが、5月以降は各家庭のストック需要が一巡したことにより受注は減少している。業務食品、観光業、住宅、自動車関連向けの受注は低調が続いているが、飛まつ感染防止フィルムや医療用ガウンの引き合いは増加している。
	×	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、海外工場の一時閉鎖や受注・売上の一部に延期等の動きがある。
	×	電気機械器具製造業（経理）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響により、全世界で人々の行動が制約され、個人消費が大幅に冷え込んでいることや、企業収益の回復が見通せないことにより、投資を控える動きが起こっている。
	×	輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・先が見通せず厳しい状態である。
	×	輸送業（営業）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルス感染拡大に伴う不要不急の外出抑制が消費の低迷に直結し、取扱物量の著しい減少となって波及している。当社でもリーマンショックを大きく上回る売上減少となっている。周囲では取引先が経営破綻する事例を聞くため、与信管理を強化しつつ、物量確保に向けた渉外活動にも慎重にならざるを得ない状態である。
	×	輸送業（経理）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響による需要の激減と市場の供給縮小により、3か月前から物量が激減しており、客の動向も鈍い。
	×	通信業（企画・売上管理）	取引先の様子	・新型コロナウイルス感染拡大に伴う自粛の動きで、テレビ広告市場は縮小傾向にある。
	×	通信業（総務担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響が大きい。
	×	金融業（副支店長）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響で飲食、宿泊業は閉店している店も多く、売上は激減している。当初は新型コロナウイルスの影響が少なかった業種にも様々な影響が表れてきている。
	×	広告代理店（経営者）	受注量や販売量の動き	・3月頃から急激に新型コロナウイルスの影響が出ており、5月は取引先の販売促進広告、イベント等の中止が続いており、売上は前年比50%以下の見込みである。
雇用関連		-	-	-
(四国)		-	-	-
	×	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの影響で求人数が減少している。工場の生産数も落ち込んでおり求人が減少傾向にある。
	×	人材派遣会社（営業）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、緊急事態宣言が発令された後、接客等を伴う事業は休業状態にあり、閉店していく企業や店舗も増加した。特に自営の飲食業、小売業は厳しい状況である。中小企業等は雇用調整助成金を活用して経営を維持しようと努力しているが、先行きはまだ不透明であり、景気の回復には時間を要する。
	×	求人情報誌（営業）	周辺企業の様子	・引き続き、飲食、サービス、観光業とその関連業種の落ち込みは激しく、事業を存続できるかどうかの瀬戸際の事業者が多くなっている。また、融資が受けられない事業者や、助成金と補助金等ではやり繰りできない事業者もあるため、景気はかなり悪くなっている。
	×	新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・観光業や飲食業などは全国と同様に厳しい傾向にある。それ以外の現時点では直接被害のない業種でも今後には備えて支出を控える傾向にある。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	職業安定所（求人開発）	周辺企業の様子	・4月の有効求人倍率は1.23倍で3か月前と比較して大幅に減少しており、前年同月と比較しても減少となっている。新型コロナウイルスの感染拡大による影響で、事業所閉鎖、事業縮小等による人員整理を実施する事業所が増加している。
	×	民間職業紹介機関（所長）	それ以外	・地方都市においても、新型コロナウイルスの影響がかなり出始めている。都市圏との往来規制、夏祭りの中止、お遍路さんの激減等で、あらゆる業種、職種が影響を受けている。
	×	学校〔大学〕（就職担当）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大防止対策により、閉店や経営ひっ迫が生じている。

11.九州（地域別調査機関：公益財団法人九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (九州)		一般小売店〔生花〕（経営者）	単価の動き	・5月は母の日もあり、多くの来店客があった。その上、新規オープンや会社への贈り物に多くの高額こちょうらんの需要が伸びている。新型コロナウイルスの状況下であるにもかかわらず、非常に売上が伸びている。
		スーパー（統括者）	販売量の動き	・緊急事態宣言解除前は、内食中心になり、客単価が圧倒的に上向きになった。解除後も解除前まではないものの、客単価増による売上増加は、依然続いている。
		住関連専門店（従業員）	販売量の動き	・緊急事態宣言も解除となり、来店客数が多くなっている。また、外出自粛期間の間にたまった消費意欲の反動や健康意識の高まりから、健康志向の商品を中心とした購買動向もみられる。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・客数及び売上が最悪の前月に比べ、ゴールデンウィーク明けから徐々に回復がみられる。日常生活のための外出は増えていくが、一方、旅行やイベントの外出は、まだまだ回復とまではいかない。
		一般小売店〔青果〕（店長）	お客様の様子	・緊急事態宣言解除後、徐々に通りの人も来店客数も増え、購入点数も増加している。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・来店客数が通常より102%で推移している。粉やパスタ等の品切れが頻繁に続いている。一段落したことで、新型コロナウイルス需要も落ち着き、前年並みに推移しているが、流れは若干変わる可能性はある。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・学校が始まり、必要な用具や衣類の動きに変化が現れている。
		スーパー（総務担当）	単価の動き	・实体经济とは違い、新型コロナウイルスの影響で、当社の売上は前年同月比120%程度で推移している。その内訳は、買上点数と客単価のアップであり、客数が大幅に増加しているわけではない。
		家電量販店（店長）	単価の動き	・給付金需要が始まっており、客の購買意欲が非常に高い。単価も前年を大きく上回っており、来店客数は回復してないものの、それを十二分に補っている。
		乗用車販売店（従業員）	競争相手の様子	・新車商談は少ないが、一方、中古車の需要は上向きである。その要因として、各社の納期が不透明であるため、中古車市場が活性化している。
		住関連専門店（店長）	販売量の動き	・時短営業ではあるが、店舗営業がスタートしたことで、状況は若干回復している。
		その他飲食の動向を把握できる者〔酒卸売〕（経理）	販売量の動き	・緊急事態宣言解除に伴い、業績は改善し始めている。しかし、前年比8割ダウンから徐々に回復してきている段階であり、4月に続き5月も非常に厳しい状況は変わらない。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・緊急事態宣言解除後、少しずつではあるものの、動きが出始めている。
		通信会社（企画担当）	販売量の動き	・テレワークや外出を控えた影響で、光・モバイル通信回線の販売件数が増加している。
		一般小売店〔鮮魚〕（店員）	お客様の様子	・緊急事態宣言が解除され、気持ちは楽になっているが、実際の経済活動では、飲食店の予約はほとんど入っておらず、小売店では注文が少ない状態で嘆いている。
	スーパー（経理担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響は、簡単に説明できない。ただ、5月は4月より、買いだめや混雑等消費者の動向も落ち着いている。青果は高値で、加工食品も相変わらず品薄の商品が存在する。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		コンビニ（エリア担当・店長）	販売量の動き	・外食産業が休業している影響で、アルコールや総菜、乾物が前年より若干売上がある。夕方から客足が減り、20時には顕著に少ないため、客単価は上がっているものの、来店客数が伸び悩んでいる。
		家電量販店（総務担当）	販売量の動き	・地方の家電量販店は、新型コロナウイルスによる自粛の影響も小さく、逆にテレワーク需要や巣籠り需要の恩恵を受けている。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・5月11日の休業要請一部解除により、レストランは再開したものの、以前のような活気は全くなく、新型コロナウイルスの影響がいまだに続いている。
		観光型ホテル（専務）	来客数の動き	・新型コロナウイルスによる緊急事態宣言以降、客が激減し、休館している。収入がゼロになっており、県の補助金や金融機関の貸付けで過ごしている。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・依然として、観光や宿泊を伴ったビジネス利用客は少なく、ホテルでは5月まで休館が続いている。
		その他サービスの動向を把握できる者（所長）	お客様の様子	・新型コロナウイルスによる外出自粛の影響で、貸し会議室や宴会等の予約がない状況が続いている。受注が3月より芳しくなく、短期に回復するとは考えられない。
		商店街（代表者）	それ以外	・3～4月の売上は、取引企業の決算や年度初めの経費等で、新型コロナウイルスの影響を受けずにまずまずであったが、今月の売上は大幅に減少している。さらに、来客数も減少し低迷している。
		百貨店（業務担当）	お客様の様子	・今後が心配で、買物することを不安に思う客が多くなっている。購買マインドが出るまでには、時間が必要である。
		家電量販店（広報・IR担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響により、外出自粛による客数の減少や時短営業、一部店舗の休業等のマイナスもあるが、巣籠り消費やテレワークによるパソコンやその周辺機器、テレビ、ゲーム等伸びている商品もある。
		その他専門店 [コーヒー豆]（経営者）	来客数の動き	・来店客数の前年比は、大幅に減少しているが、店頭で家庭用のコーヒー豆を購入する来店客数は前年比で僅かな減少で止まっている。ホテルや飲食業の卸先への注文が、極端に減っている状態である。
		その他専門店 [ガソリンスタンド]（統括）	来客数の動き	・燃料油の小売価格は、下げの傾向が続いていたが、このところ下げ止まり感がある。5月は緊急事態宣言が継続し、なじみ客は給油に来店しているが、当地への観光目的の来店は激減している。また、販売数量及びカーケア商品販売も前年より減少している。
		ゴルフ場（従業員）	単価の動き	・新型コロナウイルスの影響で、3密となりにくいことで、県内の来場者は順調に推移しているが、単価の高い県外や国外からの来場者はなく、単価が上がらない。
		美容室（店長）	お客様の様子	・最近では、外出自粛解除により久しぶりに来店する客がいるが、まだまだ用心している客も多い。
		設計事務所（代表）	来客数の動き	・新型コロナウイルスによる影響で、新規客の問合せが減少している。
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスによる外出自粛の影響で、外出用の衣服購入をする必要もないため、来店客がなく売上もない。
	×	商店街（代表者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で外出自粛になり、商店街の来場者はまばらにしかない。また、各店舗は時短営業をしており、商売になっていない。
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・4月中旬から5月まで、商店街の客はまばらである。緊急事態宣言解除以後、少しずつ客が戻っている。
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・ほとんどの業種や組合では、5月は4月以上に自粛が続き、来街客数や売上、単価全て減少している。新型コロナウイルスの影響を受け、商店街は非常に厳しい状況である。
	×	商店街（代表者）	それ以外	・悪くなっている原因は、新型コロナウイルスの影響である。
	×	一般小売店 [精肉]（店員）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、飲食店向けの販売量が著しく落ちている。
	×	一般小売店 [食料雑貨]（店員）	販売量の動き	・営業自粛要請解除になっても、飲食店に客足が戻らない。3密を避けるため、ふだんの生活に戻るには、かなり時間が必要である。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	一般小売店 [茶] (販売・事務)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で、周囲の店が休業しているために人の動きはほとんどなく、営業はしているものの、今月の売上はほとんどない。新茶時期のため仕入れはしているが購入がなく、今まで経験したことがない深刻な状態である。
	×	百貨店 (総務担当)	販売量の動き	・緊急事態宣言が解除され、当施設も一部を除き営業再開をしたが、街への外出がなく、飲食テナントは壊滅的な状況である。
	×	百貨店 (企画担当)	それ以外	・新型コロナウイルスの影響により、景気の悪さは顕著である。
	×	百貨店 (営業担当)	お客様の様子	・5月中旬に食品フロアと通信販売のみの営業から、時短営業での全館営業開始をしているが、依然、街を含め活気が戻っていない。店内でも、目的買いが終わると帰宅する客が多く、店内回遊が減少している。一方、通信販売での物産催事は、臨時休業期間を含め好調である。また、営業再開で行っている感染防止対策の販売スタイルは、来店客の反応も良好で、中旬以降紳士や婦人衣料雑貨の自家需要商材を主に、客単価や商品単価共に順調に推移している。
	×	百貨店 (営業担当)	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で、3か月前より非常に悪い。緊急事態宣言の解除後は、感染対策をしながら時短営業で再開し、客には喜んでもらっている。明るさが戻ってきていることを肌で感じている。
	×	百貨店 (販売促進担当)	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で、店舗が臨時休業になり、危惧している。
	×	百貨店 (売場担当)	競争相手の様子	・全店の2月売上は前年比96.0%、4月の売上は前年比44.0%、今月の売上見通しは前年比49.1%である。5月中旬から全店で、時短営業しており、食品は前年比8割で推移、また、衣料品はそれぞれの店舗で45~60%の状況である。3密になる売出しや北海道物産展は、中止になっている。
	×	百貨店 (プロモーション担当)	販売量の動き	・長引くことが予想される新型コロナウイルス不況の真ただ中にあり、日用品以外のぜいたく品は消費が伸びない。ブランド退店も幾つか発生している。
	×	百貨店 (売場担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大により、不要不急の外出が自粛され、店舗も時短営業や臨時休業、イベントや催事の中止等の要因で、入店客数は大幅減少となっている。
	×	スーパー (店長)	販売量の動き	・食品の売上は、総菜関係が減少しているものの伸びているが、衣料品等非食品は大きく落ち込んでおり、全体的に厳しい状況になっている。
	×	コンビニ (経営者)	お客様の様子	・最近の動向では、客単価は2けた上がっているが、来店客数が大幅に落ちている。原因は、外出自粛の影響で人の動きがなくなっていることにある。特に、街の店では、売上が悪い。一方、郊外の店はまずまずで、買いためできるカップ麺等加工食品や日配品の弁当、保存性の高い商品に需要がある。
	×	コンビニ (経営者)	それ以外	・新型コロナウイルス感染拡大防止による行動の制限や心理的な買い控えで、必需品以外の販売は、大幅に減少している。その影響を受ける観光業や飲食業、また、エンターテインメント、タクシー等の利用減少は、商業都市中心部で客数前年比70%、売上前年比80%である。
	×	コンビニ (経営者)	来客数の動き	・ゴールデンウィークは、特に客数が大幅に低下し、売上が減少している。原因には、外出自粛の影響が大きく、最悪の状況に陥っている。
	×	コンビニ (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスのワクチン開発のめどが立たない状況のため、人の動きが戻らず、来店客数が改善しない。
	×	コンビニ (店長)	それ以外	・まだまだ新型コロナウイルスによる影響を受けている。
	×	衣料品専門店 (店長)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、客数が半分を切る状態が続いている。景気状態より疫病の怖さが人々の動きを止めている。
	×	衣料品専門店 (取締役)	それ以外	・複数店舗があるうち、大規模施設内の店舗では、休業要請により休業していたが、他の店でも自主的に営業自粛していたため、5月の営業日数は少なくなり、また、外出自粛も多く、売上が非常に厳しい状況である。加えて、給付金が間に合わず、固定費だけが発生する恐ろしい月である。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	衣料品専門店（総務担当）	それ以外	・来店客数、販売量、単価、客の動向全てが最悪の状況である。
	×	乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、新規来店客数は大きく減少している。
	×	乗用車販売店（総務担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、極端に来店客が少なくなっている。当社も大規模イベント実施を自粛したため、集客が難しく、新車販売台数が大幅に減少している。
	×	住関連専門店（経営者）	それ以外	・5月後半に緊急事態宣言解除になっているが、客足はまだ戻らない。都市部でのキャンペーンもできない状態で、売上が大幅に落ちている。
	×	その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（支配人）	販売量の動き	・当県では、新型コロナウイルスのマイナス影響が、少ない方ではあるが、過去に類をみないほどの厳しい状況である。緊急事態宣言の出たゴールデンウィーク期間と比較すると、現在は前年比80%程度までは回復しているが、個人商店等、体力のない企業のギリギリな状況は変わらず、早期支援策の実施を希望する。また、施設に関連する広告やイベント代理店も危うい状況に陥っている。
	×	その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（統括者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で、全てに動きがない。営業自粛等もあり売上が立たない。
	×	高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・5月に緊急事態宣言の発令があり、店では、客がいるときのみでの営業で、それ以外は休業をしていた。どうにもならない状況である。
	×	高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・自粛が始まってからは、人が通らないため、来店客が全くない。弁当や総菜を出し、従業員を減らす等の対策をしているが、店の存続の瀬戸際である。
	×	スナック（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、営業になっていない。
	×	居酒屋（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、早くから営業を自粛していたために、売上がない。緊急事態宣言解除後は、客足が戻ることもなく、今に至っている。
	×	観光旅館組合（職員）	来客数の動き	・宿泊施設が感染拡大防止のために、ほとんど休業しており、客足がほぼゼロの状態である。
	×	観光型ホテル（総務）	来客数の動き	・運営しているホテル内のレストランや売店への来客が、昼間は若干戻っているが、夜は依然として閑散としている。外出自粛が解除されても利用客は、特に夜の行動を控えている。
	×	旅行代理店（従業員）	それ以外	・緊急事態宣言解除後も当分の間、観光客は戻らない。6月もカウンターはクローズ予定である。県をまたぐ移動の解除を待ち、3密対策の準備に懸かっている。また、海外はしばらくは戻らない。
	×	タクシー運転手	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除され、営業を開始している店が増加し、タクシー利用も若干復活をしているが、利用は少なく、売上も上がらない。
	×	タクシー運転手	お客様の様子	・外出自粛と県外への移動自粛で、タクシー予約がほとんどない状態が続いている。
	×	タクシー運転手	それ以外	・全国的な緊急事態宣言があり、新型コロナウイルスの影響をもろに受けている。言葉が出ないほど、非常に厳しい状況になっている。
	×	観光名所（従業員）	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除になっているが、客足が動かない。他県ナンバーの車が走っていると地域住民としては、まだ良い気持ちにはなれない。
	×	競馬場（職員）	来客数の動き	・無観客での営業をしているため、景気は低迷している。
	×	美容室（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で客の行動が制限をされているため、来店客が減少し、景気回復が非常に遅れている。今が底である。
	×	その他サービスの動向を把握できる者〔介護サービス〕（管理担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルス予防として、客へのサービスをキャンセルする状況が多発しており、前年比でも大幅減となっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
	×	その他サービスの動向を把握できる者〔フィットネスクラブ〕（営業）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響やワクチン、治療薬の開発承認等見通しがついていないことで、売上が伸びない。	
	×	設計事務所（所長）	来客数の動き	・市内の観光地に観光客の姿がなく、夜の飲食街にも人がいない。	
	×	住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・受注に関して、前月とほぼ変わらないが、新型コロナウイルスによるイベント中止や展示場閉鎖で、客の動きはかなり減少している。	
	×	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・完成したマンション販売をしているが、新型コロナウイルスの影響で来場者や問合せが少なく、3か月前より販売が落ちている。	
企業 動向 関連 (九州)		- *	- *	- *	
		輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、食品関係の取扱が大幅に減少している。通信販売関係が好調なこともあり、段ボール等は増加傾向ではあるが、増加傾向にある荷主はごく僅かである。	
		経営コンサルタント（社員）	受注量や販売量の動き	・新しい動きが、全く見られない。	
		経営コンサルタント（代表取締役）	受注量や販売量の動き	・5月は、3月決算法人が非常に多いため、仕事量が年の中で一番の繁忙期に当たる。そのため、前年度と比較しても同じような売上が確保できている。	
		経営コンサルタント（代表取締役）	取引先の様子	・取引先に業務状況を確認すると、大半の客がビジネスを十分に推進できていない。	
		農林水産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、5月の売上は計画に対して70%の見込みである。4月は、居酒屋やレストラン等外食向けが厳しく、客によっては前年比20%の店もあり、非常に苦戦している。冷凍食品メーカーやスーパーマーケットの納品は、前年を上回っている。輸出に関しても厳しい状況であるが、香港を中心に何とか前年並みで動いている。	
		食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、受注の減少が多くみられる。	
		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・貿易量の大幅なダウンにより、受注が減少しており、客の動きが悪い。	
		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・営業訪問ができないため、電話やメールの営業になり、営業しづらい状況である。客も仕事量が減少気味で、価格も厳しい。	
		輸送業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症拡大による影響が大きい。新規感染者数の減少で、荷動きが少し回復しているものの、依然厳しい状況が続いている。	
		通信業（経理担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響が開始した3か月前よりも、事態が深刻化している。	
		その他サービス業〔コンサルタント〕（代表取締役）	取引先の様子	・5月に入り、市町村からの調査・計画や建設関係の委託業務の発注が少なくなっている。特に当市からの設計業務委託の発注がない。新型コロナウイルス関係で、施設工事関係の予算を休業補償等の予算に回しているという報道もあり、予算執行が保留されているのではないかと危惧している。	
		×	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・飲食店や旅館では、新型コロナウイルス対応でここ2か月ほど翻弄されている。当社の調味料も納入量が減少している。
		×	繊維工業（営業担当）	競争相手の様子	・同業者は仕事がなく、マスクや防護服を生産している。慣れている仕事ではないために苦戦を強いられている。また、マスクの生産は終了になり、防護服の生産も長くはないため、今後の懸念される。
		×	家具製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・ホテル向け家具の需要は、6月以降ほぼゼロとなっており、ホテル自体が売りに出ている状況である。
	×	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、受注関係が完全に止まっている。雇用調整助成金を活用しているが、受注がないために生産ができない状態で、売上が前年比2割もないのではと危惧している。産地全体の回復も皆目見当が付かない。	
	×	金属製品製造業（事業統括）	取引先の様子	・緊急事態宣言により、取引先が工事中断を余儀なくされている。新規案件もテレワーク状態により、停止している。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・主要取引先からの受注が落ち込んでいる。
	×	電気機械器具製造業（取締役）	取引先の様子	・最近になり、ようやく取引先現場への立ち入りが認められるようになったが、多くの需要があるという状態ではない。
	×	その他製造業 〔産業廃棄物処理業〕	取引先の様子	・緊急事態宣言が解除になったが、受注が少なく、稼働していない工場が多数見受けられ懸念している。
	×	建設業（社員）	競争相手の様子	・2～3月に6件の注文を受けたことにより、現在は暇ではないが、同業他社では、早急に官公庁の工事が出ないと深刻な状態になる。発注予定の発表はあるが、まだ、発注までには至っていない。
	×	金融業（従業員）	取引先の様子	・緊急事態宣言が解除されたが、新型コロナウイルス感染拡大が尾を引き、百貨店やホテル、飲食店等の売上が大幅に減少している。また、国内のイベント等が徐々に営業再開しているものの、経済活動や市民生活の不安感は解消されていない。
	×	金融業（調査担当）	取引先の様子	・飲食店や旅館、ホテル等サービス業では、新型コロナウイルスの影響による廃業や事業縮小の動きが顕在化している。金融機関の資金繰り相談受付件数も増加している。
	×	金融業（営業）	取引先の様子	・ほとんどの業種で業況は、かつてないほど悪化している。資金繰りに支障を来し、セーフティネットを利用するために、初めて銀行に来店する客が増加している。
	×	金融業（営業担当）	取引先の様子	・中小企業や中小事業者、特に飲食業は、新型コロナウイルスの影響を大きく受け、緊急事態宣言解除後の客足はほとんど伸びておらず、苦戦を強いられている。全体的に売上前年比が50%以上落ちており、悪い状況である。
	×	金融業（調査担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響で、業績が悪化した企業から、資金を手厚くしたいという融資相談案件が4月以降増加している。実際に、大型設備を検討している企業から、一旦大型設備を停止し、手元資金確保のため、長期運転資金の借入申出の要請があった。
	×	新聞社〔広告〕（担当者）	取引先の様子	・新聞広告の落ち込みが激しく、旅行観光業の客の状況が悪い。
	×	広告代理店（役員）	受注量や販売量の動き	・客のコミュニケーション投資が減少しており、回復の兆しが見えてこない。
	×	経営コンサルタント（社員）	受注量や販売量の動き	・2月の卸や小売店の売上は、前年比101%アップで推移していたが、4月には47.1%、5月は42%と落ち込んでいる。
	×	その他サービス業〔物品リース〕（支社長）	取引先の様子	・緊急事態宣言による自粛要請の影響で、リーマンショックを超える経済危機である。4～5月では、取引先の多くは生き残れそうであるが、数件支払猶予の要請もある。6月以降、前向きな投資が控えられる可能性が高く、第2波があれば、事務所閉鎖等、終わりがみえない。今回影響が少なかった客もいるが、次年度以降、公共工事の予算削減等で、影響を受ける可能性があり、財布のひもは厳しい。
雇用 関連 (九州)		-	-	-
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	雇用形態の様子	・新型コロナウイルス感染拡大防止策による自粛の影響は深刻であるが、同時に、テレワークに代表されるような働き方が、これからの仕事を大きく変えていき、また、マイナンバー登録やリモート講義等これまではなかった生活様式や考え方も、将来的には新型コロナウイルスで影響されたマイナスを相殺すると考えている。
		-	-	-
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数は前年比約30%減の状況であり、小売やサービス業の休業が大きく雇用に影響している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数の減少は、産業全般にわたっており、前年比37%以上である。しかも、9か月連続で減少している。
	×	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・求人は、中心地から悪くなっている。求人数は、前年比30%まで落ち込んでいるが、郊外エリアでは、70%の落ち込みである。
	×	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの影響もあり、求人の動きが鈍く、今後の運用についても検討する企業が増えてきている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、従来どおりの新規の営業ができないことや、企業も人材の採用意欲が停滞している。
	×	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・ホテル関係の人材提供をしているが、新型コロナウイルスの影響により、5月は全く稼働していない。
	×	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・注文数が3か月前から減少しており、職種によっては、退職者が出て補完しない企業もある。一方、求職者については、求人に対する問合せが若干増えている。
	×	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・6月末で更新をせず、契約終了を申し入れられる派遣先や、上期までは更新するが、下期は未定である企業もある。
	×	求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・新型コロナウイルスによる緊急事態宣言の影響で、企業活動が停滞している。したがって、求人マーケットが極端に冷え込んでいる。
	×	新聞社〔求人広告〕（社員）	周辺企業の様子	・5月は在宅勤務のために、営業活動ができない企業が多い。飲食店も緊急事態宣言解除まで閉店が多く、経済全体が動いていない状態である。交通機関では、特に昼間の乗客は少ない。
	×	新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・3か月前と比べると悪くなっており、前月との比較では、横ばいである。新型コロナウイルス感染拡大対策である緊急事態宣言以降から、景気は悪い。現在、緊急事態宣言は解除されたものの、消費行動は下火のままである。新聞広告やチラシも低調である。
	×	学校〔大学〕（就職支援業務）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの影響により、採用を一時中断する企業や、採用人数を減じている企業が発生している。

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (沖縄)		-	-	-
		スーパー（企画担当）	それ以外	・緊急事態宣言が解除され、外食等の営業短縮などが緩和されている。
		スーパー（販売企画）	販売量の動き	・4月と同じように新型コロナウイルスの影響で客数は減ったが、買上点数と1品単価が増えて売上は良くなっている。
		家電量販店（総務担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響は底を打ったとみられる。
		-	-	-
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・来客数の減少により売上高も減少している。
		コンビニ（副店長）	来客数の動き	・緊急事態宣言は解除されたが、人の動きが鈍い。個人での自粛ムードが継続している。
		住宅販売会社（代表取締役）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で投資用物件について、様子見の客が増えている。
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスのまん延で、販売どころではなく、来客数がほとんど皆無の状態、大変危機感があるようである。下手をすると、閉店が続くのではないかとみている。
	×	百貨店（店舗企画）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染防止を鑑み、5月14日まで食品売場以外休業を余儀なくされ、15日からは全館再開しているが、営業時間短縮と観光客激減から、売上回復の兆しがみえない。
	×	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除され、県内の新型コロナウイルス感染者は5月1日以降0人で推移しているにもかかわらず、外出の自粛ムードは変わらない状態にあるため、来店客の動きとしては大きな変化はみられない。
	×	衣料品専門店（経営者）	それ以外	・今月は新型コロナウイルスの感染予防のため休業している。
×	衣料品専門店（経営者）	それ以外	・理由は言わずもがな新型コロナウイルスの影響である。当店は目抜き通りのすぐ近くであるが、緊急事態宣言が解除になっても状況は変わらない。通りのほとんどの店が閉まっている。	
×	乗用車販売店（経理担当）	販売量の動き	・前年600台近くあったレンタカー会社からの受注が、ほぼゼロである。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	x	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルス感染症の拡大防止とスタッフの健康を守るため、4月より全店休業にしており、解雇もしていないため、売上が全くない状態の中で資金繰りに苦慮している。緊急融資、補助金で何とか食いつないているが、緊急事態宣言が解除されても、開けている店に全く客が戻ってきてない。
	x	観光型ホテル（マーケティング担当）	販売量の動き	・今月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、緊急事態宣言並びに沖縄県の来県自粛要請を受け、ホテルを休館し、営業日が1日もなく、売上、客室稼働率共にゼロとなってしまっている。
	x	観光型ホテル（代表取締役）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの関係で、沖縄県は来県自粛の要請もあり、学校、ビジネスや観光客のホテル利用はほぼゼロである。
	x	旅行代理店（マネージャー）	それ以外	・5月はほぼ売上がない。自粛解除にはなっているが、厳しい状態が続いている。
	x	通信会社（営業担当）	来客数の動き	・外出自粛要請期間では、営業時間短縮や業務縮小も行ったため客数が大幅に減少し、大変厳しい状況である。
企業 動向 関連		-	-	-
(沖縄)		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・契約寸前の客が、新型コロナウイルス対策に不安を持ち、キャンセルになったという事例が続く。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・公共、民間向け出荷は共に前年比減である。新型コロナウイルス感染症の影響で、建設業への休業要請による工事延期などで出荷が遅れている。
	x	食料品製造業（総務）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響で観光関連、業務向け取引先の売上は激減しており先行きが見えない状況である。スーパー等への売上は伸びているが、落ち込み分をカバーできていない。
	x	輸送業（経営企画室）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響が更に大きくなっていると感じられる。物流面でも観光業をターゲットとしている取引先への納品量が大幅に減少している状況が続いている。
	x	会計事務所（所長）	受注量や販売量の動き	・観光業が主体である本県においては、宿泊業、運送業、物販業を中心に、新型コロナウイルスによるマイナスの波及効果が深刻である。
雇用 関連		-	-	-
(沖縄)		人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・派遣事業における求人は、当社は特に医療関係が多いため、さほど変わらなく、逆に少し増加気味で、事務系の依頼が減少しているところをカバーしている。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	求人数の動き	・新型コロナウイルス感染拡大に伴う自粛体制で採用活動が停滞しており、例年に比べ求人情報が激減している。
		学校〔大学〕（就職支援担当）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスの影響が様々な業界に顕著に出ている。
	x	人材派遣会社（総務担当）	それ以外	・観光産業への派遣の終了等がある。
	x	求人情報誌製作会社（編集室）	求人数の動き	・求人情報が前月比78%、前年比だと40%まで大幅に減少している。新型コロナウイルスの影響が本格的に出ていなかった2月以前は、居酒屋等の求人は週40~50件程度あったが、5月は数件まで落ち込んでいる。ホテルなどの観光関連の求人もほとんどない。